

KENWOOD

MDV-727DT MDV-626DT

地上デジタルTVチューナー内蔵
DVD/USB/SD AV Navigation System

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド





目次



はじめに

安全上のご注意.....	5
使用上のご注意.....	8
カーナビゲーションに関わる 個人情報について	10
本書の読みかた.....	11
miniB-CASカードについて.....	12
miniB-CASカードを入れる/取り出す	13



カーナビ

共通の操作	14
各部の名称とはたらき	14
画面の切り替えかた.....	16
フロントパネルの角度を調整する	18
ディスクを出し入れする.....	18
SDカードを出し入れする.....	19
オートアンテナを伸ばす/しまう	19
暗証番号を設定する.....	20
暗証番号を変更する/解除する	21
通常の地図	22
現在の場所の地図を表示する	22
地図の向きと表示方法を変える	23
地図の縮尺を変える.....	24
操作ボタンを使う	24
AVソース画面を地図画面に表示する.....	25
クイックメニューを設定する	25
クイックメニューを使う.....	26
スクロールして任意の場所の地図を表示する	26
地点情報メニューを表示する	27
ランドマークの情報を表示する	27
地図の設定	28
地図の表示を設定する.....	28
地図の色を設定する.....	29
ランドマークの表示を設定する	29
登録地点の表示を設定する.....	30
現在地を修正する	30

エコドライブのアドバイス	32
エコ情報を表示する.....	32
ECOメニューを表示する	33
地点検索	34
目的地検索メニューを表示する	34
自宅を登録する	35
自宅に帰る	35
名称で探す	36
住所で探す	38
ジャンルで探す	39
周辺で探す	40
登録地点から探す	41
検索履歴から探す	41
番号で探す	42
観光ガイドメニューを表示する	43
観光エリアから探す.....	43
まっぷるコードで探す.....	44
SA/PAを名称で探す	45
SA/PAを路線名で探す.....	46
ルート探索と案内開始	48
ルートを探索して案内を開始する	48
案内を終了する	49
現在地からのルートを探索しなおす.....	49
検索履歴を削除する.....	50
探索方法を設定する.....	51
ルート案内中の地図.....	52
一般道でのルート案内.....	52
高速道路でのルート案内.....	53
案内ポイントでの案内表示	54
規制情報を見る	56
案内ポイント付近での音声案内	57
ルートから外れたときは	58
案内方法を設定する.....	59
目的地付近の地図を表示する	60
ルート全体を表示する.....	60
シミュレーションでルートを見る	61
ルート編集	62
行き先の順番を変える.....	62
行き先を削除する	63
地点登録	64
地点登録する	64
登録地点の情報を見る.....	65



目次



その他の設定

その他の設定	136
システム設定メニューを表示する	136
イルミネーションの色を設定する	138
ステアリングリモコンを設定する	139
楽曲データベースを更新する	140
楽曲データ管理ソフトKME-VXを ダウンロードする	141
楽曲データベース未収録の情報を取得する	142

リアビューカメラ

リアビューカメラを設定する	144
---------------------	-----



Bluetooth MDV-727DT

Bluetooth機器の設定	146
Bluetooth機器を登録する	146
Bluetooth機器の登録を削除する	149
Bluetoothを設定する	150
パスキーを変更する	151

ハンズフリーを使う

ハンズフリーで電話を受ける/切る	152
ダイヤルして電話をかける	153
地点情報メニューで電話をかける	153
履歴で電話をかける	154
履歴を削除する	154
電話帳で電話をかける	155
電話帳を本機に登録する	155
電話帳の登録を削除する	156
プリセットダイヤルで電話をかける	156
プリセットダイヤルに電話番号を登録する	157
プリセットダイヤルの登録を削除する	158

Bluetoothオーディオ

Bluetooth対応オーディオプレーヤーを 再生する	159
--------------------------------------	-----



付録

自車位置の測位精度について	160
地図記号の凡例	164
ジャンルの分類について	166
地図データベースについて	168
その他の資料	170
VICSについて	171
地上デジタルテレビ放送について	174
ディスクについて	175
メディアおよびファイルについて	178
iPodについて	182
Bluetoothについて	183
故障かなと思ったら	184
用語解説	194
主な仕様	197
保証とアフターサービス	200
ケンウッド全国サービス網	201



安全上のご注意

- ご使用前に、以下の注意事項と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。取扱説明書に記載されている注意事項が守られなかった場合は、事故などの深刻な問題が発生する可能性があります。
- お読みになった後は、いつでも見られる場所（車のグローブボックスなど）に必ず保管してください。

絵表示による注意

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

 禁止	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。
 禁止	⊙記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
 実施	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



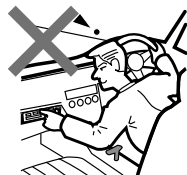
安全上のご注意

⚠ 警告



禁止

交通事故防止のため、運転中は本製品の操作を行わないでください。運転中に本製品の操作を行うと、ハンドルから手が離れたり、道路状況への注意力が散漫になるなどして、交通事故などの原因になります。本製品を操作するときは、必ず安全な場所に車を止めてから行ってください。



禁止

運転者は、ナビゲーションの画面に気を取られないでください。交通事故などの原因になります。運転中に画面を見るときは必要最小限とし、注視するのは避けてください。



実施

運転中の音量は、車外の音や緊急車両などの音が聞こえる程度で使用してください。外部の音が聞こえない状態で運転することは事故の原因となります。



以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止しお買い上げの販売店、またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。



実施

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



実施

修理は必ずお買い上げの販売店、またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



実施

緊急時に使用する場合は、本製品の情報のみに頼らず、警察や消防署、病院などに連絡をして、場所などの確認を行ってください。



実施

探索したルートは、ルート上の安全性を考慮して探索されていません。危険な地域への誘導がされている場合は、運転者はそのときの状況を判断して回避してください。



実施

本製品の地図は、実際の道路状況や交通規制などと異なる場合があります。これは収録された時点の地図データ、交差点情報、交通規制情報などと、現在のもので差異が生じているためです。走行時には、常に実際の道路状況や交通規制などに従って運転してください。



⚠ 警告



実施

一方通行表示については、常に実際の交通規制に従って運転してください。本製品の地図には、全ての一方通行道路が表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも、実際にはその一部が両面通行の場合があります。



禁止

画面が表示されない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。



実施

ナビゲーションシステムで探索された経路はあくまでも参考ルートで、実際の道路状況や交通規制などと一致しない場合があります。常に実際の道路状況や交通規制に従って運転してください。



実施

万一、異物が入った、水や飲み物がこぼれた、煙が出てくる、変な臭いがするなどの異常が発生した場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用を続けると、事故、火災、感電の原因となります。



実施

規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。



実施

本機の取り付け、取り外し、周辺機器の追加などを行う際は、安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。取り付け作業には専門技術が必要です。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠ 注意



禁止

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



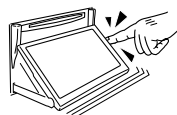
禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



禁止

操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。





使用上のご注意

安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、取扱説明書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。

安全上の配慮から、走行中は、フロント映像出力に接続されたテレビやビデオの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能で操作できないものがあります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」(P184)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。傷が付いたり文字が消えることがあります。

フィルムアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウの内側を清掃の際には、フィルムアンテナをやわらかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を強くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどとは使用しないようにしてください。
- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

オートアンテナ(電動アンテナ装備車)の操作について

車両側のアンテナコントロール端子と本機のアンテナコントロール(ANT CONT)端子を接続しているときは、本機の電源をオンにするとオートアンテナが伸びます。天井の低い駐車場に入る場合などオートアンテナを下げたいときは、オートアンテナを収納してください(※ P19)。

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点ができることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。

ナビゲーションについて

- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくするとGPSの測位により正しく表示されるようになります。
 - 走行中は、安全のため、一部を除く細街路*は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。
 - ・ 細街路を走行中の現在地図画面
 - ・ 市街地図を表示しているとき
 - ・ マップマッチングしていないとき
- *：細街路とは、道幅5.5m未満の道路のことをいいます。



免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）につきましては、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 添付の保証書は、本機を業務用の車両（タクシー・トラック・バス・商用車など）に使用した場合、適用対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に登録した情報（プリセット登録など）の取り扱い、管理（消去など）は、必ずお客様の責任において行なってください。
- 本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラムなどが消失・変化した場合、また修理によってプリセット登録など、登録した内容が消去された場合は補償できません。

説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取扱わなかった場合や常識を超えた使い方をされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。

電波について（MDV-727DTのみ）

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けた部品を使用しています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
 - 分解/改造すること
 - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

2.4 FH 1

2.4：2.4GHz帯を使用する無線機器です。

FH：FH-SS変調方式を表します。

1：電波と干渉距離は10mです。

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- 使用可能距離は見通し距離約10mです。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。



カーナビゲーションに関わる個人情報について

本機にメモリーされた個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合などには、本機に記録された情報（例：登録地点や検索履歴等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。

消去のしかたは本取扱説明書をご覧ください。

消去は、「ユーザー設定の初期化」(P137)で行えます。なお、次のデータや設定は消去できません。個別に消去/解除してください。

● 本機の内蔵メモリに録音した曲の消去 (P112)

● 暗証番号の解除 (P21)

弊社では未消去のデータの流出による損害等について、一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

弊社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。

該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、以下の窓口までご連絡ください。ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

ケンウッド・カスタマーサポートセンター

ナビダイヤル 0570-010-114

(一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます)

携帯電話・PHS・IP電話：

045-450-8960

045-450-2287

〒221-8528

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00

13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

すでに製造済みの製品での情報の削除や変更には応じられませんので、予めご了承ください。

車両運転中における携帯電話やPHS等の使用は、非常に危険であり、改正道路交通法(法第71条5号の5)により禁止されています。車両等から携帯電話やPHS等で弊社にお電話または電子メールをいただく場合は、安全な場所に停車された上でご連絡くださるようお願い申し上げます。



本書の読みかた

この取扱説明書の構成と表記について説明します。

本書の構成

本書は、地上デジタルTVチューナー内蔵DVD/USB/SD AV Navigation System MDV-727DT/MDV-626DT (以降、「本機」) のすべての機能の操作を説明したリファレンスマニュアルで、本機の機能とメニューに従って構成されています。

はじめに 	目次およびはじめにお読みいただきたいことが記載されています。(※ P5 ~ P13)	その他の設定 	他の項目では説明されていない設定などの操作について記載されています。(※ P136 ~ P145)
カーナビ 	地図の表示や操作、カーナビゲーション (以降、「ナビ」) の操作について記載されています。(※ P14 ~ P83)	Bluetooth 	携帯電話やオーディオプレーヤーをBluetoothで接続したときの操作について記載されています。(※ P146 ~ P159)
AV 	オーディオ&ビジュアル (以降、「AV」) およびサウンドの操作について記載されています。(※ P84 ~ P135)	付録 	関連する資料や用語解説などが記載されています。(※ P160 ~ P201)

本書の表記

下で説明する操作を始める前に、ここに記載されている操作をまず行ってください。

項目が画面に表示しきれていないときに表示されます。目的の項目が表示されるまでタッチして、リストをスクロールしてください。

- 本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。
- 本書では、MDV-727DTでの画面を記載して説明しています。
- Bluetooth設定、ハンズフリー、BT Audioのボタンは、MDV-727DTでのみ表示されます。

地点検索

検索履歴から探す
今までにルート探索した行き先から探します (履歴検索)。

目的の検索メニュー画面を表示します。

1 [履歴]にタッチします。

2 検索履歴のボタンにタッチします。

検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。

● 地点検索しただけの場所は履歴に残りません。目的の地または経由地として設定してルート探索した場所が履歴に保持されます。

本書での参照先は、この構成別のマークで分類されています。

グレー表示されているボタンは操作できません。

操作するボタンについてマークです。

補足説明や制限事項などが記載されています。

使いかたのヒントが記載されています。

次のページに説明の続きがあります。

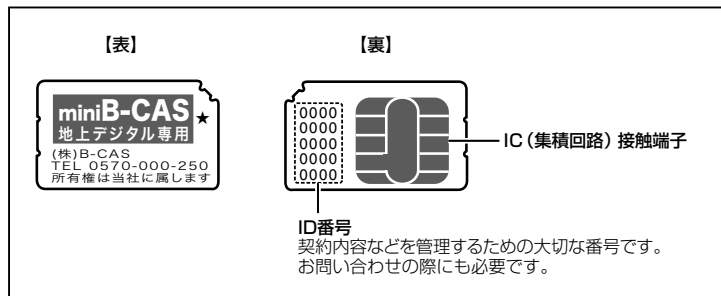
カーナビ 45



miniB-CASカードについて

miniB-CASカードは地上デジタルテレビ放送を受信するうえで必ず必要なカードです。

本機に付属のminiB-CASカードには1枚ごとに異なる番号(ID番号)が付与されています。ID番号は大切な番号です。(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ控えておいてください。



- 地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにminiB-CASカードが必要です。
- miniB-CASカード取り扱い時には、次の点に留意してください。
 - miniB-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
 - miniB-CASカードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
 - miniB-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
 - miniB-CASカードのIC (集積回路) 接触端子には手をふれないでください。
 - miniB-CASカードの分解加工は行なわないでください。
 - miniB-CASカードはカード挿入口に正しく挿入してください。
 - ご使用中にminiB-CASカードの抜き差しはしないでください。地上デジタルテレビ放送が視聴できなくなる場合があります。
 - 付属のminiB-CASカードの所有権は、(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。無断で譲渡できません。
 - 破損・紛失などminiB-CASカードの再発行には手数料がかかります。
 - miniB-CASカードのユーザー登録や、受信契約については、miniB-CASカードの台紙に記載されている事項やB-CASカード使用許諾契約約款などをよくお読みください。
 - 付属のminiB-CASカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。
 - miniB-CASカードを破損・紛失などされた場合は、お客様より(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへお問い合わせください。
 - 本機の修理を依頼されるときは、本機よりminiB-CASカードを抜いてお客様が保管してください。

miniB-CASカードに関するお問い合わせ先について

付属のminiB-CASカードについてご不明な点は、下記のB-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。

(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
電話番号 0570-000-250 受付時間 10:00~20:00 (年中無休)

※電話番号はお間違えないようお願いいたします。

※携帯電話、PHSなどの移動体通信機器および各種LCRや交換機の設定によってはかからない場合があります。

- miniB-CASカードの台紙に記載されている「B-CASカード使用許諾契約約款」は、よくお読みになった上、「取扱説明書」「保証書」とともに大切に保管してください。
- 放送局などへのお問い合わせで、miniB-CASカードのID (識別) 番号の告知が必要になる場合があります。お客さまのminiB-CASカードのID番号は控えておいてください。



miniB-CASカードを入れる/取り出す

本機を使用するときには、miniB-CASカードをセットしておきます。

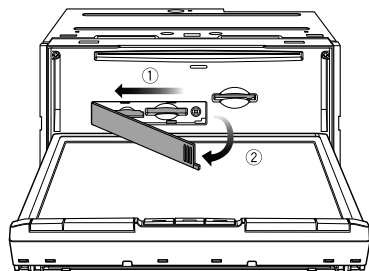
- miniB-CASカードは、本機を修理に出すとき以外は抜き差ししないでください。
- miniB-CASカード挿入口にminiB-CASカード以外のものを挿入しないでください。

miniB-CASカードをセットする

1.  (オープンキー)を押します。
2.  にタッチします。

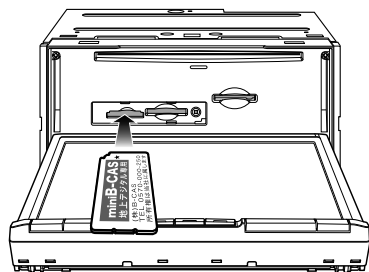


3. カバーを左にスライドし①、カバーの右端を手前に引いて②取り外します。



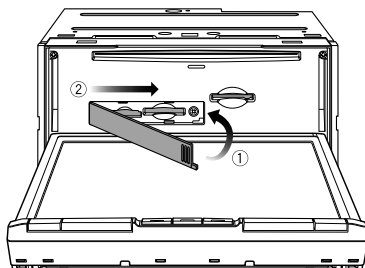
 (オープンキー)に触れないように注意してください。触れるとフロントパネルが閉じてしまいます。

4. IC (集積回路) 接触端子のある面を下にして、miniB-CASカードを差し込みます。



miniB-CASカードは、突き当たるまで、奥までしっかりと差し込んでください。

5. カバーの左端を突き当ててカバーを付け①、右にスライド②して取り付けます。



6.  (オープンキー)を押します。

miniB-CASカードを取り出す

1. 上記 1、2、3 の手順で、フロントパネルを開いてカバーを取り外します。
2. miniB-CASカードをいったん押し込んでから引き抜きます。
3. 上記 5、6 の手順で、カバーを取り付けてフロントパネルを閉じます。

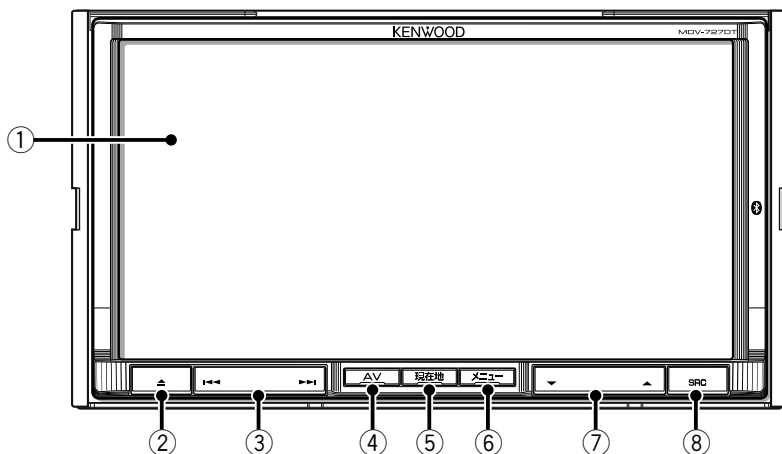


- 地デジを観るときには、miniB-CASカードが正しくセットされている必要があります。
- miniB-CASカードは、正しい向き(表裏や前後)で差し込んでください。向きが間違っていると、miniB-CASカードは機能しません。
- miniB-CASカードを抜き差ししたときは、約3秒以上待ってから、B-CASカードテスト(ICカードテスト)を実行してください(※ P101)。



共通の操作

各部の名称とはたらき



① 画面

② (オープンキー)

フロントパネルの角度調整、ディスクやSDカードの出し入れを行う画面を表示します (※ P18)。

③ (スキップ/サーチキー)

ラジオや地デジの受信中は、前または次のプリセットされている放送局を選局します。押し続けると、自動的に受信状態の良い放送局を選局します。

CD、DVD、オーディオ/ビジュアルファイル (SDカード、内蔵メモリ、USB機器)、iPadの再生中は、前または次の曲やオーディオ/ビジュアルファイルを再生します。押し続けると、早戻しまたは早送りします。

④ (AVキー)

現在のソースの画面を表示します。

⑤ (現在地キー)

現在地周辺の地図の画面 (現在地図画面) を表示します (※ P22)。

押し続けると、画面が消えます (画面オフ) (※ P84)。

⑥ (メニューキー)

目的地検索メニューを表示します (※ P34)。

⑦ (音量キー)

ソースの音量を調整します。

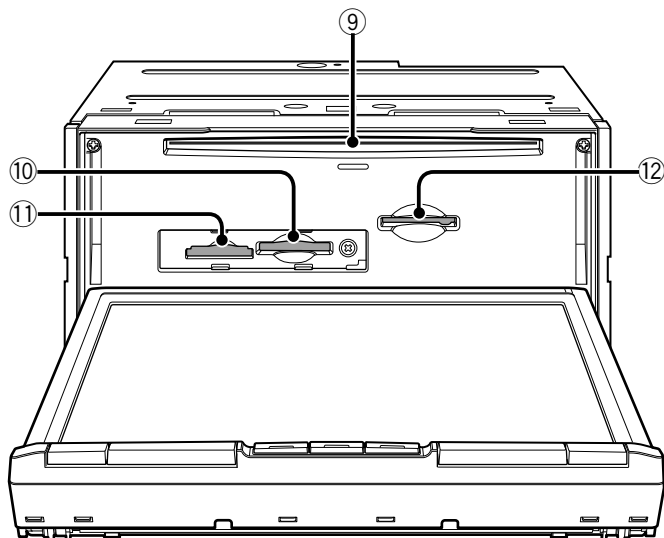
⑧ (ソースキー)

ソースを切り替える画面 (ソース切替画面) を表示します (※ P84)。

押し続けると、オーディオソースがオーディオオフ (STANDBY) になります (※ P84)。



- ナビの音声案内の音量は  では調整できません。音量調整については26ページをご覧ください。



⑨ ディスク挿入口

ディスクを挿入します。

⑩ 地デジアップデート専用SDカード挿入口

地デジ受信のためのソフトウェアをアップデートする際に使用します。

⑪ miniB-CASカード挿入口

miniB-CASカードを挿入します。

⑫ SDカード挿入口

SDカードを挿入します。



- miniB-CASカード挿入口および地デジアップデート専用SDカード挿入口のカバーの外しかたについては、13ページをご覧ください。
- お買い上げ時の状態では、地デジアップデート専用SDカード挿入口には、ダミーカードが入っています。アップデート操作時以外は取り出さないでください。



共通の操作

画面の切り替えかた

本機の電源をオンにしたときに表示される画面は、前回の電源オフ時の動作モードによります。ナビモードで終了したときは現在地図画面が表示されます。また、AVモードで終了したときには、同じソースの画面が表示されます。

現在地図画面

現在地周辺の地図が表示されます。



ナビモード

メニュー

現在地

AV

現在地

AVモード



SRC

【ソースの切り替え】

AVソース画面（画面例：Tuner）



- **AV** を押すとAVモードになり、現在選択されているソースの再生画面が表示されます。
- **現在地** を押すと現在地図画面に戻れます。
- **メニュー** を押すと目的地検索メニューが表示されます。
- **SRC** を押すとソース切替画面が表示されます。



目的地検索メニュー

行き先(目的地、経由地)をいろいろな方法で探します。



ルートメニュー

設定されている行き先(目的地、経由地)を確認・編集します。



情報・設定メニュー

設定や、VICS情報などの表示を行います。



ソース切替画面

ソースを切り替えます。



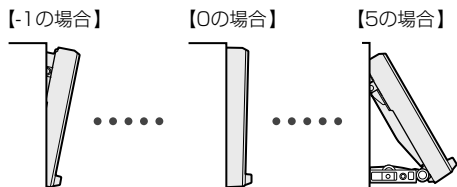
- ソース切替画面でソースを選択すると、選択したソースに切り替わり、そのソースの画面が表示されます。
- **ハイスピード** は、MDV-727DTでのみ表示されます。



フロントパネルの角度を調整する

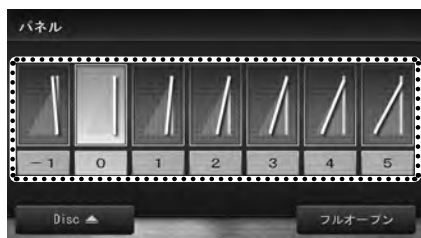
画面の反射が少なくなり、ドライビングポジションから見やすいように、フロントパネルの角度を調整します。

フロントパネルの角度



1 (オープンキー)を押します。

2 角度のボタンにタッチします。



ボタンにタッチするたびにフロントパネルの角度が変わります。

3 AV画面を表示するときは 、
現在地図画面を表示するときは
を押します。



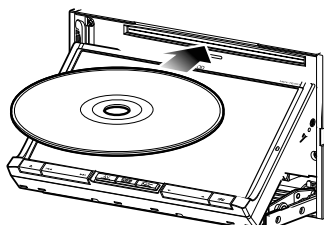
- フロントパネルの角度が“0”以外に設定されていても、電源オフ時には“0”の位置に戻ります。再度電源をオンにしたときには、フロントパネルは設定されている角度になります。

ディスクを出し入れする

ディスク（音楽CD、DVD、CD-RやDVD-Rなどの記録型ディスク）を出し入れします。

1 (オープンキー)を押します。

2 にタッチします。



ソースが“DISC”に切り替わり、再生が始まります。



- ディスクが入っているとイジェクトされます。
- ディスクを挿入すると、フロントパネルは設定されている角度に自動的に戻ります。
- にタッチしてディスクがイジェクトされた後、ディスクを取り出さないと、約15秒後に自動的に引き込まれます。

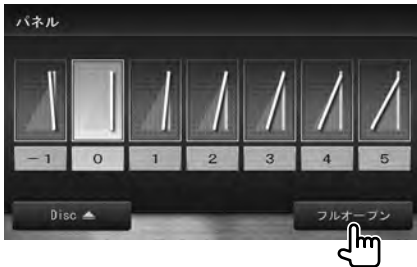


SDカードを出し入れする

SDカードを出し入れします。

1  (オープンキー)を押します。

2  にタッチします。



3  (オープンキー)を押して
フロントパネルを閉じます。

ソースが“SD”に切り替わり、再生が始まります。



- SDカードは、止まるまで奥に押し込んでください。
- SDカードを取り出すときは、いったん押し込んでからつまんで引き出してください。
- SDカードの再生中に[フルオープン]にタッチすると、SDカードの再生は停止します。
- フルオープン状態から閉じるときにフロントパネルに触れると、安全装置が働き、フロントパネルが開きません。
- フルオープンのままで電源をオフ(ACCオフ)にすると、フロントパネルは開いたままになります。
- フルオープンの状態でディスクを挿入しても、フロントパネルは自動的に閉じません。

オートアンテナを伸ばす/しまう

オートアンテナを伸ばしたり、しまったりします。
なお、「オートアンテナ」が[なし]に設定されている場合(※ P137)は、どちらのボタンも表示されません。

1  (オープンキー)を押します。

2 [アンテナを伸ばす]または[アンテナをしまう]にタッチします。



[アンテナを伸ばす]にタッチするとアンテナが伸張し、[アンテナをしまう]にタッチするとアンテナが収納されます。



暗証番号を設定する

盗難防止対策のため、本機の起動時の暗証番号を設定できます。

情報・設定メニューを表示します。

メニュー



情報・設定

1 [システム設定]にタッチします。



2 [その他]にタッチします。



3 「暗証番号」の[設定]にタッチします。



4 設定する4～8桁の暗証番号を入力し、[決定]にタッチします。



5 もう一度、同じ暗証番号を入力し、[決定]にタッチします。 3のシステム設定(その他)画面に戻ります。



- 暗証番号は、下欄に記入しておいてください。

--	--	--	--	--	--	--

- 暗証番号が設定されているときは、本機の電源オン時にここで設定した暗証番号の入力が必要になります。



正しい暗証番号が入力されないと、本機は起動しません。

- にタッチすると、最後に入力した1桁を削除できます。また、タッチし続けると、すべての数字を削除できます。



暗証番号を変更する/解除する

暗証番号を変更または解除します。

1 [システム設定]にタッチします。



2 [その他]にタッチします。



3 「暗証番号」の[変更]または[解除]にタッチします。



4 現在設定されている暗証番号を入力し、[決定]にタッチします。



暗証番号を解除する場合は、ここで解除され、操作はここまでです。

暗証番号を変更する場合は、**5** に続きます。

5 新しく設定する4～8桁の暗証番号を入力し、[決定]にタッチします。



6 もう一度、同じ暗証番号を入力し、[決定]にタッチします。

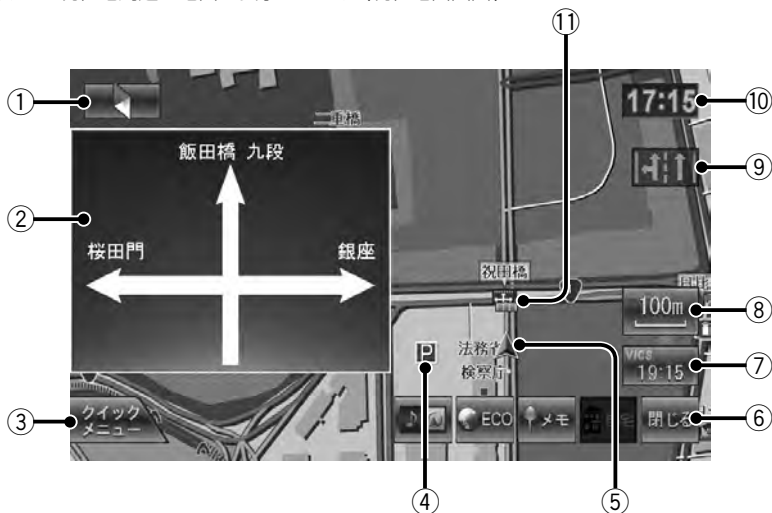
3 のシステム設定(その他)画面に戻ります。



通常の地図

現在の場所の地図を表示する

現在地 を押すと、現在地周辺の地図が表示されます（現在地図画面）。



① コンパスボタン

地図の方位を示します。
タッチすると、地図の向き（3Dヘディングアップ/ノースアップ/ヘディングアップ）を切り替えます（※ P23）。

② 方面看板

方面看板情報のある交差点に近づく则表示されます。表示しないようにすることもできます（※ P59）。

③ クイックメニューボタン

タッチすると、クイックメニューを表示します（※ P26）。

④ ランドマーク

地図上に目印となる施設をマークで示します。
表示するマークの種類は変更することができます（※ P29）。

⑤ 自車マーク

現在地と進行方向を表します。

⑥ 閉じるボタン

タッチすると、操作ボタンを閉じます（※ P24）。

⑦ VICS情報ボタン

VICS情報の提供時刻が表示されます。
タッチすると、VICS情報画面を手早く表示します（※ P76）。

⑧ スケールボタン

現在の地図の縮尺が表示されます。
タッチすると、地図の縮尺を変えるためのボタンを表示します（※ P24）。

⑨ レーン情報

次の交差点のレーン情報が表示されます。
表示しないように設定することもできます（※ P59）。

⑩ 時計

現在の時刻が24時間制で表示されます。
本機の時計はGPS電波を利用して自動で設定されます。

⑪ 案内地点

：②の方面看板の案内地点を示します。
：⑨のレーン情報の案内地点を示します。



- 現在地の地図が表示されていないときは **現在地** を押してください。どのような画面が表示されていても、現在地の画面に戻ります。
- 細街路（幅員5.5m未満の道路）は、駐停車中または細街路の走行中に表示されます。市街地図の表示中は、常に表示されます。
- クイックメニューには、機能を割り当てるができます（※ P25）。



地図の向きと表示方法を変える

地図の向き(3Dヘディングアップ/ノースアップ/ヘディングアップ)と表示方法(3D/2D)を切り替えることができます。

1 コンパスボタンにタッチします。



地図の向きが、3Dヘディングアップ→ノースアップ→ヘディングアップ→3Dヘディングアップの順に切り替わります。

(3Dヘディングアップ)



進行方向が画面の上になる向きで3D地図が表示されます。

市街地図では、周囲の建物の様子まで再現した3Dバーチャルマップが表示されます。



地域によっては、3Dバーチャルマップを表示できない場合があります。

(ノースアップ)



地図の北が画面の上になるように2D地図が表示されます。

(ヘディングアップ)



進行方向が画面の上になるように2D地図が表示されます。



通常の地図

地図の縮尺を変える

地図の縮尺を変えることができます。

1 スケールボタンにタッチします。



2 [広域]または[詳細]にタッチします。



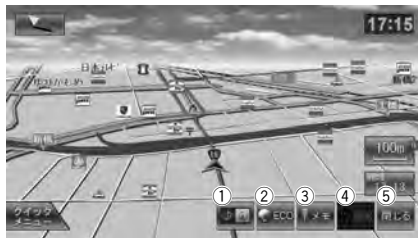
広域または詳細な地図が表示されます。



- 50m、25m、10mスケールでは市街地図が表示されます。ただし、市街地図が収録されていない地域もあります。
- 市街地図では、道路によっては、自転車位置が道路の中央や右側に表示されることもあります。
- 現在地図画面の 縮尺は記憶されます。このため、スクロール地図画面(※ P26)で 縮尺を変えても、現在地図画面に戻ったときには、直前の現在地図画面と同じ縮尺で表示されます。

操作ボタンを使う

操作ボタンの機能を使います。



- ① 簡易AV表示を表示します (※ P25)。
- ② ECO
エコ情報を表示します (※ P32)。
- ③ ↑メモ
現在地を地点登録します (※ P64)。
- ④ 自宅
自宅に帰るルートを探します (※ P35)。
- ⑤ 閉じる
操作ボタンを閉じます。



- [自宅]で自宅に帰るルートを探するためには、あらかじめ自宅を地点登録しておく必要があります (※ P35)。

操作ボタンを表示するときは

操作ボタンが表示されていないときは、[ボタン表示]にタッチします。





AVソース画面を地図画面に表示する

現在地図画面に現在のソースの画面を表示することができます（簡易AV表示）。

1 [地図] にタッチします。



簡易AV表示が表示されます。
もう一度 [地図] にタッチすると、簡易AV表示は消えます。



- 地図をスクロールすると、簡易AV表示は消えます。現在地図画面に戻ると、再び簡易AV表示が表示されます。
- 走行中は、映像は映りません。
- 簡易AV表示中は、方面看板やハイウェイモード画面は表示されません。

クイックメニューを設定する

クイックメニューのボタン（ショートカットボタン）に機能を割り当てます。

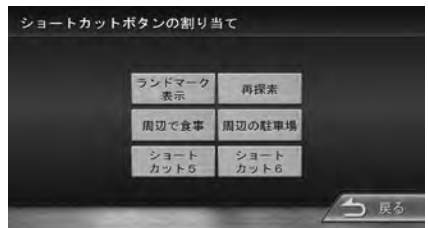
1 [クイックメニュー] にタッチします。



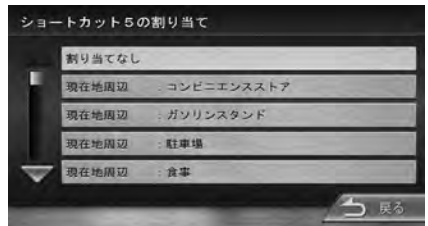
2 [編集] にタッチします。



3 設定するボタンにタッチします。



4 設定する機能を選んでタッチします。



機能が割り当てられ、3 の画面に戻ります。



通常の地図

クイックメニューを使う

クイックメニューを使うと、メニューを手早く表示できます。また、ナビの音声案内の音量を調整できます。

1 [クイックメニュー]にタッチします。



2 実行する機能を選んでタッチします。



ナビの音声案内音量を調整するときは

クイックメニューの または で、ナビの音声案内の音量を調整できます。



スクロールして任意の場所の地図を表示する

地図にタッチすると、タッチした場所が画面の中央に表示されるように地図がスクロールされます（ポイントスクロール）。また、地図にタッチし続けると、タッチしている方向に地図が連続してスクロールされます（連続スクロール）。



① (カーソル)

操作の対象となる地点を指します。

② 地点情報表示

カーソルのある地点の情報（住所や施設名など）と、現在地への距離と方向（矢印）が表示されます。

③ 地点情報

カーソルの位置の地点情報メニューを表示します。

この画面で、カーソルの位置を行き先（目的地、経由地）に設定したり（ **P48**）、地点登録する（ **P64**）こともできます。



- **現在地** を押すと、現在地図画面に戻ります。
- 走行中は連続スクロールできません。



地点情報メニューを表示する

スクロール地図画面で[地点情報]にタッチすると、カーソルのある地点の情報が表示されます。

【地点情報メニュー】



① 施設名/住所/電話番号

② (MDV-727DTのみ)

表示されている電話番号に電話をかけます (P153)。

③ 経由地

カーソルのある地点を経由地に設定します (P48)。

④ 目的地

カーソルのある地点を目的地に設定します (P48)。

⑤ 周辺検索、観光ガイド

カーソルのある地点で、施設や観光地を周辺検索します。
このボタンで周辺検索すると、検索結果画面に  が表示され、カーソルから検索地点までの直線距離が表示されます

⑥ 閉じる

地点情報メニューを閉じます。

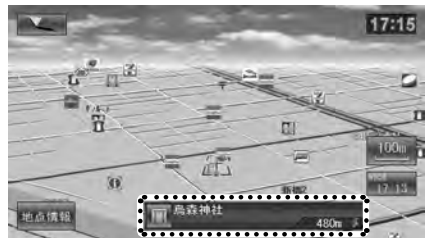
⑦ 登録

カーソルのある地点を地点登録します (P64)。

ランドマークの情報を表示する

地図に表示されるランドマークの情報を表示します。

1 情報を表示するランドマークにタッチします。



地点情報表示では、施設名と、現在地への距離と方向(矢印)が表示されます。



- 地図でマークが重なっている場合、地点情報表示のマークにタッチすると、表示される情報が切り替わります。



- 施設名、住所、および電話番号は、データベースから情報を取得できた場合に表示されます。



地図の設定

地図の表示を設定する

地図の色やランドマークの表示など、地図の表示方法を設定します。

情報・設定メニューを表示します。

メニュー



情報・設定

1 [ナビ設定]にタッチします。



2 各項目を設定します。



設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
地図色	—	地図の色を設定します (※ P29)。
ランドマーク表示	—	地図に表示するランドマークを設定します (※ P29)。
登録地点表示	—	地図に表示する登録地点を設定します (※ P30)。
自車マーク	—	自車マークのデザインを設定します。
ぬけみちの表示	する* しない	ぬけみちを表示します。 表示しません。
走行軌跡の表示	する* しない	軌跡を表示します。 表示しません。
走行軌跡を 消去	—	記憶されている走行軌跡を消去します。 [消去する]にタッチすると、確認のメッセージが表示されます。[はい]にタッチすると、走行軌跡は消去されます。

*お買い上げ時の設定



- 走行軌跡は、現在地より過去100km分が保存されています。
- 「走行軌跡の表示」を[しない]に設定しても、保存されている走行軌跡は消去されません。
- 地図に表示するランドマークは、お買い上げ時は、「コンビニエンスストア」、「ガソリンスタンド」、「カーディーラー」、「自動車→カー用品店」が表示されています。
- 「ぬけみちの表示」とは、本機のデータベースに収録されている情報からぬけみちを表示する機能です。ぬけみちは、200m以下のスケールで紫色で表示されます。200mよりも広域のスケールや市街地図では表示されません。



地図の色を設定する

昼画面/夜画面の地図の色(イメージ)を設定します。
また、昼画面/夜画面の切り替え方法を設定します。



1 「地図色」の[設定]にタッチします。

2 [イルミに連動]、[昼色に固定]、または[夜色に固定]にタッチして、画面の切り替え方法を設定します。



[イルミに連動]：車両のライトスイッチに連動して(ライト消灯時には昼画面、点灯時には夜画面)自動的に切り替わります。

[昼色に固定]：常に昼の色の地図を画面に表示します(昼画面)。

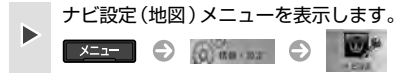
[夜色に固定]：常に夜の色の地図を画面に表示します(夜画面)。

3 「昼の地図」および「夜の地図」の色のボタン(1、2、3)にタッチして、各々の色を設定します。

ただし、昼固定時は昼画面のみ、夜固定時には夜画面のみを設定できます。

ランドマークの表示を設定する

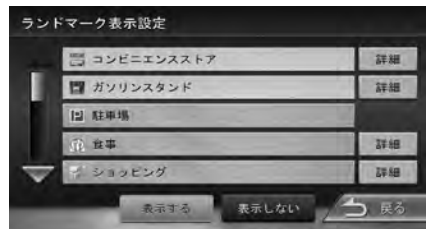
地図に表示するランドマークの種類を設定します。



1 「ランドマーク表示」の[設定]にタッチします。



2 表示するランドマークのジャンルのボタン、またはその[詳細]にタッチします。



ジャンルのボタンにタッチすると、そのジャンルに含まれるすべての項目が選択されます。個別に選択する場合は、[詳細]にタッチして項目を選んでください。

タッチするとそのジャンルが選択され、ボタンはハイライト表示されます。ハイライト表示されているボタンにタッチすると、通常の表示に戻り、選択が解除されます。



- 2 で[表示しない]にタッチすると、すべてのランドマークが表示されません。



地図の設定

登録地点の表示を設定する

地図に表示する登録地点をカテゴリーで設定します。

ナビ設定(地図)メニューを表示します。



- 1 「登録地点表示」の[設定]にタッチします。



- 2 表示する登録地点のカテゴリーをタッチします。



タッチするとそのカテゴリーが選択され、ボタンはハイライト表示されます。



- お買い上げ時の状態では、すべてのカテゴリーが選択されています。ハイライト表示されているボタンにタッチすると、選択が解除されます。
- 2 で[表示しない]にタッチすると、すべての登録地点が表示されません。

現在地を修正する

自車位置や向きがずれたときに、地図上の自車位置と向きを修正できます。

ナビ設定(地図)メニューを表示します。



- 1 「その他」にタッチします。



- 2 「現在地修正」の[修正]にタッチします。



- 3 地図をスクロールして、自車マークを実際の位置に合わせます(位置を修正)。





4 [向きを修正]にタッチします。

5  または  にタッチして、自車の向きを設定します(向きを修正)。



6 [決定]にタッチします。



- 表示されているスクロール地図画面は、縮尺を変えることができます。
- 6 で[決定]にタッチする前なら、[位置を修正]または[向きを修正]にタッチして、何度でも自車位置や向きを修正しなおせます。
- 6 で[決定]にタッチする前に  にタッチすると、修正した自車位置や向きは破棄されてナビ設定(その他)メニューに戻ります。



エコドライブのアドバイス

エコ情報を表示する

エコ情報を表示します。

1 [ECO]にタッチします。



エコ情報が表示されます。

【エコ情報表示】



① エコドライブ評点

少し前からの運転状況をもとに総合評価し、100点満点で表示されます。

② エコ情報インジケータ

eスタート、急加速、急減速、および経済速度の判定が表示されます。

③

ECOメニューを表示します (P33)。



- エコ情報で表示される内容は、あくまでも目安です。
- エコ情報画面が表示されているときは、方面看板、ハイウェイモード画面は表示されません。



ECOメニューを表示する

ECOメニューを表示します。

1 [ECOメニュー]にタッチします。



ECOメニューが表示されます。

表示されるボタンののはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
-----	----

日ごとの運転のエコ評価を、評価項目ごとに表示します。



◀ または ▶ で表示する日にちを選択できます。

7運転日の燃費度合いの変化をグラフで表示します。



◀ または ▶ で表示する日にちの範囲を選択できます。

エコドライブのアドバイスを表示します。



日ごとの運転履歴を表示します。



◀ または ▶ で表示する日にちを選択できます。

ECO設定メニューを表示します。

ECO判定モード：

エコ度の判定のモード(ソフト/ノーマル*/ハード)を設定します。ソフト、ノーマル、ハードの順に判定が厳しくなります。(*お買い上げ時の設定)

ECOデータ：

過去のエコデータを消去します。

[消去]にタッチすると、確認のメッセージが表示されます。

[はい]にタッチすると、エコデータが削除されます。



- 運転評価、ECOレシオ、運転履歴は、過去30運転日から表示する日にちを選択できます。



地点検索

目的地検索メニューを表示する

メニュー を押すと、目的地検索メニューが表示されます。このメニューで、行き先（目的地、経由地）をいろいろな方法で探します（地点検索）。



① 名称検索 (※ P36)

施設名やキーワードで地点検索します。エリアやジャンルで絞り込むこともできます。

② 住所検索 (※ P38)

住所で地点検索します。

③ ジャンル検索 (※ P39)

食事や買い物など、ジャンルで地点検索します。エリアで絞り込むこともできます。

④ 周辺検索 (※ P40)

現在地、経由地、目的地周辺でジャンル検索します。

⑤ 登録地点検索 (※ P41)

本機で登録した場所（登録地点）のなかから探します。

⑥ 履歴検索 (※ P41)

いままで地点検索した履歴の中から探します。

⑦ 自宅 (※ P35)

現在地から自宅に帰るルートを探索して、ルート案内を開始します。
ただし、あらかじめ自宅を登録しておく必要があります (※ P35)。

⑧ 番号検索 (※ P42)

電話番号、郵便番号、マップコードで地点検索します。

⑨ 観光ガイド検索 (※ P43)

観光ガイドから地点検索します。



自宅を登録する

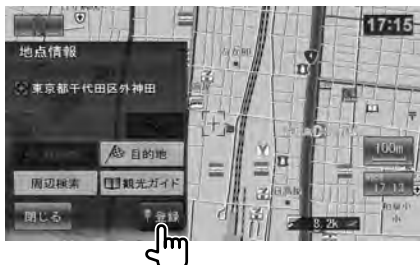
自宅を地点登録しておく、自宅までのルート案内を簡単に始めることができます。

- 1 スクロール地図画面で、自宅の位置にカーソルを合わせます。

- 2 [地点情報]にタッチします。



- 3 [登録]にタッチします。



- 4 「未分類」と表示されている行の[編集]にタッチします。



- 5 [自宅]にタッチします。



- すでに自宅が登録されているときに自宅(自宅)を選択すると、確認のメッセージが表示されます。[[はい]]を選択すると、自宅が変更されます。この場合、先に自宅として登録されていた地点は、「未分類」カテゴリーに移動されます。

自宅に帰る

自宅を登録しておく、自宅に帰るルートを探索できます。

目的地検索メニューを表示します。



メニュー

- 1 [自宅]にタッチします。



ルート探索が開始されます。
ルート案内の開始については48ページをご覧ください。



- 現在地図画面の操作ボタンでも操作できます(※ P24)。





名称で探す

会社や店舗などの場所を名前（読みがな）で探します（名称検索）。

目的の検索メニューを表示します。

メニュー

1 [名称]にタッチします。

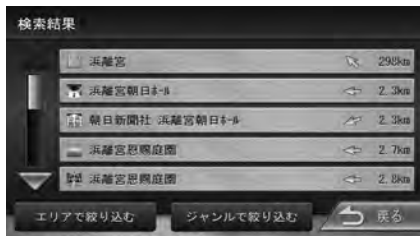


2 施設の名前を入力します。



3 [検索]にタッチします。

4 行き先を選んでタッチします。



エリアまたはジャンルで絞り込むときは37ページをご覧ください。

検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。

行き先に設定してルート探索する方法については48ページをご覧ください。



- 2 での入力時に、「°」（濁点）や「゚」（半濁点）は省略できます。清音で入力してください。
また、「っ」（促音）や「ゃゅょ」（拗音）は、通常の文字で入力してください。
- [削除]にタッチすると、最後に入力した1文字を削除できます。タッチし続けると、入力したすべての文字を削除できます。
- 名前を入力するたびに対象が絞り込まれ、その状態は「完全一致」または「部分一致」に件数で表示されます。
部分一致件数が5件以下になると、自動的に 4 の画面が表示されます。

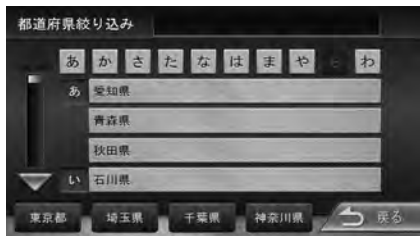


エリアで絞り込むときは

検索結果の件数が多いときには、エリアで絞り込むことができます。

1 [エリアで絞り込む]にタッチします。

2 都道府県を選んでタッチします。



現在地または隣接都道府県は、画面下部のボタンで選択できます。

3 行き先を選んでタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。行き先に設定してルート探索する方法については48ページをご覧ください。

ジャンルで絞り込むときは

検索結果の件数が多いときには、ジャンル(施設の種類)で絞り込むことができます。

1 [ジャンルで絞り込む]にタッチします。

2 ジャンルを選んでタッチします。



3 画面に従って、ジャンルを絞り込みます。

4 行き先を選んでタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。行き先に設定してルート探索する方法については48ページをご覧ください。



- 都道府県だけの絞り込みでは件数が多い場合、市区町村を指定する画面が表示される場合があります。
- エリアで施設を絞り込んだときに該当する施設がない場合、「該当する施設がありません。」と表示されます。メッセージにタッチするか一定時間が経過すると、絞り込み画面に戻ります。



- ジャンルで施設を絞り込んだときに該当する施設がない場合、「該当する施設がありません。」と表示されます。メッセージにタッチするか一定時間が経過すると、絞り込み画面に戻ります。



地点検索

住所で探す

住所で探します（住所検索）。

目的地点検索メニューを表示します。



1 [住所]にタッチします。



2 都道府県を選んでタッチします。



現在地または隣接都道府県は、画面下部のボタンで選択できます。

3 市区町村を選んでタッチします。



4 画面に従って、住所の続き（地名や番地など）を入力します。



[代表地点を表示]にタッチすると、入力済みの住所付近の地図が表示されます。

[番地を入力]にタッチすると、番地の入力画面が表示され、番地（丁目、番、号など）をテンキーで入力できます。

住所を最後まで選択すると検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。

行き先に設定してルート探索する方法については48ページをご覧ください。



- 都道府県名、市区町村名、地名は、[あ]～[わ]で頭だしできます。
- 番地の入力画面では、丁目、番、号は、“-”でつないで一度に入力することができます。



✖ にタッチすると、最後に入力した1文字を削除できます。また、タッチし続けると、入力したすべての文字を削除できます。



ジャンルで探す

食事や買い物など、目的のジャンルを絞り込みながら探します。さらに、エリアで絞り込みます(ジャンル検索)。

目的地検索メニューを表示します。

メニュー

1 [ジャンル]にタッチします。

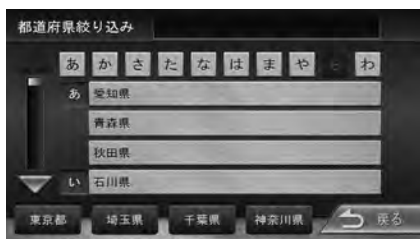


2 ジャンルを選んでタッチします。



3 画面に従って、ジャンルを絞り込みます。

4 都道府県を選んでタッチします。



現在地または隣接都道府県は、画面下部のボタンで選択できます。

5 市区町村を選んでタッチします。



6 目的の施設を選んでタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。行き先に設定してルート探索する方法については48ページをご覧ください。



- ジャンルの分類については166ページをご覧ください。
- 都道府県名、市区町村名は、[あ]～[わ]で頭だしできます。



地点検索

周辺で探す

現在地、経由地または目的地周辺にある指定したジャンルの施設を探します(周辺検索)。

目的地検索メニューを表示します。

メニュー

1 [周辺]にタッチします。



2 ◀ または ▶ にタッチして、探したい地点(現在地周辺、目的地周辺、または各経由地周辺)を選択します。



3 ジャンルを選んでタッチします。



4 画面に従って、ジャンルを絞り込みます。

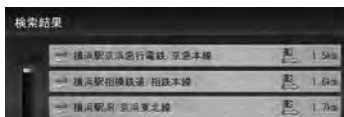
5 目的の施設を選んでタッチします。



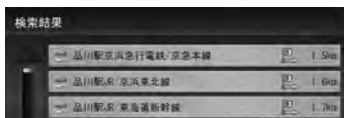
検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。行き先に設定してルート探索する方法については48ページをご覧ください。



- ジャンルの分類については166ページをご覧ください。
- ルートが設定されていないときは、2で目的地や経由地は指定できません。
- 目的地周辺または経由地周辺で周辺検索した場合、検索結果画面に表示される距離は、目的地または経由地からの直線距離です。
(目的地周辺の場合)



(経由地周辺の場合)





登録地点から探す

登録した地点から探します（登録地点検索）。

検索履歴から探す

今までにルート探索した行き先から探します（履歴検索）。

目的地検索メニューを表示します。

メニュー

目的地検索メニューを表示します。

メニュー

1 [登録地点]にタッチします。



1 [履歴]にタッチします。



2 カテゴリーを選んでタッチします。



2 検索履歴を選んでタッチします。



3 登録地点を選んでタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。行き先に設定してルート探索する方法については48ページをご覧ください。

検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。行き先に設定してルート探索する方法については48ページをご覧ください。



- 目的地または経由地として設定してルート探索した場合、場所が履歴に保持されます。
- 検索履歴は50か所まで保持されます。50か所を超えると、古いものから自動的に削除されます。
- 検索履歴を手動で削除することもできます（※ P50）。



- 地点の登録方法については64ページ、編集方法については66ページをご覧ください。



地点検索

番号で探す

電話番号、郵便番号、マップコードで探します(番号検索)。

目的の検索メニューを表示します。

メニュー

1 [番号]にタッチします。



- 指定した電話番号がデータベースに収録されていない場合は、局番が使用されている地域の地図が表示されます。局番でも見つからなかった場合は、「入力した電話番号の施設がありません。」というメッセージが表示されます。
- 個人宅を電話番号で検索すると、個人宅の名字の入力が必要になります。名字の読みを入力して[検索]にタッチしてください。



- 郵便番号で検索した場合は、郵便番号が使用されている地域の地図が表示されます。
- 電話番号または郵便番号は、全桁を入力すると自動的に地点検索が開始されます。[検索]にタッチする必要はありません。
- マップコードに関する情報は、マップコードのホームページ(<http://www.e-mapcode.com/>)をご覧ください。
- ◀ にタッチすると、最後に入力した1文字を削除できます。また、タッチし続けると、すべての文字を削除できます。

2 検索に使用する番号の種類を選んでタッチします。



3 番号を入力して[決定]にタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。行き先に設定してルート探索する方法については48ページをご覧ください。



観光ガイドメニューを表示する

目的地検索メニューで[観光ガイド]にタッチすると、観光ガイドメニューが表示されます。このメニューでは、観光地やSA/PAを探することができます。

【観光ガイドメニュー】



- ① 観光地などをエリアとジャンルで探します (※ P43)。



- ② 観光地などを、ガイドブックなどに掲載されているまっふるコードで探します (※ P44)。



- ③ SA/PAを名称で探します (※ P45)。



- ④ SA/PAを路線名で探します (※ P46)。



- ⑤ 商標を表示します。



- ⑥ 目的地検索メニューに戻ります。

観光エリアから探す

観光エリアとジャンルで観光地などを探します。

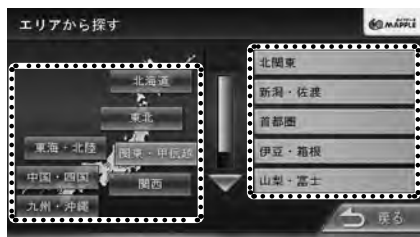
観光ガイドメニューを表示します。



- 1 [観光エリアから探す]にタッチします。



- 2 画面の表示に従って、エリアを選択します。



画面の左端で地方名を、右端で観光地名を選択します。
ジャンルが表示されるまで観光地名を選択してください。

- 3 画面に従って、ジャンルを絞り込みます。





4 目的の施設を選んでタッチします。

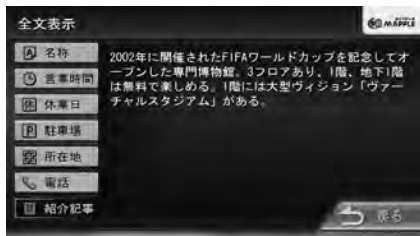


5 [地図を表示]にタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。行き先に設定してルート探索する方法については48ページをご覧ください。

[続きを読む]にタッチすると、検索したスポットの詳細情報が表示されます。



ボタンにタッチすると、それぞれの情報が表示されます。

まっぷるコードで探す

まっぷるコードで観光地などを探します。

観光ガイドメニューを表示します。



1 [まっぷるコードで探す]にタッチします。



2 まっぷるコードを入力して[決定]にタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。行き先に設定してルート探索する方法については48ページをご覧ください。



- まっぷるコードに関する情報は、昭文社のホームページ (<http://www.mapple.co.jp/>) をご覧ください。



- [電話] にタッチすると、本機に接続された携帯電話で電話をかけることができます (MDV-727DTのみ)。



SA/PAを名称で探す

SA/PAを名前（読みがな）で探します。

観光ガイドメニューを表示します。

メニュー



観光ガイド

1 [SA・PAを名称から探す]にタッチします。



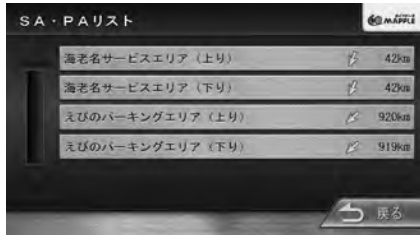
2 SA/PAの名前を入力します。



3 [検索]にタッチします。

候補のリストが表示されます。

4 SA/PAを選んでタッチします。



5 [地図を表示]にタッチします。



検索したSA/PAのスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。行き先に設定してルート探索する方法については48ページをご覧ください。

[各施設の情報]にタッチすると、検索した施設の詳細情報が表示されます。



- 文字の入力時には、「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）は省略できます。清音で入力してください。また、「っ」（促音）や「ゃゅょ」など（拗音）は、通常の文字で入力してください。
- [] にタッチすると、最後に入力した1文字を消去できます。タッチし続けると、入力したすべてを消去できます。
- 2 で名前の文字を入力するたびに対象が絞り込まれ、その状態は「完全一致」または「前方一致」に件数で表示されます。前方一致件数が5件以下になると、自動的に4 の画面が表示されます。
- [前の施設]または[次の施設]にタッチすると、表示しているSA/PA内の施設情報を切り替えて表示できます。
- [続きを読む]にタッチすると、施設の詳細情報が表示されます（※ P46）。



SA/PAを路線名で探す

SA/PAを路線別リストから探します。

観光ガイドメニューを表示します。

メニュー



観光ガイド

1 [SA・PAを路線名から探す]にタッチします。



2 路線を選んでタッチします。



3 SA/PAを選んでタッチします。



3 [地図を表示]にタッチします。



検索したSA/PAのスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。行き先に設定してルート探索する方法については48ページをご覧ください。

[各施設の情報]にタッチすると、検索した施設の詳細情報が表示されます。



- 路線名は、[あ]～[わ]で頭だしできます。
- [前の施設]、[次の施設]にタッチすると、表示しているSA/PA内の施設情報を切り替えて表示できます。
- [続きを読む]にタッチすると、施設の詳細情報が表示されます。







ルート探索と案内開始

ルートを探索して案内を開始する

地点検索した場所を行き先(目的地、経由地)に設定してルートを探索し、ルート案内を開始します。

▶ 行き先を地点検索します。

1 [目的地]または[経由地]にタッチします。



ルート探索が開始されます。

2 ルートを選択します。



目的地までの到着予想時刻と距離が表示されます。

有料道路を通る場合は、料金、および最初と最後のIC名が表示されます。

[推奨]: お奨めのルートです。

[距離]: 距離ができるだけ短くなるルートです。

[高速]: 高速道路を優先的に通るルートです。

[一般]: 一般道を優先的に通るルートです。

3 [案内開始]にタッチします。

ルート案内が開始されます。

ルート案内中の地図については52ページをご覧ください。



- 目的地が設定されていないときには経由地は設定できません。
- 経由地は4か所まで設定できます。
- 続けて経由地を設定する場合は、**2** で、**メニュー** を押して目的地検索メニューに戻り、行き先を検索してください。
- ルートの全体を見ることもできます (☞ **P60**)。
- 案内開始後に、行き先の順番を変えたり (☞ **P62**)、削除することもできます (☞ **P63**)。
- 料金は、車両ナンバーの設定 (☞ **P137**) に基づいて表示されます。
- 表示される料金には、ETC割引などの各種割引は考慮されていません。
- 料金は、地図データベース作成時のものです。料金改定などにより、実際の料金と異なる場合があります。
- 料金が不明な道路を経由した場合、「～円以上」と表示される場合があります。
- 有料道路上に目的地を設定した場合、料金が表示されないことがあります。
- **2** の画面でルートを選択するときに、優先する探索条件を設定しておくことができます (☞ **P51**)。

[目的地] または [経由地] にタッチしたときに、次のメッセージが表示されることがあります。

「一般道を目的地(経由地)にしますか?」

カーソルが高速道路または有料道路の付近にあるときに表示されます。

一般道にするときは[はい]に、高速・有料道路にするときは[いいえ]にタッチします。

「提携している駐車場があります。検索しますか?」

目的地または経由地にした施設に提携駐車場があるときに表示されます。

[はい] にタッチすると、提携駐車場の一覧が表示されます。利用する駐車場を選んでタッチします。

[いいえ] にタッチすると、施設へのルート探索が始まります。

「スマートICを利用します。よろしいですか?」

ルート探索・再探索にスマートICを利用する設定にしている (☞ **P51**)、スマートICを通過するルートを探したときに表示されます。

利用するときは[はい]に、利用しないときは[いいえ]にタッチします。



案内を終了する

ルート案内を終了します。

目的の検索メニューを表示します。

メニュー

1 [案内終了]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

- 2 [はい]にタッチします。
案内が終了され、現在地図画面に戻ります。



- [案内終了]は、目的地検索メニューだけではなく、ルートメニューや情報・設定メニューからでも使用できます。

現在地からのルートを探索しなおす

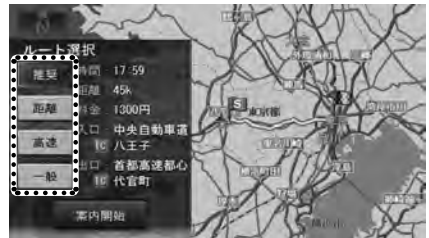
現在地から、ルートの種類(推奨、距離、高速、一般)を変えてルート探索しなおします。

ルートメニューを表示します。

メニュー → ルート

1 [再探索]にタッチします。

- 2 ルートを選択します。



選択できるルートの種類については48ページをご覧ください。

- 3 [案内開始]にタッチします。
新しいルートでルート案内が開始されます。



ルート探索と案内開始

検索履歴を削除する

不要になった履歴地点を削除します。

▶ 目的地検索メニューを表示します。

メニュー

1 [履歴]にタッチします。



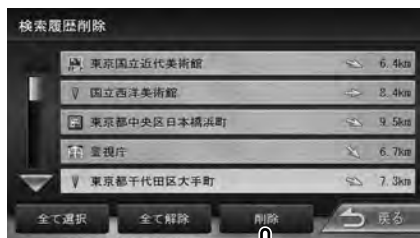
2 [削除]にタッチします。



3 削除する履歴地点を選んでタッチします。



4 [削除]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

5 [はい]にタッチします。

選択した履歴地点が削除され、2 の画面に戻ります。



- 削除した履歴地点を元に戻す方法はありません。まちがいのないように、慎重に操作してください。
- 3 で複数の地点を選択することもできます。
- 3 で、[全て選択]にタッチすると、すべての履歴地点が選択されます。また、[全て解除]にタッチすると、履歴地点の選択が解除されます。
- 検索履歴は50か所まで保持されます。50か所を超えると、自動的に古いものから削除されます。



探索方法を設定する

ルート探索の方法を設定します。

情報・設定メニューを表示します。



1 [ナビ設定]にタッチします。



2 [探索]にタッチします。



3 各項目を設定します。



設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
優先する探索条件	推奨*	お勧めのルートです。
	距離	距離ができるだけ短くなるルートです。ただし、最短距離にならない場合があります。
	高速	高速道路(有料道路)を優先的に通るルートです。
スマートICを利用した探索	一般	一般道を優先的に通るルートです。一般道だけでは目的地に到達できない場合は、高速道路(有料道路)を通るルートになることがあります。
	する	ルート探索時にスマートICを利用します。
フェリーを利用した探索	しない*	利用しません。
	する	ルート探索時にフェリーを利用します。
最適時間を考慮した探索	しない*	利用しません。
	する*	ルート探索時に、ビーコンVICSによる渋滞情報を考慮します。
	しない	考慮しません。

*お買い上げ時の設定



●「最適時間を考慮した探索」は、光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99（別売品）が接続されている場合に設定できます。

●スマートICでは、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、これらはルート探索では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。

●スマートICを利用してのルート案内中にエンジンスイッチを切ると、次にエンジンスイッチを入れたときに「スマートICを利用します。カードの挿入を確認してください。」と表示されます。

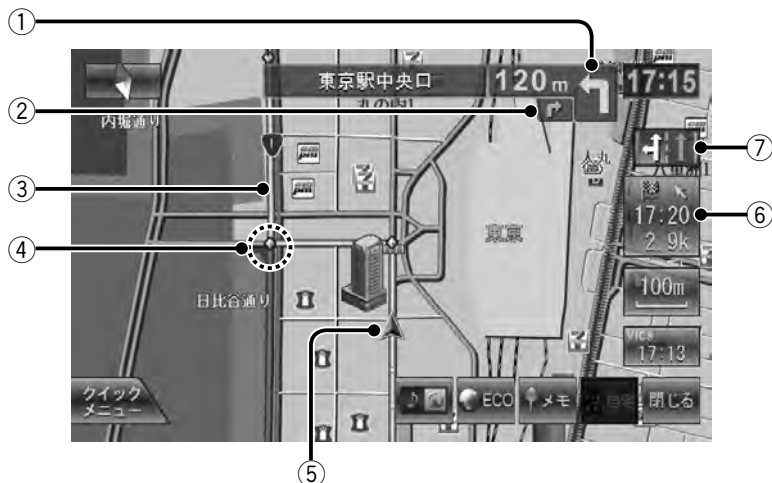


ルート案内中の地図

一般道でのルート案内

一般道でのルート案内中には次の情報が表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。



① 次案内ポイント案内

次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。

ただし、交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

② 次々案内ポイントでの進行方向

①のさらに次の案内ポイントの進行方向が表示されます。①とさらに次の案内ポイントが近い場合に表示されます。

③ 案内ルート

案内ルートが水色で表示されます。

④ 案内ポイント

案内ポイントの位置を表します (P57)。

⑤ 自転車マーク

⑥ 到着予想時刻と距離

対象の行き先 (次の経由地または目的地) への到着予想時刻と距離が表示されます。

このボタンにタッチするたびに、対象の行き先が切り替わります。

⑦ レーン情報表示

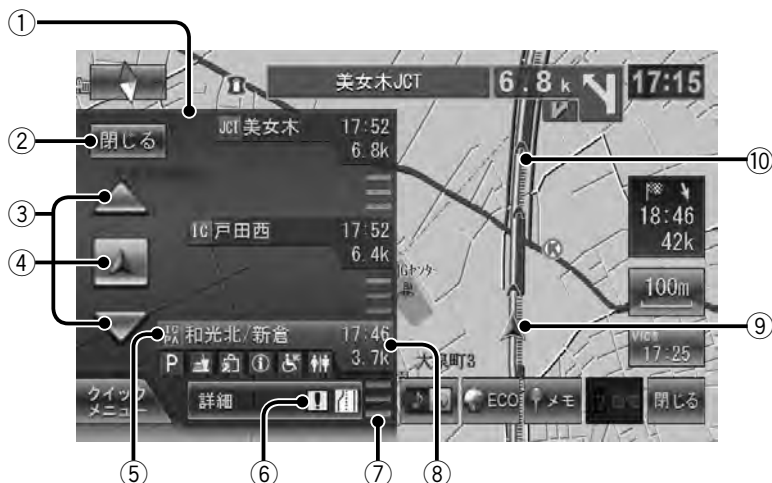
次の交差点での通行区分と推奨通過レーン (白色矢印) が表示されます。



高速道路でのルート案内

有料道路（高速道路）でのルート案内中には次の情報が表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。



① ハイウェイモード画面

高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。

② 閉じるボタン

ハイウェイモード画面を閉じます。
ハイウェイモード画面を閉じた後で、 (ハイウェイモード復帰ボタン) にタッチすると、ハイウェイモード画面が再び表示されます。

③ スクロールボタン

ハイウェイモード画面内の施設情報表示をスクロールします。

④ 現在地復帰ボタン

ハイウェイモード画面をスクロールしているときに表示され、タッチすると現在地まで戻します。

⑤ 施設名称

施設名称が表示されます。
SAまたはPAの場合、タッチすると詳細情報が表示されます。
詳細情報で[観光ガイド]にタッチすると、SA/PAの観光ガイドが表示されます(※ P45)。

⑥ 規制情報表示

車線規制等の情報 (VICS情報規制表示) が4件までマークで表示されます。マークについては73ページをご覧ください。

⑦ 交通情報表示

施設間の交通情報が表示されます。
橙色：混雑、赤色：渋滞

⑧ 次施設案内表示

進行方向にあるインターチェンジ (IC) / ジャンクション (JCT)、サービスエリア (SA)、パーキングエリア (PA) までの距離、通過予想時刻、および各施設の設備が表示されます。

⑨ 自転車マーク ⑩ 案内ルート



- ハイウェイモード画面は、ルート案内中であるかどうかにかかわらず、高速道路を走行中に表示されます。ただし、高速道路によっては表示されない場合があります。
- [閉じる]で ハイウェイモード画面を閉じても、本機の電源をオフにした後に再びオンにしたときには再度表示されます。
- 施設の設備のマークは最大6個まで表示されます。



ルート案内中の地図

案内ポイントでの案内表示

交差点案内図の表示

一般道では、案内ポイントに近づくと交差点案内図が表示されます。
表示しないように設定することもできます(※ P59)。

【交差点拡大図】

約200m手前に近づくと表示されます。



【リアル交差点イラスト】

イラストのデータがある場合、約300m手前に近づくと表示されます。



【側道分岐イラスト】

イラストのデータがある場合、約300m手前に近づくと表示されます。



- 交差点案内図は、案内ポイントを通過すると自動的に消えます。
通過前に消したいときは、交差点案内図の表示をタッチしてください。
消した交差点案内図は、**現在地** を押すともう一度表示できます。



高速道分岐イラストの表示

高速道路では、分岐する案内ポイントに近づくときと高速道分岐イラストが表示されます。

表示しないように設定することもできます(※ P59)。

【高速入口】

都市高速道路入口の約300m手前で表示されます。



【分岐】

出口やジャンクションの約1km手前で表示されます。



場所によっては、実際の看板をイメージしたイラストが表示されます。



【出口後分岐】

出口分岐を通過後、約1km手前に近づくと表示されます。



- 地点によっては、イラスト情報がない場合があります。その場合は表示されません。
 - イラストは、案内ポイントを通過すると自動的に消えます。通過前に消したいときは、イラストの表示をタッチしてください。
- 消したイラストは、**現在地** を押すともう一度表示できます。



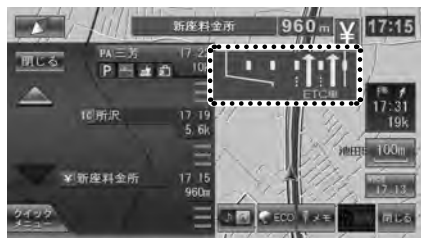
ルート案内中の地図

ETCレーン表示

出口または本線分岐に近づく、料金所ゲートのETCレーンが表示されます。

表示しないように設定しておくこともできます

(P59)。



規制情報を見る

ハイウェイモード画面にVICS規制情報があるときには、[詳細]にタッチすると詳細情報を表示できます。



- 案内ポイントを通過すると、ETCレーン表示は自動的に消えます。通過前に消したいときは、ETCレーン表示の枠内にタッチしてください。**現在地**を押すと、もう一度表示できます。
- ETCレーン表示は、ルート案内していないときでも表示されます。
- 場所によっては情報がない場合があります。その場合は表示されません。

複数の規制情報がある場合には、表示する情報をリストから選択できます。



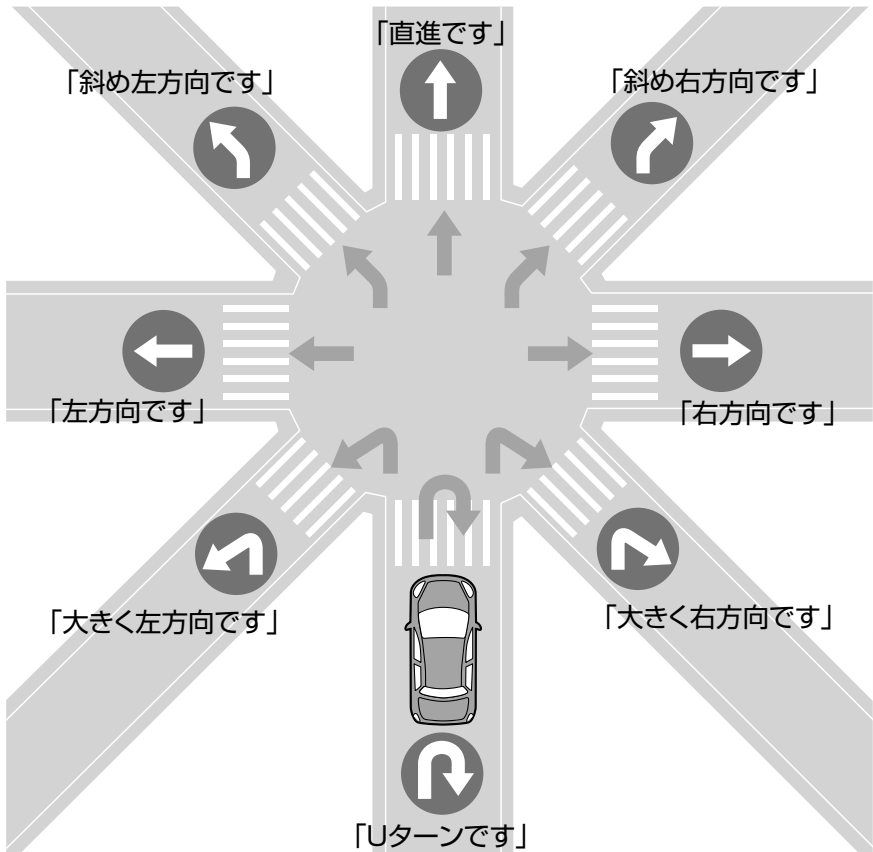


案内ポイント付近での音声案内

案内ポイントに近づくと、進行方向が音声で案内されます。

案内ポイントの直前では“ポンポン”と音が鳴ります。

また、音声案内の前には“ジャーン”と案内警告音が鳴ります。なお、案内警告音は、鳴らないように設定することもできます（ P59）。



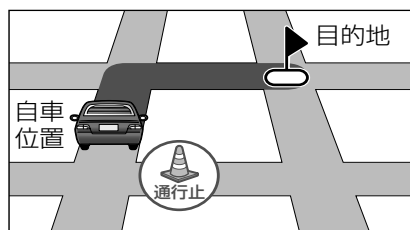
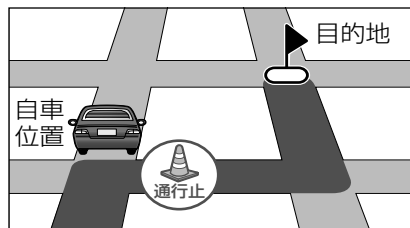
- 本線を直進する場合でも、左（または右）に分岐路があると「斜め右（または斜め左）方向です」とアナウンスされる場合があります。
- 道路の形状によっては、実際の進行方向が音声案内と異なる場合があります。



ルート案内中の地図

ルートから外れたときは

案内中のルートから外れても、何も操作する必要はありません。自動的に新しいルートが探索され（オートリルート）、案内が再開されます。





案内方法を設定する

ルート案内の方法を設定します。

▶ 情報・設定メニューを表示します。



1 [ナビ設定]にタッチします。



2 [案内]にタッチします。



3 各項目を設定します。



設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
ナビ案内の音量	1～20	ナビゲーションシステムから出力される音声の音量を設定します。
案内警告音の出力	する* しない	案内警告音を出力します。 出力しません。
ルート案内の音声出力	する* しない	ルート案内時の案内音声を出 力します。 出力しません。
ETC料金の表示	する* しない	対応ETC車載器を接続してい るときに、ETC通行料金を地 図画面に表示します。 表示しません。
レーン情報の表示	する* しない	レーン情報を表示します (※ P22)。 表示しません。
方面看板の表示	する* しない	方面看板を表示します(※ P22)。 表示しません。
高速道分岐イラストの表示	する* しない	ルート案内中に高速道分岐イ ラストを表示します(※ P55)。 表示しません。
交差点案内図の表示	する* しない	ルート案内中に交差点案内図を 表示します(※ P54)。 表示しません。
ETCレーンの表示	する* しない	料金所に近づいたときに、ETC レーン案内を表示します (※ P56)。 表示しません。

*お買い上げ時の設定



- 「ETC料金の表示」は、対応ETC車載器が接続されている場合に設定できます。
- 対応ETC車載器が接続されている状態とは、株式会社デンソー製ETC車載器DIU-5310がETC/ステアリングリモコン対応ケーブルKNA-300EX（別売品）で接続されている状態です。
- ルート案内の音声の音量は、クイックメニューでも設定できます(※ P26)。



ルート案内中の地図

目的地付近の地図を表示する

目的地付近の地図を表示することができます。

▶ ルートメニューを表示します。



1 [目的地表示]にタッチします。



目的地付近の地図が表示されます。

ルート全体を表示する

現在のルート全体を表示します。

▶ ルートメニューを表示します。



1 [ルート表示]にタッチします。



ルート全体とルート情報が表示されます。



シミュレーションでルートを見る

実際に走行するときと同じように、地図やルート、画面表示や音声でのルート案内を確認することができます（デモ走行）。

▶ ルートメニューを表示します。



1 [ルート表示]にタッチします。

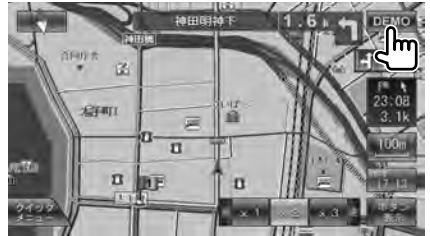


2 [デモ走行]にタッチします。



デモ走行が開始されます。

3 デモ走行を終了するときは、[DEMO]にタッチします。



- デモ走行中の画面は、通常の走行中の画面と同様に、地図の縮尺や向きなどを変えることができます。
- **×1**、**×2**、**×3** にタッチすると、デモ走行のスピードを変えることができます。



ルート編集

行き先の順番を変える

行き先(目的地、経由地)の順番を変えます。

ルートメニューを表示します。



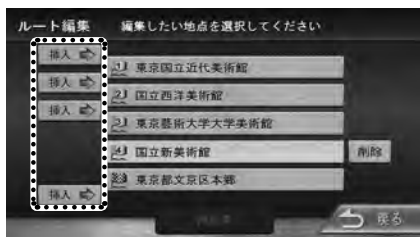
1 [ルート編集]にタッチします。



2 順番を変更する行き先を選んでタッチします。



3 移動先の「挿入」にタッチします。



4 [再探索]にタッチします。



5 [案内開始]にタッチします。



新しいルートで案内が開始されます。



行き先を削除する

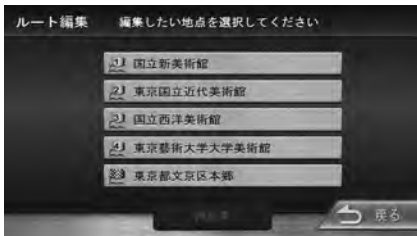
行き先(目的地、経由地)を削除します。



1 [ルート編集]にタッチします。



2 削除する行き先を選んでタッチします。



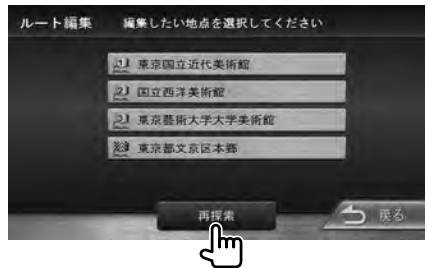
3 [削除]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

4 [はい]にタッチします。

5 [再探索]にタッチします。



6 [案内開始]にタッチします。



新しいルートで案内が開始されます。



- 削除した行き先を元に戻す方法はありません。間違いのないように、慎重に操作してください。
- 目的地を削除すると、最後の経由地が目的地になります。
- 4 で[はい]にタッチした後でも、5 で[戻る]にタッチすると 1 の画面に戻り、削除を中止することができます。



地点登録

地点登録する

現在地を地点登録します。

地点は300か所まで登録できます。

すでに300か所が登録されている場合は、不要な登録地点を削除してから登録してください。削除方法については71ページをご覧ください。

また、地図をスクロールしたり地点検索したりして、任意の場所を地点登録することもできます。

1 [メモ]にタッチします。



現在地が地点登録されます。



- 操作ボタンが表示されていないときは、[ボタン表示]にタッチしてください。
- 登録した地点は、カテゴリ「未分類」に登録されます。
- 登録した地点の名前、電話番号、カテゴリを編集することができます (P66)。

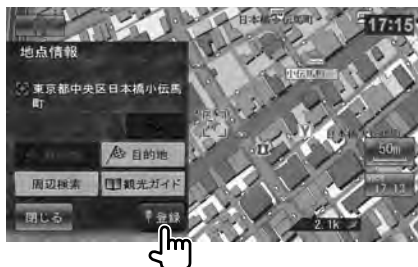
1 地点登録する場所にカーソルを合わせます。

目的地検索メニューで地点検索した場合は 3 に進みます。

2 [地点情報]にタッチします。



3 [登録]にタッチします。



カーソルの位置が地点登録されます。



登録地点の情報を見る

本機に記憶させた場所の情報を表示します（登録地点情報）。



目的地検索メニューを表示します。

メニュー

1 [登録地点]にタッチします。



2 表示する情報のカテゴリーを選んでタッチします。



3 情報を表示する登録地点を選んでタッチします。



- 情報を表示した地図画面は、常にノースアップの100mスケールで表示されます。



登録地点編集

登録地点の編集画面を表示する

登録した地点の名前、電話番号を編集することができます。また、登録した地点のカテゴリーを変更することもできます。

目的地検索メニューを表示します。

メニュー

1 [登録地点]にタッチします。



2 [編集]にタッチします。



3 編集する登録地点のカテゴリーを選んでタッチします。



登録後一度も編集していない地点は、 (未分類) のカテゴリーに分類されています。

4 編集する登録地点を選んでタッチします。



登録地点編集画面が表示されます。

- 名前をつける ➡ 67ページ
- 電話番号を設定する ➡ 67ページ
- カテゴリーを変更する ➡ 68ページ
- カテゴリー名を変更する ➡ 68ページ



登録地点に名前をつける

登録地点の名前を変更します。

- ▶ 名前を変更する登録地点の情報を表示します。
(E3 P66)

1 登録地点編集画面で、名前欄の[編集]にタッチします。



2 名前を入力します。



文字の入力方法については70ページをご覧ください。

3 [決定]にタッチします。

1 の登録地点編集画面に戻ります。



- 名前には、漢字、ひらがな/カタカナ、英字、数字/記号で48文字まで入力できます。

登録地点に電話番号を設定する

登録地点に電話番号を設定します。

- ▶ 電話番号を登録する登録地点の情報を表示します。
(E3 P66)

1 登録地点編集画面で、電話番号欄の[編集]にタッチします。



2 電話番号を入力します。



3 [決定]にタッチします

1 の登録地点編集画面に戻ります。



- ハイフン「-」は省略することもできます。
- 15文字まで入力できます。



登録地点編集

登録地点のカテゴリーを変更する

登録地点のカテゴリーを変更します。

- ▶ カテゴリーを変更する登録地点の情報を表示します。(P66)

- 1 登録地点編集画面で、カテゴリー欄の[編集]にタッチします。



- 2 変更するカテゴリーを選んでタッチします。



1 の登録地点編集画面に戻ります。

カテゴリー名を変更する

カテゴリー名を変更します。

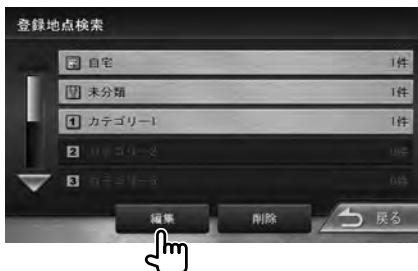
- ▶ 目的地検索メニューを表示します。

メニュー

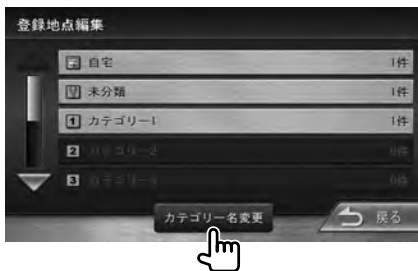
- 1 [登録地点]にタッチします。



- 2 [編集]にタッチします。

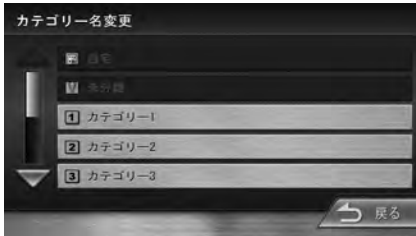


- 3 [カテゴリー名変更]にタッチします。





4 変更するカテゴリーを選んでタッチします。



5 カテゴリー名を入力します。



文字の入力方法については70ページをご覧ください。

6 [決定]にタッチします

4 のカテゴリー名称変更画面に戻ります。



- カテゴリー名には、漢字、ひらがな/カタカナ、英字、数字/記号で48文字まで入力できます。



登録地点編集

文字の入力

【文字入力画面】



- ① **かな**、**カナ**、**英数**、**記号**

入力する文字の種類を切り替えます。

- ② **小文字**

ひらがなまたはカタカナ入力時には拗音(や、ゆ、よなど)や促音(っ)などを入力します。アルファベットの入力時には小文字を入力します。

- ③ **変換**

入力したひらがなを漢字に変換します。

- ④ **無変換**

入力したひらがなを変換せずに確定させます。

- ⑤ **決定**

文字列を確定し、直前の画面に戻ります。

- ⑥ **戻る**

この画面での文字入力を破棄し、直前の画面に戻ります。

- ⑦ **BS**

カーソルの左の1文字を削除します。タッチし続けると、入力したすべての文字を削除します。

- ⑧ **←**、**→**

カーソルを左右に移動します。

- ⑨ **カーソル**

- ⑩ **表示エリア**

確定した文字列や入力した文字列が表示されます。

変換 にタッチすると、候補の漢字が表示されます。



候補の漢字にタッチすると、その漢字が表示エリアに表示されます。

[閉じる]にタッチすると、変換を中止し、変換画面が閉じます。



登録地点を削除する

登録地点を削除します。

目的地的検索メニューを表示します。

メニュー

1 [登録地点]にタッチします。



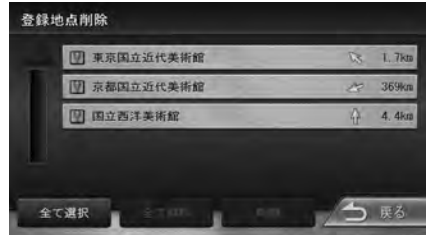
2 [削除]にタッチします。



3 削除する登録地点のあるカテゴリーを選んでタッチします。



4 削除する登録地点を選んでタッチします。



5 [削除]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

6 [はい]にタッチします。



- 削除した登録地点を元に戻す方法はありません。まちがいのないように、慎重に操作してください。
- 4 で複数の地点を選択することができます。
- 4 で、[全て選択]にタッチすると、すべての登録地点が選択されます。また、[全て解除]にタッチすると、登録地点の選択が解除されます。



情報表示

VICS情報とは

VICS (Vehicle Information and Communication System) は、財団法人日本道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両に交通情報を提供するシステムです。

VICS情報を受信すると、現在地の地図画面上にVICS情報が自動的に表示されます。

道路交通情報などの VICS情報の表示、受信FM局の選局などの設定は VICSメニュー画面から行います。

VICS情報の内容と種類

渋滞情報、事故情報、臨時交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。提供される VICS情報は次の3つのレベル(種類)があります。

■ レベル1 (文字型情報)

情報が文字で表示されます。

■ レベル2 (簡易図形型情報)

道路地図の模式図で情報が表示されます。

■ レベル3 (地図表示型情報)

ナビゲーション画面の地図上に情報が表示されます。

VICS情報の提供方法

VICS情報は、FM多重放送 (NHK-FM)、電波ビーコン、光ビーコンの3とおりの方



- 電波/光ビーコンで送られる VICS情報(ビーコン VICS情報)を受信するためには、光・電波ビーコン VICSユニットVF-M99 (別売品)が必要です。

VICS情報利用上のご注意

以下の点に注意して利用してください。

■ FM多重放送

- ・ 各FM放送局のサービスエリア内で受信できます。
- ・ サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所(雑音、マルチパスなどによる)では、受信困難になることがあります。
- ・ 情報は一定周期で更新されています。更新中は、情報が蓄積されるまでに時間がかかります(情報によっては最大5分周期でデータを更新する場合があります)。
- ・ 放送時間外は利用できません。

■ 電波ビーコン

- ・ 主に高速道路に設置されています。
- ・ 高速道路の高架下の一般道を走行中に、電波ビーコンを受信してしまうことがあります。
- ・ 通信エリア外や外来雑音、大型車並走等で走行環境が良くないとき、ビーコンアンテナ付近に電波を遮断するものがあるとき、法定速度以上で走行しているときは受信が困難になります。
- ・ 低速で走行中は、反対車線のビーコンを受信してしまうことがあります。

■ 光ビーコン

- ・ 主に一般道に設置されています。
- ・ 通信エリア外、雨や雪の影響がある場合、大型車両の併走などでビーコン発信器の光が遮られた場合、ビーコンアンテナ付近に光ビーコンをさえぎる物がある場合、アンテナ受光面が汚れている場合、直射日光がアンテナ受光面に当たっている場合などは受信困難になることがあります。



自動的に表示されるVICS情報

VICS情報を受信すると、地図画面に表示されます。

地図表示型(レベル3)情報の表示

FM VICS情報(標準)またはビーコンVICS情報(別売)で受信した地図表示型(レベル3)情報は、自動的に地図上に表にされます。

ビーコンVICS情報を受信するためには、光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99(別売品)が必要です。



- ① 駐車場情報
赤色：満車
橙色：混雑
青色：空車
黒色：不明
- ② 渋滞情報
赤色：渋滞
橙色：混雑

規制情報と駐車場情報で使用する主要なマークは次のとおりです。

事故	通行止め	大型通行止め	路上障害	チェーン規制	故障車	入口閉鎖	入口制限	イベント	出口制限	火災
凍結	車線規制	車線規制：右側	進入禁止	片側交互通行	駐車場閉鎖	駐車場混雑	駐車場空き	駐車場満車	駐車場不明	SA/PA閉鎖
SA/PA混雑	SA/PA空き	SA/PA満車	SA/PA不明	その他の規制	工事	徐行	速度規制	対面通行	作業	
背景橙色	背景青色	背景赤色	背景黒色							



- VICSのマークは変更・追加される場合があります。詳しくは、財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ(<http://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。
- 電波の受信状態が良くないときには、FM多重放送によるVICS情報を受信/表示できない場合があります。
- 表示するVICS情報を設定できます(※P78)。
- 地図表示型(レベル3)情報を表示できる地図の縮尺は10m～1kmです(一般道では10m～500mです。また、駐車場情報は10m～200mで表示します)。
- 車両のアンテナが格納されている場合、FM VICSが受信できなくなったり、感度が悪くなる場合があります。



情報表示

地図上のVICS情報を見るときは

地図画面に表示されたVICSの規制/障害情報マークから情報を見ます。

1 規制/障害マークにタッチします。

地点情報表示に規制情報が表示されます。



複数のマークが重なっている場合は、マークにタッチすると表示する情報を切り替えることができます。

2 さらに詳しく見るときは、[地点情報]にタッチします。

3 [詳細]にタッチします。



簡易図形型(レベル2) / 文字型(レベル1) 情報の割り込み表示

ビーコンVICS (別売) で受信した簡易図形型(レベル2)/文字型(レベル1) 情報は、地図画面に割り込み表示されます。

ビーコンVICS情報を受信するためには、光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99 (別売品) が必要です。



- ① **閉じる**
VICS情報表示を閉じて、元の地図の画面に戻ります。
- ② **▼ ▲**
表示ページを切り替えます。
- ③ **文字**
文字型(レベル1) 情報の表示に切り替えます。
- ④ **図形**
簡易図形型(レベル2) 情報の表示に切り替えます。



- 文字型情報または簡易図形型情報は、地図の画面以外（たとえばメニュー画面やAVソースの画面など）が表示されているときには割り込み表示されません。
- FM多重放送によるVICS情報は、緊急情報のみが割り込み表示されます。通常の文字情報および簡易図形情報は、表示してご覧ください（※ **P76**）。
- 緊急情報を受信すると、文字情報または簡易図形情報の表示方法の設定（※ **P78**）にかかわらず、割り込み表示されます。
- 文字型情報または簡易図形型情報の割り込み表示時間を設定できます（※ **P78**）。
- 文字型情報または簡易図形型情報を割り込み表示しないように設定することもできます（※ **P78**）。



VICS情報を表示する

FM VICSで受信したVICS情報（文字型情報/簡易図形型情報）を表示します。

また、割り込み表示の終了したビーコンVICSのVICS情報（文字型情報/簡易図形情報）を表示することもできます。

情報・設定メニューを表示します。

メニュー



1 [VICS情報]にタッチします。



2 表示するVICS情報を選んでタッチします。

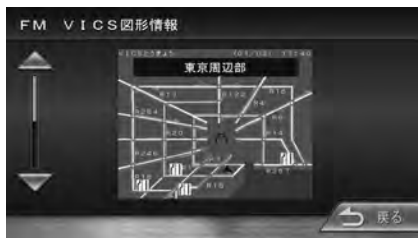


- FM VICS情報を表示 ➡ 76ページ
- ビーコンVICS情報を表示 ➡ 77ページ

FM VICS図形情報/文字情報の表示

見たい情報の番号のボタン（1 ~ 5）にタッチすると、情報が表示されます。

【図形情報】



【文字情報】



- ビーコンVICS情報を受信するためには、光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99（別売品）が必要です。



ビーコンVICS図形情報/文字情報の表示

【図形情報】



【文字情報】



FM VICS局の選局方法を切り替える

FM VICS局の選局方法（自動選局/手動選局）を切り替えます。また、手動選局時の受信周波数を設定します。

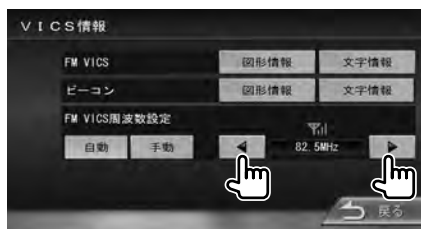
VICS情報画面を表示します。



1 [自動]または[手動]にタッチします。



2 手動選局時は、◀ または ▶ にタッチして受信周波数を設定します。



- 自動選局に設定すると、現在地の都道府県に合わせて、FM VICS局が自動的に選局されます。
- 手動選局に設定すると受信周波数は変化しませんが、移動してその周波数の電波を受信できなくなると、VICS情報は受信できません。



- 広域で移動する場合は「自動」の方が便利です。手動選局に設定していると、設定した周波数以外では VICS 情報を受信できなくなります。
- 手動選局は、県境付近を走行中で FM VICS 局を自動変更されたくない場合などに便利です。



VICS情報の表示方法を設定する

VICS情報の表示方法を設定します。

ナビ設定(地図)メニューを表示します。



1 [VICS]にタッチします。



2 各項目を設定します。



設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
渋滞情報の表示 ：一般道	する*	一般道路の渋滞情報(レベル3)を地図上に表示します。
	しない	表示しません。
渋滞情報の表示 ：高速道	する*	高速道路の渋滞情報(レベル3)を地図上に表示します。
	しない	表示しません。
規制情報の表示	する*	交通規制情報(レベル3)を地図上に表示します。
	しない	表示しません。
駐車場情報の表示	する*	駐車場情報(レベル3)を地図上に表示します。
	しない	表示しません。
図形情報の 割り込み表示	する*	ビーコンVICSで受信した簡易図形型(レベル2)情報を割り込み表示します。
	しない	割り込み表示しません。
文字情報の 割り込み表示	する*	ビーコンVICSで受信した文字型(レベル1)情報を割り込み表示します。
	しない	割り込み表示しません。
割り込み表示の 時間	5秒	ビーコンVICSで受信した情報の割り込み表示の時間を設定します。
	10秒	
	15秒*	

*お買い上げ時の設定



- 「図形情報の割り込み表示」、「文字情報の割り込み表示」、および「割り込み表示の時間」は、光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99(別売品)が接続されているときに設定できます。



ETC情報を確認する

ETCの登録情報を確認できます。

情報・設定メニューを表示します。

メニュー



情報・設定

1 [ETC情報]にタッチします。



車載器の情報を見るときは[ETC車載器情報]にタッチします。



- ETCの利用履歴は、100件まで表示されます。
- 本機でETC情報を確認できるのは、株式会社デンソー製ETC車載器DIU-5310がETC/ステアリングリモコン対応ケーブルKNA-300EX（別売品）で接続されている場合のみです。
- 履歴情報は、ETCカードの挿入時のみ表示されます。



接続状態を確認する

本機の各種のケーブルの接続状態を表示します。

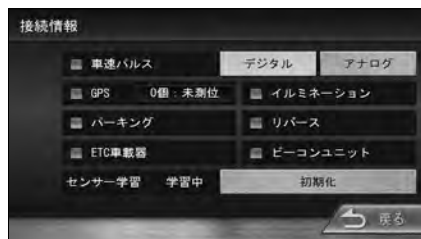
情報・設定メニューを表示します。

メニュー



情報・設定

1 [接続情報]にタッチします。



接続情報が表示されます。

表示または設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
車速パルス	デジタル*	車速パルスの設定をデジタルに切り替えます。
	アナログ	車速パルスの設定をアナログに切り替えます。
GPS		GPSアンテナの接続状態を表示します。正しく接続されていると、インジケータが点灯します。
イルミネーション		イルミネーションコードの接続状態を表示します。コードが正しく接続されていると、車両のライトスイッチをオンにしたときにインジケータが点灯します。
パーキング		パーキング検出コードの接続状態を表示します。コードが正しく接続されていると、車両のパーキングブレーキをかけたときにインジケータが点灯します。
リバース		リバース検出コードの接続状態を表示します。コードが正しく接続されていると、車両のギアをリバースに切り替えたときにインジケータが点灯します。
ETC車載器		ETC車載器の接続状態を表示します。対応ETC車載器が正しく接続されていると、インジケータが点灯します。
ビーコンユニット		光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99 (別売品)の接続状態を表示します。正しく接続されていると、インジケータが点灯します。
センサー学習		学習をリセットします。

* お買い上げ時の設定



- 「センサー学習」の[初期化]にタッチすると、確認のメッセージが表示されます。[はい]にタッチすると、センサーの学習をリセットできます。通常は使用する必要はありませんが、タイヤを交換したときなどに使用してください。
なお、センサーの学習をリセットすると、センサーの学習が完了するまでの間、自車位置がずれる場合があります。
- 「学習中」と表示されているときは、センサー学習中です。学習が終了すると、この表示は消えます。
- 対応ETC車載器が接続されている状態とは、株式会社デンソー製ETC車載器DIU-5310がETC/ステアリングリモコン対応ケーブルKNA-300EX (別売品)で接続されている状態です。



データやソフトウェアのバージョンを確認する

地図などのデータやソフトウェアのバージョンを表示します。

情報・設定メニューを表示します。

メニュー



情報・設定

1 [バージョン情報]にタッチします。



バージョン情報が表示されます。



「KENWOOD MapFan Club」について

「KENWOOD MapFan Club」とはインクリメントP株式会社が提供するサービス「MapFan」と連動した新しい会員制地図更新プログラムです。

携帯電話またはパソコンで「MapFan」への会員登録を行い、会員であり続ける限り、本機の地図をお得に更新することができます。

詳細は同梱の最新地図更新サービスプログラム「KENWOOD MapFan Club」のご案内をお読みください。また、パソコンから<http://www.kenwood.co.jp>へアクセスしても詳細をご覧になれます。

地図更新を行う場合、本機で地図専用SDカードを作る必要があります。

使用するSDカードに大切なデータがある場合は、あらかじめパソコンなどへのバックアップを行ってください。地図更新以外ではご使用にならないでください。

地図更新専用SDカードは次の手順で作成します。

ナビ設定(地図)メニューを表示します。



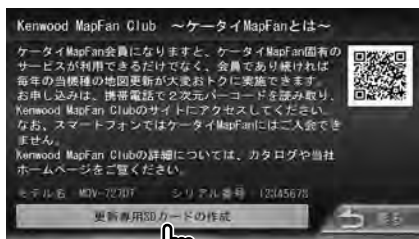
1 「その他」にタッチします。



2 「地図更新プログラム」の「Kenwood MapFan Clubについて」にタッチします。



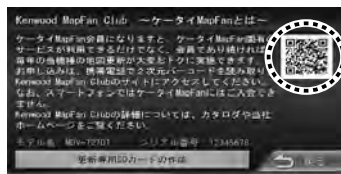
3 「更新専用SDカードの作成」にタッチします。



SDカードのフォーマットが開始され、更新専用SDカードが作成されます。



- 3 の画面で携帯電話2次元バーコードを読み取って接続すると、携帯電話専用「KENWOOD MapFan Club」のサイトに接続され、会員登録が行えます。



プログラムの詳細内容、携帯電話の対応機種など十分にご確認の上、登録を行ってください。

なお、携帯電話からの接続料金はおお客様のご負担となりますのでご了承ください。

- 更新時に必要なSDカードは、8GB以上の容量のものを用意してください。また地図データをSDカードにダウンロードするには、一定のパソコンのダウンロード環境が必要です。詳しくはパソコンから<http://www.kenwood.co.jp>をご確認ください。



ソース切り替え

ソース切り替え画面を表示する

SRC を押すと、ソース切り替え画面が表示されます。



- ① ラジオ放送を受信します (※ **P85**)。



- ② 地上デジタルTV放送を受信します (※ **P88**)。



- ③ 音楽CD (※ **P106**)、DVD (※ **P102**)、またはCD-Rなどに保存されているオーディオファイル (※ **P108**) を再生します。



- ④ 外部ソースに切り替えます (※ **P124**)。



- ⑤ SDカードに保存されているオーディオ/ビデオファイルを再生します (※ **P116**)。



- ⑥ (USB機器が接続されている場合)
USB端子に接続されているUSB機器に保存されているオーディオ/ビデオファイルを再生します (※ **P116**)。



- (iPodが接続されている場合)
接続されているiPodを再生します (※ **P120**)。



- ⑦ 内蔵メモリに録音した曲を再生します (※ **P114**)。



- ⑧ (MDV-727DTのみ)
Bluetoothで接続されているBluetooth対応オーディオプレーヤーを再生します (※ **P159**)。



- ⑨ AV機能をスタンバイ状態にします。スタンバイ状態では、音声も映像もオフになります。

SRC を押してソース切替画面でソースを選択すると、スタンバイは解除されます。



- **SRC** を押し続けても、スタンバイ (ソースオフ) にできません。

- **現在地** を押し続けると、ソースの映像や地図などの画面表示をオフにできます (画面オフ)。もう一度 **現在地** を押すか画面にタッチすると、画面が表示されます。



ラジオを聴く・操作する

ラジオ放送 (FM/AM、交通情報) を受信します。



【TUNER受信画面】



- ① プリセットモード
- ② ステレオ受信表示 (FMのみ)
- ③ 電波の強さ
- ④ 受信中の放送局
- ⑤ プリセットボタン

【簡易AV表示】



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。



- 簡易AV表示の表示方法については25ページをご覧ください。

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
プリセット ボタン	プリセットされている放送局を受信します。
AM FM	受信するバンドを選択します。
交通情報	交通情報の画面に切り替わり、交通情報を受信します (※ P87)。
< >	放送局を選択します。 タッチするたびに、1ステップずつ周波数を変えて選局します (マニュアル選局)。 タッチし続けると、タッチしている間、周波数が連続して変わります。
⏮ ⏭ (スキップ/ サーチボタン)	プリセット局を番号順に受信します。 「サーチ中・・・」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します (オート選局)。 もう一度タッチすると、オート選局を中止します。
プリセット 切替	プリセットモード (エリア/ユーザー) を切り替えます。 エリアモードでは、登録データに基づいて、現在地周辺の放送局が8局まで表示されます。 ユーザーモードでは、ユーザーがプリセットした放送局が表示されます。
リスト	エリアモード時に、登録データから取得した放送局をリストで表示します (※ P87)。



- エリアモード時のプリセットボタンには、そのエリアで受信可能な放送局 (コミュニティFM局を除く) が周波数の低い順に最大8局までが表示されます。



放送局をプリセットする

プリセットボタンに放送局を登録(プリセット)します。

1 プリセットする放送局を受信します。



2 [プリセット切替]にタッチして、ユーザープリセットモードに切り替えます。



すでにユーザープリセットモードの場合は不要です。

3 登録先のプリセットボタンに約2秒以上タッチし続けます。



- プリセットした放送局は、ユーザープリセットモードでプリセットボタンにタッチすると選局できます。



リストから放送局を選局する

エリアプリセットモードのプリセットリストから受信する放送局を選択します。

1 [リスト]にタッチします。



2 受信する放送局を選んでタッチします。



- リストに表示されるアイコンは次のとおりです。

1 ~ 8 : プリセットボタンにプリセットされている放送局

: コミュニティFM局

交通情報を受信する

交通情報を受信します。

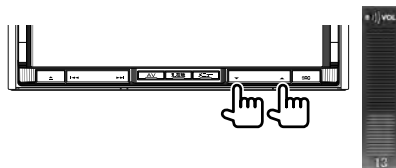
交通情報は1,620kHzまたは1,629kHzで放送されますが、受信状態の良いほうが自動的に選択されます。

1 [交通情報]にタッチします。



- 周波数のボタンにタッチすると、受信する周波数を手で切り替えることもできます。

- 交通情報を聴いてるときに行った音量調整は、交通情報にのみ有効です。他のソースの音量は変化しません。





地デジをセットアップする

miniB-CASカードがセットされていることを確認してください。

本機の取り付け後に初めて地デジを選択すると、地デジのセットアップが始まります。

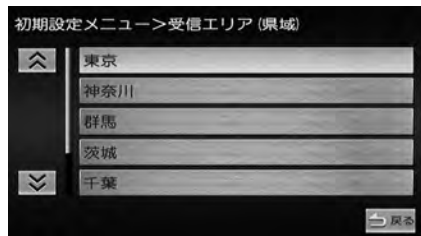
地デジを視聴するためには、本セットアップを正常に完了する必要があります。



1 受信地域を選んでタッチします。

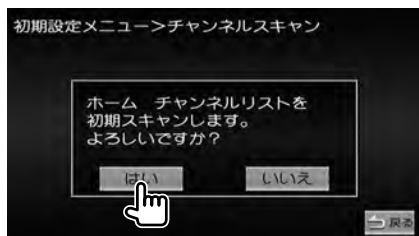


受信エリア(都道府県)を選んでタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

2 [はい]にタッチします。

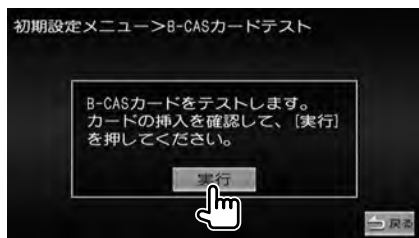


チャンネルスキャンが始まります。
チャンネルスキャンが終了すると、受信できるチャンネルのリストが表示されます。

3 チャンネルリストを確認し、[決定]にタッチします。



4 [実行]にタッチします。

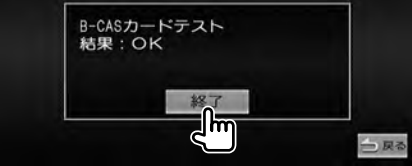


miniB-CASカードのテストが始まります。
テストが終了すると、結果が表示されます。



5 [終了]にタッチします。

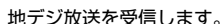
初期設定メニュー>B-CASカードテスト



- 2 で[いいえ]を選択すると、チャンネルスキャンは行われません(4の画面が表示されます)。地デジを視聴する前に、チャンネルスキャンを行ってください(※ P98)。
- 本セットアップが正常に終了していない場合は、次回の地デジ選択時に再び 1 の画面が表示されます。
- 本セットアップでは、ホームバンドのチャンネルを設定します。
お出かけバンドのスキャンは、地デジの設定メニューからチャンネルスキャンを行ってください(※ P98)。
- 建物の陰や地下など、電波の届きにくい場所では、スキャンで登録されない場合があります。
その場合は、電波を受信できる見通しのよい場所へ移動し、再度チャンネルスキャンを行ってください(※ P98)。



地上デジタルテレビ放送を受信します。



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。



● 簡易AV表示の表示方法については25ページをご覧ください。

テレビ画面の中央部にタッチすると、地デジ操作ボタンが表示されます。

TBS NEWS 東京TWS ホーム

11/21(月) 18:00-17:00 HD ST 11 To 16

放送中 音声:(主) 自動切替 現在時刻 11/21(月) 16:17

消す

1 2 3 4 5 6

サービス 7 8 9 10 11 12

次へ 15seg 12Seg 自動 プリセット切替

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

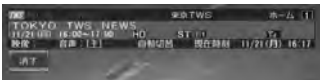
ボタン	説明
	地デジ操作ボタンを消します。
	受信中のチャンネルに複数のサービスの提供されているときに、サービスを切り替えます。
	地デジ操作ボタン2を表示します。 受信モードを切り替えます。
	[1Seg] ワンセグ固定モードに切り替えます。
	[12Seg] 12セグ固定モードに切り替えます。
	[自動] 自動受信モードに切り替えます。
 (スキップ/ サーチボタン)	前または次のプリセット局を選局します。 タッチし続けると、受信可能な放送局を受信します。
	受信バンド（ホーム/お出かけ/エリア）を切り替えます。
プリセット ボタン	プリセットされている放送局に切り替えます（  P93 ）。



【地デジ操作ボタン2】



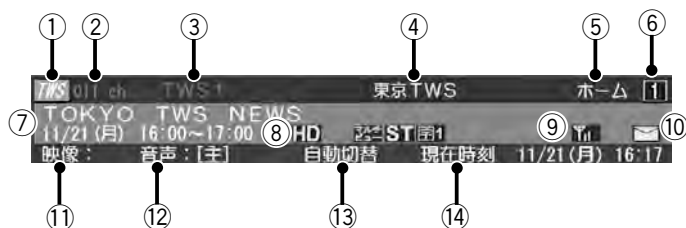
表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	地デジの映像の画質を調整します (P126)。
	地デジ操作ボタン1を表示します。
	視聴番組に複数の映像/マルチビューがあるときに、映像/マルチビューを切り替えます。
	視聴番組に複数の音声/二重音声があるときに、音声を切り替えます。 なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。 なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。
	バーナー表示をオン/オフします。  バーナーに表示される内容については92ページをご覧ください。
	チャンネルリストから放送局を選びます。
	地デジ設定メニューを表示します (P100)。
	番組表を表示します (P94)。
	視聴中の番組の詳細情報を表示します (P94)。



バナー表示について

バナーに表示される情報について説明します。



① サービスのロゴ

② チャンネル番号

③ サービス名

④ 放送事業者名

⑤ バンド名

⑥ プリセット番号

⑦ 番組名／放送時間

⑧ 放送内容アイコン

視聴中の番組内容によりアイコンが表示されます。

放送種別

HD：ハイビジョン放送

SD：標準放送(SDTV)

セグ：ワンセグ

マルチビューあり：**マルチビュー**

音声Ch

ST：ステレオ放送

5.1ch：サラウンドステレオ放送

表示字幕

字幕：字幕表示オフ

字1：字幕表示オン(第一言語)

字2：字幕表示オン(第二言語)

⑨ 電波の強さ

⑩ メールアイコン

未読のお知らせメッセージがあるときに表示されます。

⑪ 映像の種類

複数の映像があるときに、視聴している映像種類が表示されます。

⑫ 音声の種類

複数の音声/二重音声があるときに、出力している音声の種類が表示されます。

⑬ 受信モード

⑭ 現在の時刻



● 本機は5.1chサラウンドには対応しておりません。音声は2chで出力されます。



地デジを選局する

各種の方法で、地デジを選局します。



プリセットボタンで選局する

【地デジ操作ボタン1】



受信する放送局が割り当てられているプリセットボタン(1～12)にタッチします。

プリセットされていない放送局を選局する

【地デジ操作ボタン1】



「サーチ中」と表示されるまで、タッチし続けると、受信可能な放送局を選局します。

受信モードを切り替えるときは

受信モードを切り替えると、受信レベルが低くなったときの動作を切り替えることができます。

[自動]: 状況に応じて、12セグとワンセグを自動的に切り替えて受信します。

[12Seg]: 常に12セグを受信します。

[1Seg]: 常にワンセグを受信します。



- 放送によっては、12セグとワンセグの切り替え時に音量が変わったり、映像/音声のつながりが途切れる場合があります。
- 放送局によっては、12セグとワンセグで番組が異なる場合があります。

サービスを切り替えるときは

受信中のチャンネルに複数のサービスがある場合、サービスを切り替えることができます。

▶ 地デジ操作ボタン1を表示します。

1 [サービス]にタッチします。

タッチするたびに、サービスが切り替わります。



番組表を見る・操作する

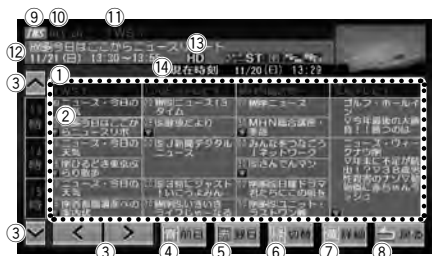
最大1週間分の番組表 (EPG) を表示します。

▶ 地デジ操作ボタン2を表示して、**番組表** にタッチします。

【地デジ操作ボタン2】



【地デジ番組表 (4チャンネル表示)】



【地デジ番組表 (1チャンネル表示)】



① 番組表

番組表が表示されます。

番組にタッチすると、放送時間内であれば、その番組を受信します。放送時間前であれば、番組詳細情報が表示されます。

左下に**▼**が表示されている番組にフォーカスを移動すると、そこに隠れている番組が表示されます。

② フォーカス

番組の選択を示します。

③ ▲、▼、◀、▶

番組表をスクロールします (フォーカスを移動します)。

④ 前日

前日の番組表に切り替えます。

⑤ 翌日

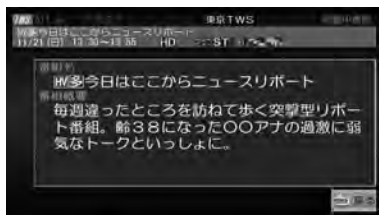
翌日の番組表に切り替えます。

⑥ 図解

番組表の1チャンネル表示/4チャンネル表示を切り替えます。

⑦ 詳細

フォーカスのある番組の詳細情報を表示します。



⑧ 戻る

直前の画面に戻ります。

⑨ サービスのロゴ

⑩ チャンネル番号

⑪ サービス名

⑫ 番組名/放送時間



⑬ 放送内容アイコン

視聴中の番組内容によりアイコンが表示されます。

放送種別

HD：ハイビジョン放送

SD：標準放送(SDTV)

ワンセグ：ワンセグ

マルチビューあり：

音声Ch

ST：ステレオ放送

5.1ch：サラウンドステレオ放送

字幕あり：

マルチ編成あり：

複数音声あり：

⑭ 現在の時刻



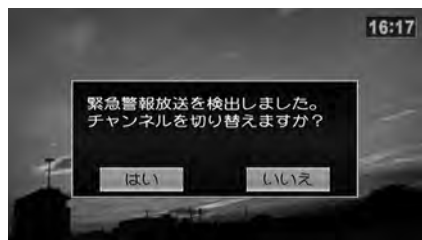
- ワンセグサービスでは、最大10番組まで表示されます。
- 受信していないサービスの箇所は空欄になります。受信すると表示されます。
- サービスの選局直後は、番組表から選局できない場合があります。
- 番組表のデータを取得するには、取得したいチャンネルを受信してください。
ただし、本機の電源をオフにすると取得したデータは消去されますので、電源をオンにしたときに受信しなおしてください。



緊急警報放送を受信する

緊急警報放送を受信すると、自動的に緊急警報放送に切り替わります。

「緊急警報放送」を“ユーザー通知”に設定している場合(※ P100)は、受信時にメッセージが表示されます。



[[はい]]にタッチすると、緊急警報放送に切り替わります。

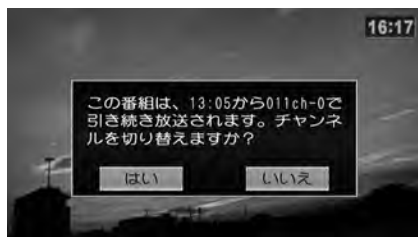


- 緊急警報放送は、AVソースが地デジのときのみに表示されます。
- 地図の画面を表示しているときは、画面は切り替わりません。

イベントリレー

番組が予定時刻に終わらない場合、他のサービスで番組の続きが放送される場合があります。このような場合、続きのサービスに自動的に選局されます(イベントリレー)。

「イベントリレー」を“ユーザー通知”に設定している場合(※ P100)は、受信時にメッセージが表示されます。



[[はい]]にタッチすると、続きが放送されるサービスに切り替わります。

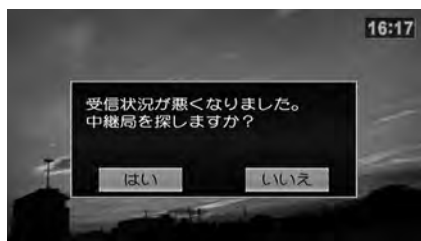


中継局サーチ

受信レベルが低下して番組を視聴できなくなったとき、自動的に受信可能な中継局/系列局を探して切り替えることができます(中継局サーチ)。

「中継局/系列局サーチ」を「自動切替(中継局)」または「ユーザー通知(中継局)」に設定している場合(※ P100)は、中継局のみがサーチされます。

「ユーザー通知(中継局)」または「ユーザー通知(中継局+系列局)」に設定している場合(※ P100)は、受信レベル低下時にメッセージが表示されます。



[[はい]]にタッチすると、受信可能な中継局または中継局/系列局がサーチされます



- プリセットボタンまたはチャンネルリストで選局したときに受信レベルが低かった場合は、「中継局サーチ」を「切替しない」に設定していても、中継局がサーチされます。
- 系列局に切り替わった場合、元のサービスと番組が異なる場合があります。
- 受信条件によっては、サーチに数分以上の時間がかかる場合があります。
- 系列局のない放送局の場合は、中継局のみがサーチされます。

バンドを切り替える

本機には、ホーム、お出かけ、エリアの3つのバンドがあります。

ホームとお出かけは、それぞれに別のプリセットが登録できます。自宅周辺ではホームバンド、ドライブ先ではお出かけバンドと使い分けると便利です。

また、エリアバンドでは、プリセットは自車の移動先の地域のものに自動的に切り替わります。移動中に放送局を手早く選択するとき便利です。



地デジ操作ボタン1を表示します。

1 [プリセット切替]にタッチします。



タッチするたびに、ホーム→お出かけ→エリア→ホームの順に切り替わります。



- ホームバンドには、初期セットアップで設定したプリセットが登録されています。
- ホームバンドのプリセットを登録しなおす場合やお出かけのプリセットを登録する場合は、チャンネルスキャンを実行してください。



プリセットを登録する

チャンネルスキャンして、現在のバンド（ホームまたはお出かけ）のプリセットを登録します。

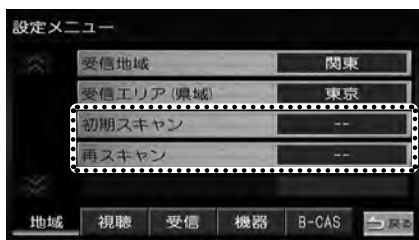
チャンネルスキャンを開始する前に、設定する受信地域/受信エリアを設定してください（※ **P100**）。また、プリセットを登録するバンドに切り替えておいてください。

▶ 地デジ操作ボタン2を表示します。

1 [設定]にタッチします。



2 [初期スキャン]または[再スキャン]にタッチします。



[初期スキャン]：

現在受信できるサービスを検索し、プリセットに登録します。初期スキャン前に登録されていた内容は削除されます。

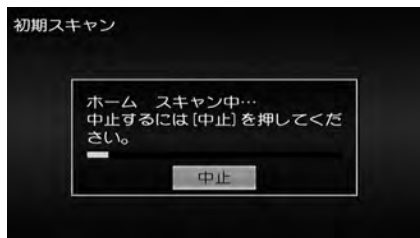
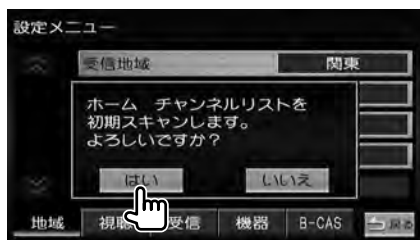
[再スキャン]：

現在登録されているサービスのほかに新たに受信できるサービスを検索し、プリセットに登録します。再スキャン前に登録されていた内容は残ります。

確認のメッセージが表示されます。

3 [はい]にタッチします。

チャンネルスキャンが開始されます。



- エリアバンドでは、チャンネルスキャンはできません。
- チャンネルスキャン中に[中止]にタッチすると、チャンネルスキャンは中止されます。



プリセットボタンへの割り当てを 変える

プリセットボタンへのチャンネルの割り当てを変更します。

- ▶ 地デジ操作ボタン2を表示します。

1 [リスト]にタッチします。



2 [編集]にタッチします。



3 変更するプリセット番号を選んで タッチします。



4 < または > にタッチして、割り当 てるチャンネルを選択します。



5 [戻る]にタッチします。

1 の画面に戻ります。



- 4 で、[削除]にタッチすると、プリセット番号へのチャンネルの割り当てを削除できます。
- エリアバンドでは、プリセットへの割り当ては変更できません。



地デジの設定を変える

地デジの各種の設定を変更します。

- ▶ 地デジ操作ボタン2を表示します。

1 [設定]にタッチします。



2 各項目を設定します。



設定できる項目は次のとおりです。

地域

項目	説明
受信地域	受信する地域を設定します。
受信エリア (県域)	受信する都道府県を設定します。「受信地域設定」で設定された地域の都道府県を選択できます。
初期スキャン	チャンネルスキャンを行います (P98)。
再スキャン	再スキャンを行います (P98)。

視聴

項目	説明
二重音声	出力する二重音声 (主音声*/副音声/主音声+副音声) を切り替えます。
マルチビュー	視聴番組にマルチビューがあるときに、マルチビューを切り替えます。
映像	視聴番組に複数の映像があるときに、映像を切り替えます。
音声	視聴番組に複数の音声があるときに、音声を切り替えます。
字幕言語	表示する字幕 (第一言語/第二言語/表示しない*) を切り替えます。なお、番組によっては、切り替えても字幕がない場合があります。
文字スーパー	表示する文字スーパー (第一言語*/第二言語/表示しない) を切り替えます。

* お買い上げ時の設定

受信

項目	説明
受信モード	受信モード (自動切替*/12Seg固定/1Seg固定) を設定します。
緊急警報放送	緊急警報放送を受信したときの切り替え方法 (自動切替*/ユーザー通知/切替しない) を設定します。
イベントリレー	イベントリレーがあったときの切り替え方法 (自動切替*/ユーザー通知/切替しない) を設定します。
中継局/系列局サーチ	中継局サーチ時の切り替え方法 (自動切替 (中継局)/自動切替 (中継局+系列局)*/ユーザー通知 (中継局)/ユーザー通知 (中継局+系列局)/切替しない) を設定します。

* お買い上げ時の設定



機器

項目	説明
お知らせメッセージ	放送局からのお知らせメッセージ(メール)を表示します。
ユーザー情報削除	地デジに関するユーザー情報を消去し、各種の設定をお買い上げ時の状態に戻します。 表示された確認メッセージで[はい]にタッチすると、ユーザー情報が削除されます。
アップデート	地デジのソフトウェアをアップデートします。
バージョン情報	現在の地デジのソフトウェアのバージョンを表示します。

B-CAS

項目	説明
B-CASカードID	miniB-CASカードの情報を表示します。
B-CASカードテスト	miniB-CASカードをテストします。 miniB-CASカードを取り付け、表示されたメッセージで[実行]にタッチすると、カードテストが開始されます。テストが完了すると結果が表示されます。



DVD

DVDビデオやDVD-VRを再生する

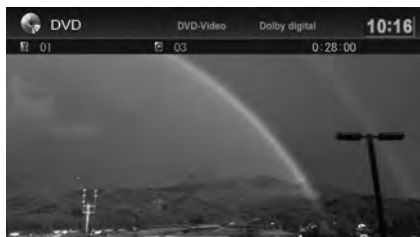
DVDを再生します。

DVDの出し入れについては18ページをご覧ください。

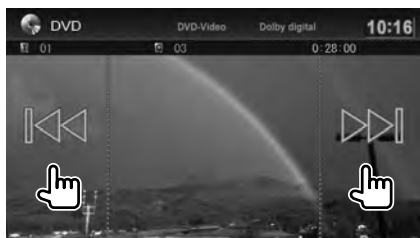
DVD再生画面を表示します。



【DVD再生画面】



【DVD再生画面(スキップ/サーチ)】



【簡易AV表示】



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。



●簡易AV表示の表示方法については25ページをご覧ください。

本編の再生中に、画面の中央部にタッチすると、DVD操作ボタンが表示されます。

【DVD操作ボタン】



- ① タイトル番号
- ② チャプター番号
- ③ 再生時間

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	DVD操作ボタンを消します。
	画質を調整します (※ P126)。
	カーソルを表示します (※ P104)。
	再生を停止します。
	前または次のチャプターを再生します (スキップ)。 タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。スピードが2倍から10倍に変わります。
	再生または一時停止 (ポーズ) します。
	ディスクメニューを表示します (※ P104)。
	ディスクのトップメニューを表示します (※ P104)。
	音声の言語を切り替えます。
	字幕の言語を切り替えます。
	アングルを切り替えます。
	タイトルリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のタイトルが繰り返し再生されます。
	チャプターリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のチャプターが繰り返し再生されます。



DVD-VRの再生中に画面の中央部にタッチすると、DVD-VR操作ボタンが表示されます。

【DVD-VR操作ボタン】



①プログラム番号

②チャプター番号

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	DVD-VR操作ボタンを消します。
	画質を調整します。
	再生を停止します。
	前または次のファイルを再生します (スキップ)。 (スキップ/サーチボタン)
	再生または一時停止 (ポーズ) します。
	プレイリストを表示します。
	プログラムリストを表示します。
	音声の言語を切り替えます。
	字幕の言語を切り替えます。
	プログラムリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のプログラムが繰り返し再生されます。
	チャプターリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のチャプターが繰り返し再生されます。



- タイトルリピートプレイ、プログラムリピートプレイ、チャプターリピートプレイがオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。



DVD

ディスクメニューを操作する

DVDビデオのディスクに収録されたメニュー（ディスクメニュー）を操作します。

ダイレクトに操作するときは

ディスクメニューの項目にタッチして操作できます。



カーソルで操作するときは

本機が表示するボタンで操作することもできます。

- 1 ディスクメニューの表示中に画面にタッチします。

- 2 [表示]にタッチします。



- 3 <^>にタッチします。



- 4 各ボタンにタッチして操作します。



表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
消す	操作ボタンを消します。
カーソル	カーソルを移動します。
リターン	ディスクメニューの1階層上の項目を表示します。
決定	項目の選択を決定します。
戻る	DVD操作ボタンの画面に戻ります。



- 表示されるディスクメニューは再生しているDVDに固有のもので、操作できる内容はDVDによって異なります。



DVDセットアップメニューを表示する

DVDに関する各種の設定を行います。

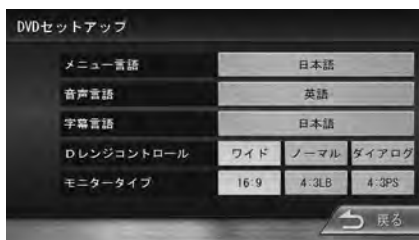
システム設定メニューを表示します。



1 「DVDセットアップ」の[設定]にタッチします。



2 各項目を設定します。



設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
メニュー言語	—	ディスクメニューの優先言語を設定します。
音声言語	—	音声の優先言語を設定します。
字幕言語	—	字幕の優先言語を設定します。
Dレンジ コントロール	ワイド	DVDの音声のダイナミックレンジを設定します。ダイナミックレンジはワイド>ノーマル>ダイアログの順に狭くなりますが、映画のセリフ等は明確に聞き取れるようになります。
	ノーマル	
	ダイアログ*	
モニター タイプ	16:9*	ワイド版の映像を表示します。通常はこの設定でお使いください。 
	4:3LB	ワイド版の映像をレターボックス(LB)方式で表示します。このモードでは、画面の上下に黒い帯が出ます。 
	4:3PS	ワイド版の映像をパン&スキャン(PS)方式で表示します。このモードでは、画面の左右に黒い帯が出ます。 

* お買い上げ時の設定



- ここで設定した言語をDVDの再生時に変更することもできます (P102)。
- 設定した優先言語が再生するDVDに収録されていない場合は、DVDに収録されている言語になります。
- ディスクによっては、設定した優先言語やモニタータイプが変わらない場合があります。
- モニタータイプは、外部モニターでの表示にも設定されます。



CD

音楽CDを再生する

音楽CDを再生します。
音楽CDの出し入れについては18ページをご覧ください。



【CD再生画面】



- ① トラック番号
- ② 演奏時間
- ③ アルバム名
- ④ 曲名
- ⑤ アーティスト名
- ⑥ ジャンルの画像

【簡易AV表示】



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。



- 簡易AV表示の表示方法については25ページをご覧ください。

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	前または次の曲を再生します(スキップ)。 (スキップ/サーチボタン) タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
	再生または一時停止(ポーズ)します。
	現在の音楽CDを内蔵メモリに録音します(※ P110)。
	楽曲データベースで引き当てたアルバム情報を他の候補に変更します(※ P107)。
	ランダムプレイをオン/オフします。 オンのときには、音楽CD内の全曲がランダムな順番で再生されます。
	リピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在の曲が繰り返し再生されます。
	再生リストを表示します。再生する曲をダイレクトに選択できます(※ P107)。



- 音楽CDを再生しながら、本機の内蔵メモリに録音(リッピング)することができます。詳しくは110ページをご覧ください。
- ランダムプレイ、リピートプレイがオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。
- ジャンルの画像は、ディスクによっては表示されない場合があります。



アルバム情報を選択しなおす

本機には楽曲データベースが収録されています。音楽CDを再生すると、楽曲データベースから音楽CDのアルバム情報が検索されて表示されます。表示されたアルバム情報が正しくない場合には変更することができます。

1 [アルバム名変更]にタッチします。



2 正しい楽曲情報を選んでタッチします。



楽曲情報が変更されて、1のCD再生画面に戻ります。

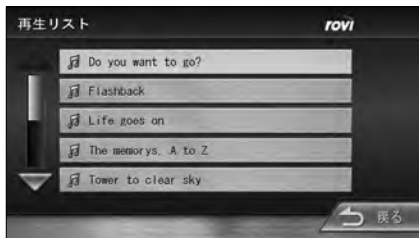
再生する曲をリストで選択する

トラックリストで再生する曲を選択します。

1 [リスト]にタッチします。



2 再生する曲を選んでタッチします。



選択した曲の再生が始まります。



- 本機の楽曲データベースを更新することもできます (P140)。
- 2のアルバム情報別候補画面では、楽曲情報はアルバム名で代表されて表示されます。このため、表示されているアルバム名が同じでも、内容が異なる場合があります。
- 2で、[該当なし]にタッチすると、引き当てたアルバム名、アーティスト名、タイトルなどの楽曲情報を破棄してCD再生画面に戻ります。このため、アルバム名およびアーティスト名は空欄、タイトル名は「トラック 01」などになります。



オーディオファイルディスク

オーディオファイルを再生する

オーディオファイルが保存されているディスクを再生します。

オーディオファイルの再生

【オーディオファイル再生画面】



- ① 音声形式
- ② フォルダ番号
- ③ ファイル番号
- ④ 演奏時間
- ⑤ アルバム名
- ⑥ 曲名
- ⑦ アーティスト名
- ⑧ アルバムアート画像

【簡易AV表示】



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
 	前または次のファイルを再生します (スキップ)。 (スキップ/サーチボタン) タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
	再生または一時停止 (ポーズ) します。
	前のフォルダの先頭のファイルから再生します。
	次のフォルダの先頭のファイルから再生します。
	フォルダランダムプレイをオン/オフします。 オンのときには、フォルダ内のファイルがランダムな順番で再生されます。
	ファイルリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在の曲が繰り返し再生されます。
	フォルダリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。
	再生リストを表示します。再生するファイルを選択できます (P109)。



- フォルダランダムプレイ、フォルダリピートプレイ、ファイルリピートプレイがオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。



- 簡易AV表示の表示方法については25ページをご覧ください。



再生するファイルを一覧で 選択する

再生するファイルを選択します。



- [1 トップ] にタッチすると最上位階層へ、[1 一つ上] にタッチすると一階層上のリストに戻れます。
- [▶] にタッチすると、フォルダの先頭のファイルから再生されます。

1 [リスト]にタッチします。



2 フォルダを選んでタッチします。



ファイルのリストが表示されるまで繰り返します。

3 再生するファイルを選んでタッチします。



選択したファイルが再生されます。



内蔵メモリへの録音

録音について

- 録音中は、ソースを切り替えることはできません。
- 録音中にナビの画面に切り替えても、録音は継続されます。
- 録音中は、画面に下のアイコンが表示されます。



- 録音中に本機の電源がオフになっても、それまでに録音が完了している曲は残っています。
- 内蔵メモリに録音されたオーディオデータは、他のメディアに書き出すことはできません。
- 本機はSCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）に対応しており、デジタル録音された複製ディスク内の曲を内蔵メモリに録音することはできません。
- 録音音質を選択することもできます（※ P111）。
- 内蔵メモリの残り録音可能時間と容量は、録音設定メニューで確認できます（※ P111）。
- 内蔵メモリがいっぱいで録音できない場合はメッセージが表示されます。不要な曲を削除して（※ P112）から、録音してください。
- 録音する音楽CDのアルバム情報がないときには、次のように名前が付けられます。
 - タイトル名：“Track” + Track番号 + 年（西暦4桁）+ 月日（4桁）+ 時刻（24時間制4桁）
 - アルバム名：“Album” + 年（西暦4桁）+ 月日（4桁）+ 時刻（24時間制4桁）
 - アーティスト名：“Artist” + 年（西暦4桁）+ 月日（4桁）+ 時刻（24時間制4桁）
 なお、タイムスタンプは、音楽CDが初めて録音されたときの開始時のものです。
- 録音中は、システム設定の「楽曲データ管理」、「録音設定」、「DVDセットアップ」は設定できません。

内蔵メモリに録音する

音楽CDを再生しながら、内蔵メモリに録音（等倍）することができます。

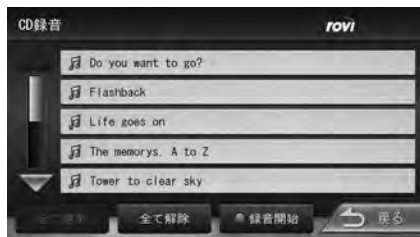
音楽CDを再生します。



1 [録音]にタッチします。



2 録音する曲を確認または選択します。



表示されるリストでは、すべての曲が選択（ハイライト表示）されています。録音しない曲にタッチすると、選択が解除されます。

3 [録音開始]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。



4 [はい]にタッチします。

録音が始まります。



[録音停止]にタッチすると、現在の曲の録音を停止します。

[録音SKIP]にタッチすると、現在の曲の録音を中止し、次の選択した曲から録音を再開します。

内蔵メモリへの録音音質を設定する

音楽CDから内蔵メモリに録音するときの録音品質を設定します。また、残りの録音可能時間や容量も確認できます。

システム設定メニューを表示します。



1 「録音設定」の[設定]にタッチします。



2 「録音音質」の[標準]または[高音質]タッチします。



- 録音音質を切り替えると、「残り録音可能時間」は新しい録音音質で表示されます。



- 2 で、[全て選択]にタッチするとすべての曲が選択されます。また、[全て解除]にタッチすると、すべての選択が解除されます。
- 2 の録音リストでは、すでに録音が完了した曲は、選択(ハイライト)は解除されています。
- すでに録音されている曲を選択すると、メッセージが表示されて上書きされます。
- 録音リストでは、録音状況は次のアイコンで表示されます。
 - (緑) : 録音済みの曲
 - (赤) : 録音中の曲
 - (エンジン) : 録音予定の曲
 - (黒) : 録音予定がない曲
 - (白) : 録音がスキップされた曲
 - (X) : エラーが発生して録音されなかった曲
- 楽曲データベースに録音する曲の楽曲情報がない場合には、楽曲データベース管理ソフトウェアKENWOOD Music Editor VX (以降、[KME-VX])で、インターネット上の楽曲データベースから最新の楽曲情報を取得することができます (※ P142)。
- また、本機の楽曲データベースを更新することもできます (※ P140)。



内蔵メモリへの録音

録音した曲を内蔵メモリから削除する

音楽CDから本機の内蔵メモリに録音した曲を削除します。

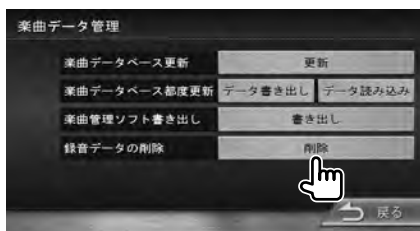
システム設定メニューを表示します。



1 「楽曲データ管理」の[設定]にタッチします。



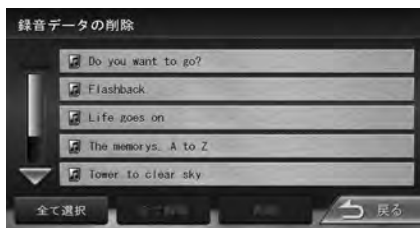
2 「録音データの削除」の[削除]にタッチします。



3 削除する曲の入っているアルバムのボタンにタッチします。



4 削除する曲を選んでタッチします。



5 [削除]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

6 [はい]にタッチします。

選択した曲が削除され、2 の画面に戻ります。



- 4 で、複数の曲を選択することもできます。
また、[全て選択]にタッチするとすべての曲が選択され、[全て解除]にタッチするとすべての選択が解除されます。





内蔵メモリ

内蔵メモリを再生する

ソース切替画面で内蔵メモリを選択すると、内蔵メモリに録音された曲を再生できます。



【内蔵メモリ再生画面】



- ① フォルダ (アルバム) 番号
- ② トラック番号
- ③ 演奏時間
- ④ アルバム名
- ⑤ 曲名
- ⑥ アーティスト名
- ⑦ ジャンルの画像

【簡易AV表示】



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。



- 簡易AV表示の表示方法については25 ページをご覧ください。

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
 (スキップ/サーチボタン)	前または次の曲を再生します (スキップ)。 タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
	再生または一時停止 (ポーズ) します。
	楽曲データベースで引き当てたアルバム情報を他の候補に変更します (例: P115)。
	前のフォルダの先頭の曲から再生します。
	次のフォルダの先頭の曲から再生します。
	フォルダランダムプレイをオン/オフします。 オンのときには、フォルダ内の全曲がランダムな順番で再生されます。
	トラックリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在の曲が繰り返し再生されます。
	フォルダリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のフォルダ内の曲が繰り返し再生されます。
	再生リストを表示します。再生する曲をダイレクトに選択できます (例: P115)。



- フォルダランダムプレイ、トラックリピートプレイ、フォルダリピートプレイがオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。
- ジャンルの画像は、情報があるときに表示されます。



アルバム情報を選択しなおす

本機には楽曲データベースが収録されています。内蔵メモリの曲を再生すると、楽曲データベースからアルバム情報が検索されて表示されます。表示されたアルバム情報が正しくない場合には変更することができます。

1 [アルバム名変更]にタッチします。



2 正しいアルバム情報を選んでタッチします。



アルバム情報が変更されて、1 の内蔵メモリ再生画面に戻ります。



- 楽曲データベースに正しい楽曲情報がない場合には、KME-VXで、インターネット上の楽曲データベースから最新の楽曲情報を取得することができます(※ P142)。また、本機の楽曲データベースを更新することもできます(※ P140)。
- 2 のタイトル候補リストでは、アルバム情報はアルバム名で代表されて表示されます。このため、表示されているアルバム名が同じでも、内容が異なる場合があります
- [該当なし]にタッチすると、引き当てたアルバム名、アーティスト名、タイトルなどのアルバム情報を破棄して内蔵メモリ再生画面に戻ります。

再生する曲をリストで選択する

再生する曲を選択することができます。

1 [リスト]にタッチします。

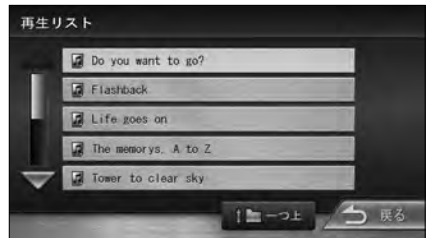


2 アルバムを選んでタッチします。



曲のリストが表示されます。

3 曲を選んでタッチします。



選択した曲の再生が始まります。



- [↑ 一つ上] にタッチするとアルバムのリストに戻れます。
- [▶] にタッチすると、フォルダの先頭の曲から再生されます。



USB/SD

ファイルを再生する

USB機器またはSDカードに保存されているオーディオファイル/ビデオファイルを再生します。

オーディオファイルの再生

【オーディオファイル再生画面】



(画面例：SDカード)

- ① ソースメディア名 (USB/SD)
- ② 音声形式
- ③ フォルダ番号
- ④ ファイル番号
- ⑤ 演奏時間
- ⑥ アルバム名
- ⑦ 曲名
- ⑧ アーティスト名
- ⑨ アルバムアート画像

【簡易AV表示】



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
 	前または次のファイルを再生します (スキップ)。 (スキップ/サーチボタン) タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
	再生または一時停止 (ポーズ) します。
	前のフォルダの先頭のファイルから再生します。
	次のフォルダの先頭のファイルから再生します。
	フォルダランダムプレイをオン/オフします。 オンのときには、フォルダ内のファイルがランダムな順序で再生されます。
	ファイルリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のファイルが繰り返し再生されます。
	フォルダリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。
	再生リストを表示します。再生するファイルを選択できます (P118)。



- フォルダランダムプレイ、ファイルリピートプレイ、フォルダリピートプレイがオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。



- 簡易AV表示の表示方法については25ページをご覧ください。



ビデオファイルの再生

【ビデオファイル再生画面】



【ビデオファイル再生画面(スキップ/サーチ)】



画面の中央部にタッチすると、ビデオファイル操作ボタンが表示されます。

【ビデオファイル操作ボタン】



(画面例：USB機器)

- ① ソースメディア名
- ② 映像形式
- ③ フォルダ番号
- ④ ファイル番号
- ⑤ 再生時間
- ⑥ フォルダ名
- ⑦ ファイル名

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	ビデオファイル操作ボタンを消します。
	前または次のファイルを再生します(スキップ)。 タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
	再生または一時停止(ポーズ)します。
	前のフォルダの先頭のファイルから再生します。
	次のフォルダの先頭のファイルから再生します。
	フォルダランダムプレイをオン/オフします。 オンのときには、フォルダ内のファイルがランダムな順番で再生されます。
	ファイルリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のファイルが繰り返し再生されます。
	フォルダリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。
	再生リストを表示します。再生するファイルを選択できます(※P118)。



- 再生できるファイル形式については178ページをご覧ください。
- 対応メディアについては179ページをご覧ください。
- 走行中は、ビデオファイルの映像は映りません。
- フォルダランダムプレイ、ファイルランダムプレイ、フォルダリピートプレイ、ファイルリピートプレイがオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されません。



KME-VXで同期したメディアを再生するときは

楽曲データベース管理ソフトウェアKENWOOD Music Editor VX（以降、「KME-VX」）で同期したUSB機器またはSDカードを再生します。

【オーディオファイル再生画面】



【ビデオファイル再生画面】



表示されるボタンのはたらきについては、116ページおよび117ページをご覧ください。

オーディオファイル再生画面には、**Q W/SCAN** が表示されます。このボタンにタッチすると、各曲のサビ部分が次々と再生されます。



- ソースを変更した場合または本機の電源を入れなおした場合、サビスキャンは解除されます。
- KME-VXで同期したUSB機器またはSDカードでは、KME-VXで同期したオーディオ/ビデオファイル以外のファイルは再生できません。

再生するファイルをリストで選択する

再生するファイルを選択します。



オーディオファイルまたはビデオファイルを再生します。

1 [リスト]にタッチします。



2 フォルダを選んでタッチします。



ファイルのリストが表示されるまで繰り返します

3 再生するファイルを選んでタッチします。



選択したファイルが再生されます。



- [トップ] にタッチすると最上位階層へ、[トップ] にタッチすると一階層上のリストに戻れます。ただし、KME-VXで同期したメディアでは表示されません。
- [▶] にタッチすると、先頭の曲から再生します。
- KME-VXで同期したUSB機器/SDカードの場合、カテゴリーで選択できます。

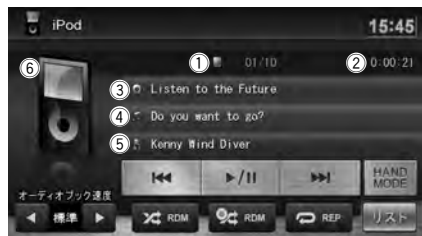


iPodを再生する

iPodを再生します。
iPodの接続については、182ページをご覧ください。



【iPod再生画面】



- ① 曲番号/全曲数
- ② 演奏時間
- ③ アルバム名
- ④ 曲名
- ⑤ アーティスト名
- ⑥ アルバムアート画像

【簡易AV表示】



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
  (スキップ/ サーチボタン)	前または次の曲を再生します (スキップ)。 タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
	再生または一時停止 (ポーズ) します。
	ハンドモードのオン/オフを切り替えます。 ハンドモードがオンのときには、iPod側で操作できます。オフのときには、本機側で操作できます。
	オーディオブックの読み上げ速度を (遅い/標準/早い) を切り替えます。
	曲のシャッフル再生をオン/オフします。
	アルバムシャッフル再生をオン/オフします。
	リピート再生をオン/オフします。 オンのときには、現在の曲が繰り返し再生されます。
	再生リストを表示します。 再生する曲をカテゴリーで選択できます (P122)。



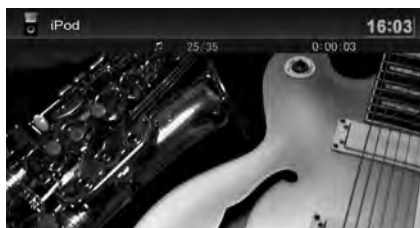
- シャッフル、リピートプレイがオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されません。



- 簡易AV表示の表示方法については25ページをご覧ください。



【iPodビデオ再生画面】



【iPodビデオ再生画面(スキップ/サーチ)】



ビデオ再生画面の中央部にタッチすると、iPodビデオ操作ボタンが表示されます。

【iPodビデオ操作ボタン】



- ① ファイル番号/全ファイル数
- ② 再生時間
- ③ アルバム名
- ④ ファイル名
- ⑤ アーティスト名

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
消す	操作ボタンを消します。
画質	画質を調整します (※ P126)。
⏮ ⏭	タッチするたびに、前または次のビデオを再生します (スキップ)。タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
▶ ⏸	再生または一時停止します。
HAND MODE	ハンドモードをオン/オフします。オンのときには、iPod側で操作できます。オフのときには、本機側で操作できます。
🔀 RDM	曲のシャッフル再生をオン/オフします。
📀 RDM	アルバムシャッフル再生をオン/オフします。
🔄 REP	ファイルリピート再生をオン/オフします。オンのときには、現在のビデオが繰り返し再生されます。
リスト	再生リストを表示します。再生するビデオをカテゴリーで選択できます (※ P122)。



- シャッフル、リピートプレイがオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。



iPod

リストで選択する

iPod本体での操作と同様に、再生する曲やビデオを本機側で選択することができます。



- 3 以降で表示されるカテゴリ/サブカテゴリは、iPodとiPod Videoとは異なります。また、iPod Videoのサブカテゴリは、接続するiPodによって異なります。
- [上一步] にタッチすると最上位階層へ、[下一步] にタッチすると一階層上のリストに戻れます。
- [再生] にタッチすると、曲またはビデオが再生されます。

1 [リスト]にタッチします。



2 (ミュージックリスト)または(ビデオリスト)を選択します。



3 カテゴリ、または再生する曲/ビデオファイルを選んでタッチします。

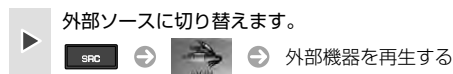




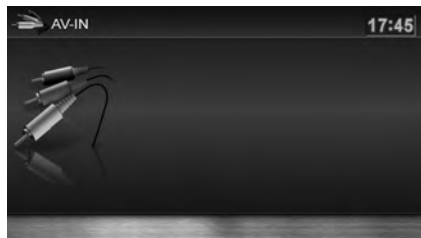
AV外部ソース

外部ソースの音を聴く/映像を観る

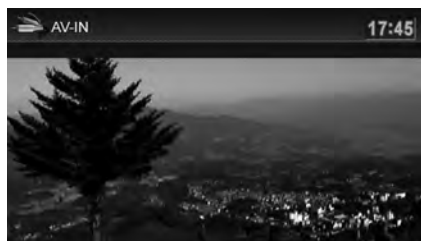
本機に接続した外部機器の音声や映像を視聴します。



【AV-INオーディオ画面】



【AV-INビデオ画面】



【簡易AV表示】



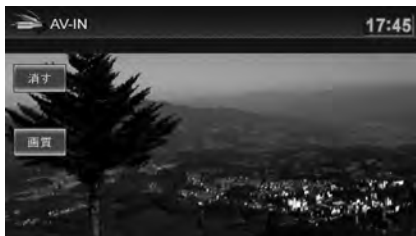
スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。



- 簡易AV表示の表示方法については25ページをご覧ください。

AV-INビデオ画面で画面にタッチすると、AV-IN操作ボタンが表示されます。

【AV-IN操作ボタン】



表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
消す	AV-IN操作ボタンを消します。
画質	画質を調整します (画質 P126)。



接続機器を設定する

本機のAV-INに接続する外部機器の種類を設定します。

情報・設定メニューを表示します。

メニュー



情報・設定

1 [システム設定]にタッチします。



2 「AV-INの接続機器」で、接続しているAV機器の種類を選んでタッチします。



[Video]* : AV機器(音声と映像)をAV-INに接続しているときに選択します。

[Audio] : オーディオ機器(音声のみ)をAV-INに接続しているときに選択します。

[接続なし] : AV-INを使用しないときに選択します。

* は、お買い上げ時の設定です。



- ソースがAV-INのときには[接続なし]は選択できません。



画質調整

映像ソースの画質を調整する

映像ソースの画質を調整します。
USB機器/SDカードの映像は画質調整できません。

- ▶ 各映像ソースの操作ボタンを表示します。

1 [画質]にタッチします。



(画面例：DVD)

2 [−]または[+]にタッチして、各項目を調整します。



3 各ソースの映像画面に戻る場合は[消す]に、操作画面に戻る場合は[戻る]にタッチします。

調整できる項目は次のとおりです。

項目	説明
明るさ	明るさを調整します。 [+]にタッチすると明るくなり、[−]にタッチすると暗くなります。
コントラスト	コントラストを調整します。 [+]にタッチするとコントラストが強くなり、[−]にタッチすると弱くなります。
色合い	色相を調整します。 [+]にタッチすると赤が強くなり、[−]にタッチすると緑が強くなります。
色の濃さ	色の濃淡を調整します。 [+]にタッチすると濃くなり、[−]にタッチすると淡くなります。
アスペクト	縦横比を調整します。 [左]または[右]にタッチするたびに、“レギュラー”、“フル”、“オート”が切り替わります。 DVD、iPod、AV-INで設定できます。 “オート”はDVDでのみ選択できます。



- 映像ソースによっては、調整できない項目もあります。
- ナビの画面の画質は調整できません。





サウンド設定

サウンドを設定する

車内の音響効果や音質を調整します。
サウンド設定は、AVソースを選択しているときに行ってください。スタンバイ（オーディオオフ）のときには設定できません。

情報・設定メニューを表示します。

メニュー

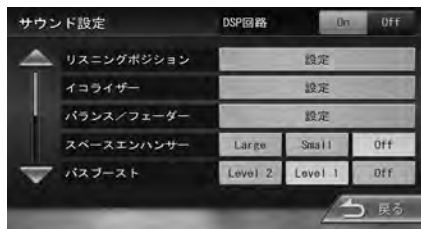


情報・設定

1 [サウンド設定]にタッチします。



2 各項目を設定します。



設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
DSP回路	On*	DSP回路をオンにします。
	Off	DSP回路をオフにします。
リスニングポジション**	—	リスニングポジションを設定します (※ P129)。
イコライザー**	—	音質を設定します (※ P130)。
バランス/フェーダー	—	左右/前後の音量バランスを設定します (※ P131)。
スペースエンハンサー**	Large	スペースエンハンサーを使うと、実際の車室より広い仮想空間での音響効果が得られます。
	Small	ここでは、仮想空間の広さを設定します。
	Off*	スペースエンハンサーをオフにします。
バスブースト**	Level2	低音を増強するレベルを設定します。
	Level1*	
	Off	バスブーストをオフにします。
車両設定**	—	車両のタイプを設定します (※ P132)。
スピーカー設定**	—	スピーカーの構成を設定します (※ P133)。
ソースレベル	—	各AVソースの音量をそろえます (※ P135)。
内蔵アンプ出力	On*	内蔵アンプの出力をオンにします。
	Off	内蔵アンプの出力をオフにします。外部アンプを接続するときに選択します。
プリアウト端子の出力切替	サブウーファース*	リア/サブウーファース出力にサブウーファースを接続するときに選択します。
	リア	リア/サブウーファース出力にリアスピーカーを接続するときに選択します。

* お買い上げ時の設定

** 「DSP回路」がオンに設定されているときに設定できます。



● ソースが「TUNER」のときには、スペースエンハンサーは設定できません。



リスニングポジションを選択する

車に乗っている人にとってより良い音場になるように、リスニングポジションを選択します。

ここでの設定を行う前に、車両設定をしておいてください(※ P132)。

サウンド設定メニューを表示します。

メニュー



音場・調整

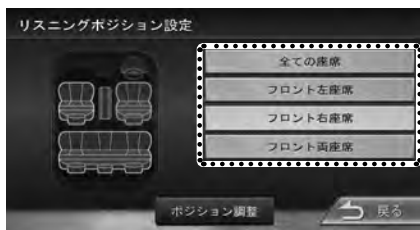


リスニング位置

- 1 「リスニングポジション」の[設定]にタッチします。



- 2 設定するリスニングポジションを選んでタッチします。

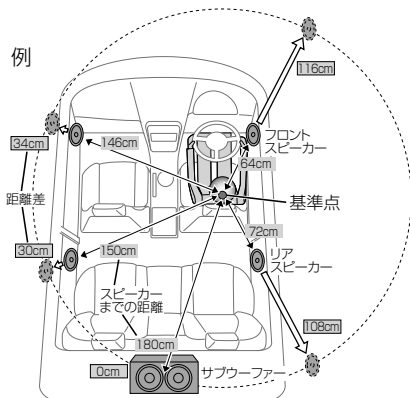


リスニングポジションのDTAを調整するときは

DTA (Digital Time Alignment) とは、実際のリスニングポジションから各スピーカーまでの距離が等しくなるように、スピーカーの仮想位置を調整する機能です。ここでは、ユーザーの実際に車に合わせて各リスニングポジションのDTAを調整します。

リスニングポジションを選択します。

- 1 設定するリスニングポジションから各スピーカーまでの距離を測り、最も遠いスピーカーとの距離差を計算します。



リスニングポジションに「フロント両座席」を選択している場合は左右フロントシートの中央から、「全ての座席」を選択している場合は前後左右のシートの中央から距離を測ります。

- 2 [ポジション調整]にタッチします。



- 2 でリスニングポジションを選択すると、その座席に一般的に適用できるDTAが設定されます。





サウンド設定

3 調整するスピーカーのボタンにタッチします。



4 「車両DTAとの合計」の値が 1 で求めた距離差になるように、◀ または ▶ にタッチします。



5 3 と 4 を繰り返して、すべてのスピーカーを設定します。



- 「プリアウト端子の出力切替」を「リア」に設定 (※ P128) している場合は、サブウーファースのDTAは調整できません。
- リアスピーカーおよびサブウーファースの口径が「なし」に設定されている場合は、当該スピーカーのDTAは調整できません。
- 4 で、[初期値に戻す]にタッチすると、確認のメッセージが表示されます。[はい]にタッチすると、調整中のリスニングポジションのすべてのスピーカー調整値が初期値に戻ります。
なお、このとき、車両DTAや他のリスニングポジションでのポジションDTAは変化しません。

プリセットイコライザーを設定する

音楽のジャンルに合わせて、プリセットイコライザーを設定します。

サウンド設定メニューを表示します。



1 「イコライザー」の[設定]にタッチします。



2 プリセットイコライザーのジャンルを選んでタッチします。



- 本操作は、どれかAVソースを選択している状態で行ってください。オーディオソースがスタンバイ（オーディオオフ）の状態では設定できません。
- 2 で、[イコライザー調整]にタッチすると、ユーザー独自のイコライザーカーブを設定できます (※ P131)。
- プリセットイコライザーはソースごとに設定できます。



ユーザーイコライザーを設定するときはユーザー独自のイコライザーカーブを設定することもできます。ユーザーイコライザーは、ソースごとに設定できます。

1 「イコライザー調整」にタッチします。



2 設定したいイコライザーカーブを画面でなぞります。



◀または▶にタッチして中心周波数を選択し、▲または▼にタッチしてレベルを設定することもできます。
[フラット]にタッチすると、全周波数帯のレベルが0dBになります。

3 「バスエンハンス」の[On]または[Off]にタッチします。

「バスエンハンス」を「On」にすると、62.5Hz以下の低域のレベルが62.5Hzと同じレベルになります。オフにすると、低域は0dBにむかってなだらかなカーブになるように減衰または増幅されます。

バランス/フェーダーを設定する

左右および前後の音量バランスを調整します。

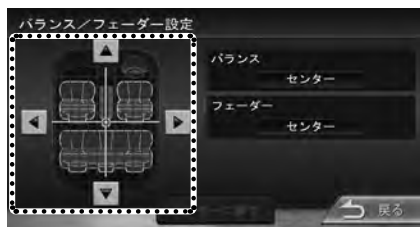
サウンド設定メニューを表示します。



1 「バランス/フェーダー」の[設定]にタッチします。



2 バランスを合わせる位置にタッチします。



◀または▶にタッチして左右のバランスを、▲または▼にタッチして前後のバランスを調整することもできます。
[センターに戻す]にタッチすると、左右/前後ともに中央になります。



- 本操作は、どれかAVソースを選択している状態で行ってください。オーディオソースがスタンバイ（オーディオオフ）の状態では設定できません。



サウンド設定

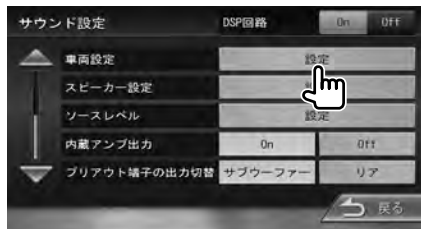
車両のタイプを設定する

車両タイプを設定します。

サウンド設定メニューを表示します。



1 「車両設定」の[設定]にタッチします。



2 車両タイプを選んでタッチします。



- 2 で車両タイプを設定すると、そのタイプの車両に一般的に適用できるDTA（車両DTA）が設定されます。

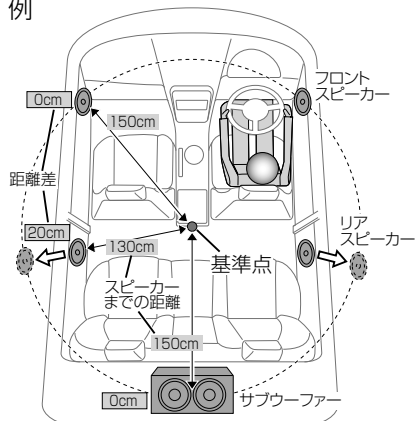
車両のDTAを調整するときは

車両DTAとは、ユーザーの実際の車両の車室中央から前後のスピーカーおよびサブウーファーまでの距離が等しくなるように、スピーカーの位置を調整する機能です。

▶ 車両のタイプを選択します。

1 車室の中央から各スピーカーまでの距離を測り、最も遠いスピーカーとの距離差を計算します。

例



2 [車両DTA調整]にタッチします。





3 調整するスピーカーを選んでタッチします。



4 ◀または▶にタッチして、1で求めた距離差を入力します。



5 3と4を繰り返して、前後のスピーカーを設定します。

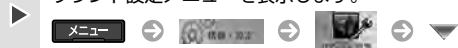


- 「ブリアウト端子の出力切替」を「リア」に設定(※ P128)している場合は、サブウーファースのDTAは調整できません。
- リアスピーカーおよびサブウーファースの口径が「なし」に設定されている場合は、当該スピーカーの DTAは調整できません。
- ここでの調整を完了してからリスニングポジションの選択、およびポジションDTAの調整(※ P129)を行ってください。

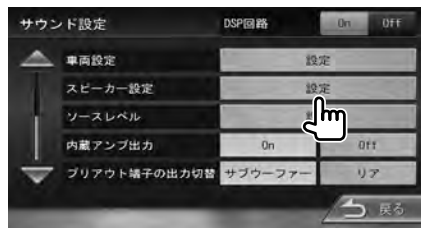
スピーカー構成を設定する

車両のスピーカー構成を設定します。

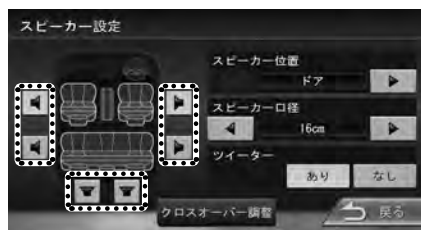
サウンド設定メニューを表示します。



1 「スピーカー設定」の[設定]にタッチします。



2 設定するスピーカーを選んでタッチします。



3 「スピーカー位置」の◀または▶にタッチして、スピーカーの位置を設定します。





サウンド設定

- 4 「スピーカー口径」の ◀ または ▶ にタッチして、スピーカーの口径を設定します。



口径が不明なときは「16cm」を選択します。
スピーカーがないときは「なし」を選択します。

- 5 フロントスピーカーの場合のみ、「ツイーター」の[あり]または[なし]にタッチして、ツイーターの有無を選択します。



- 6 サブウーファーの場合のみ、「サブウーファーレベル」の ◀ または ▶ にタッチして、サブウーファーの出力レベルを設定します。



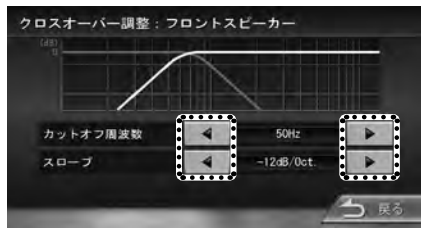
スピーカーのクロスオーバー周波数を変更するときは

フロント/リアスピーカーとサブウーファーのクロスオーバー周波数とスロープ(減衰率)、サブウーファーの位相を設定します。

- 1 [クロスオーバー調整]にタッチします。



- 2 ◀ または ▶ にタッチして、フロント(またはリア)スピーカーとサブウーファーのクロスオーバー周波数とスロープ(減衰率)を設定します。



- 3 サブウーファーの場合のみ、「位相反転」の[する] (逆相) または [しない] (正相) にタッチして、位相を設定します。



- フロントスピーカーの口径は「なし」(スピーカーなし)には設定できません。
- 「プリアウト端子の出力切替」を「リア」に設定(※P128)している場合は、サブウーファーは設定できません。
- サブウーファーの「スピーカー口径」を「なし」に設定していると、サブウーファーのクロスオーバーは調整できません。

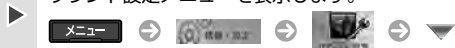


- カットオフ周波数とは、フロント/リアスピーカーの場合はその周波数よりも低い成分をカットする周波数です。また、サブウーファーの場合は、その周波数よりも高い成分をカットする周波数です。この機能により、フロント/リアスピーカーでは低域成分、サブウーファーでは高域成分が出力されないようにできます。
“スルー”に設定すると、この機能はオフになります。
- スロープとは、カットオフ周波数で設定した帯域の音をカットするときの減衰率です。1オクターブ (oct) あたりの減衰率をdBで設定します。

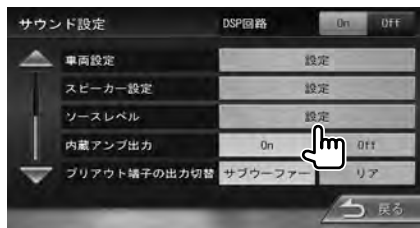
ソースの音量バランスをそろえる

CDの音量を基準に、各ソースの音量をそろえます。

サウンド設定メニューを表示します。



1 「ソースレベル」の[設定]にタッチします。



2 現在のソースの + または - にタッチして、音量を調整します。



[初期値に戻す]にタッチすると、すべてのソースレベルの調整はリセットされて±0になります。



- BT Audioは、MDV-727DTでのみ表示されます。



その他の設定

システム設定メニューを表示する

本機のシステムに関する項目を設定します。

▶ 情報・設定メニューを表示します。



1 [システム設定]にタッチします。



2 各項目を設定します。



- [AV]、[音量]、[表示]、[車両]、[その他]にタッチすると、項目を切り替えることができます。

設定できる項目は次のとおりです。

AV

項目	選択肢	説明
楽曲データ管理	—	本機に保存されている楽曲データベースの更新などを行います (※ P140)。
録音設定	—	CDから本機の内蔵メモリに録音するときの設定を行います (※ P111)。
DVDセットアップ	—	DVD再生に関する各種の設定を行います (※ P105)。
AV-INの接続機器	Video*	AV機器 (音声と映像) をAV-INに接続しているときに選択します。
	Audio	オーディオ機器 (音声のみ) をAV-INに接続しているときに選択します。
	接続なし	AV-INソースを使用しないときに選択します。

* お買い上げ時の設定

音量

項目	選択肢	説明
走行スピードと音量の連動	連動しない	車速に応じて、自動的に音量を上げます。
	小	“連動しない” に設定すると、音量は変化しません。
	中*	
	大	
ナビ音声案内時のAV音量	消音	音声案内時にAVソースの音声を消します。
	下げる*	音声案内時にAVソースの音量を下げます。
	そのまま	音声案内時でもAVソースの音量は変化しません。
リバース時のAV音量	下げる	バックするときにAVソースの音量を下げます。
	そのまま*	バックするときでもAVソースの音量は変化しません。

* お買い上げ時の設定



表示

項目	選択肢	説明
画面の明るさ : 昼	-5~+5	昼画面(イルミオフ)の明るさを調整します。
画面の明るさ : 夜	-5~+5	夜画面(イルミオン)の明るさを調整します。
イルミネーションカラー	—	キーイルミネーションの色を設定します(※ P138)。
映像画面/ 消灯画面の 時計	表示する* 表示しない	AVソースの映像画面や画面オフ時に時計を表示します。 表示しません。

* お買い上げ時の設定

車両

項目	選択肢	説明
車両ナンバー	軽	車両ナンバーの分類番号を設定します。
	5、7*	ここで設定した分類番号で、有料道路の通行料が算出されます。
	3	
	1	
オートアンテナ	あり	オートアンテナが装着されているときに選択します
	なし*	オートアンテナが装着されていないときに選択します。
リアビューカメラ接続	CMOS-300	リアビューカメラCMOS-300(別売品)が接続されているときに選択します。詳しくは、CMOS-300の取扱説明書をご覧ください。
	その他	その他のリアビューカメラが接続されているときに選択します。
	なし*	リアビューカメラが接続されていないときに選択します。
CMOS-300 設定	—	リアビューカメラCMOS-300(別売品)が接続されているときの表示方法を設定します。
ステアリング リモコン	—	ステアリングリモコンを有効にするために、車両のメーカーを設定します。

* お買い上げ時の設定

その他

項目	選択肢	説明
暗証番号	—	本機の起動のための暗証番号を設定/変更します(※ P20)。
ショート カットボタン	—	現在地図画面に表示されるクイックメニューに機能を割り当てます(※ P25)。
操作音の 出力	する*	画面のボタンにタッチしたときにピッという音を出します。
	しない	音を出しません(一部の音は鳴ります)。
ユーザー 設定の初期化	—	ユーザーが登録したデータ(登録地点、検索履歴など)を消去し、ユーザーが変更した設定をお買い上げ時の設定状態に戻します。
		初期化を行っても、暗証番号、内蔵メモリに録音された曲、楽曲データベースは消去されません。楽曲データベースの都度更新は消去されます。
店頭デモの 表示	—	この項目が表示されたときは、“しない”に設定してください。

* お買い上げ時の設定



その他の設定

イルミネーションの色を設定する

フロントパネルのキーのイルミネーションの色を設定します。

ユーザー独自の色を作るときは

ユーザー独自のイルミネーションカラーを作ること
もできます。

▶ システム設定メニューを表示します。



1 [表示]にタッチします。



▶ 前項 3 で、レインボーカラー以外を選択します。

1 [ユーザーカラー設定]にタッチします。

2 赤緑青の◀または▶にタッチして、新しい色を作ります。



色の設定はすぐに反映されますので、キーの発光色を見ながら設定できます。

3 登録先のボタン ([ユーザーカラー 1 に設定]/[ユーザーカラー 2 に設定]) にタッチします。



- イルミネーションカラーとしてレインボーカラーが選択されているときには、ユーザー独自の色は作れません。

3 色のボタンにタッチします。



レインボーカラーにタッチすると、イルミネーションの色は時間とともに変化します。



ステアリングリモコンを設定する

車両のステアリングリモコンで本機を操作できるように設定します。



- 車両のステアリングリモコンを使うためには、ETC/ステアリングリモコン対応ケーブルKNA-300EX（別売品）が必要です。
対応している車両メーカーについては、下記ホームページをご覧ください。
http://www.kenwood.co.jp/products/car_audio/option/steeringcable/index.html

システム設定メニューを表示します。



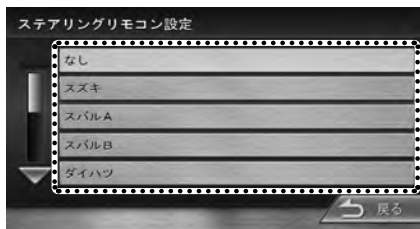
1 [車両]にタッチします。



2 「ステアリングリモコン」の[設定]にタッチします。



3 車両のメーカーを選んでタッチします。





その他の設定

楽曲データベースを更新する

本機の楽曲データベースを更新します。

データの更新中には、絶対に本機の電源をオフにしたり、SDカードを取り出したりしないでください。
更新を中止するときは、[中止]にタッチしてください。

5 [OK]にタッチします。

3の楽曲データ管理画面に戻ります。



- 更新データは下記のサイトのRovi LASSOデータベースにアクセスしてください。
http://www.kenwood.co.jp/faq/ce_navi/index.html

上記サイトでは、ダウンロード方法のほかに、ダウンロード後の必要な処理手順についても説明されていますので注意深くお読みください。

▶ システム設定メニューを表示します。



1 楽曲データベースの更新データを保存したSDカードを本機にセットします。

2 「楽曲データ管理」の[設定]にタッチします。



3 「楽曲データベース更新」の[更新]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

4 [はい]にタッチします。

進行状況が表示されます。
更新が完了すると、メッセージが表示されます。



楽曲データ管理ソフトKME-VXをダウンロードする

楽曲情報を取得または整合させる楽曲データ管理ソフトKENWOOD Music Editor VX (PC用) (以降、「KME-VX」) のインストールファイルを本機からSDカードへダウンロードします。

KME-VXでできること

- PCで楽曲データを管理します。
- KME-VXで管理している楽曲データを、USB機器/SDカードに保存します。
- 本機の楽曲データベースに楽曲情報が収録されていない音楽CDを内蔵メモリに録音したときに、その楽曲情報をRovi LASSOの最新データベースからKME-VXで取得して本機に書き戻します。

システム設定メニューを表示します。

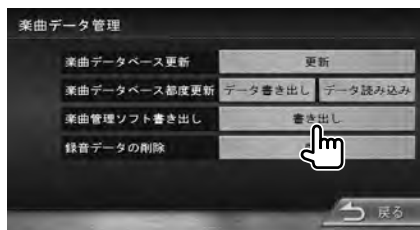


1 保存するSDカードを本機にセットします。

2 「楽曲データ管理」の[設定]にタッチします。



3 「楽曲管理ソフト書き出し」の[書き出し]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

4 [はい]にタッチします。

書き出しが完了すると、メッセージが表示されます。

5 メッセージにタッチします。

3の楽曲データ管理画面に戻ります。



- KME-VXIには、本機と関連する機能としては次の機能があります。

- ー 録音した音楽CDの曲の楽曲情報が本機に収録されていなかった場合、PCからRovi LASSOの最新データベースにアクセスし、楽曲情報を取得して付与します。
- ー KME-VXで同期したUSB機器またはSDカードを本機で再生すると、KME-VXで管理している楽曲情報に基づいて、さまざまな再生や選曲を行います。

- KME-VXをダウンロードするためには、SDカードに20MB以上の空き容量が必要です。

- KME-VXのインストールファイルは、次のように書き込まれます。

<SDカードのドライブ名>¥APPL¥KME_setup.exe

- SDカードに書き出されたKME-VXインストールファイルは、PCの適当なフォルダにコピーしてください。

- Windowsのエクスプローラで、保存した KME-VXインストールファイルをダブルクリックするとインストールできます。

詳しくは、KME-VXインストールファイルに付属のインストール説明書(<SDカードのドライブ名>) ¥APPL¥KME-VX_Install_ja.html) をご覧ください。

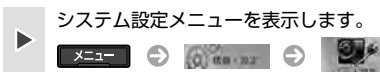
- KME-VXの使いかたは、KME-VXのヘルプをご覧ください。



その他の設定

楽曲データベース未収録の情報を取得する

音楽CDから内蔵メモリに録音するときには本機の楽曲データベースで楽曲情報を取得できなかったアルバム（未収録）の楽曲情報を、PCで動作しているKME-VXで取得して更新します。

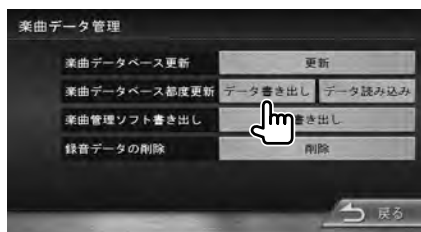


- 1 「楽曲データ管理」の[設定]にタッチします



- 2 SDカードを本機にセットします。

- 3 「楽曲データベース都度更新」の[データ書き出し]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

- 4 [はい]にタッチします。
必要なデータがSDカードに書き出されます。

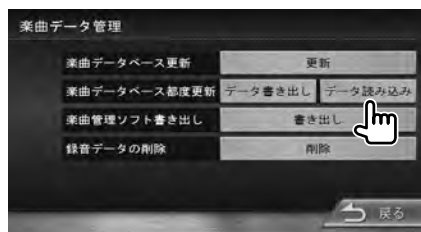
- 5 SDカードを本機から取り出し、PCにセットします。

- 6 KME-VXを使って楽曲情報を取得します。

楽曲情報の取得方法については、KME-VXのヘルプをご覧ください。

- 7 PCからSDカードを取り出して本機にセットし、2の画面を表示させます。

- 8 「楽曲データベース都度更新」の[データ読み込み]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

- 9 [はい]にタッチします。
楽曲情報が本機に読み込まれます。



- 楽曲データベース都度更新で読み込んだ楽曲情報は、当該アルバムの楽曲情報に反映されます。本機の楽曲データベースは更新されません。





リアビューカメラ

リアビューカメラを設定する

リアビューカメラの接続を設定します。

CMOS-300を接続したときは

リアビューカメラCMOS-300（別売品）を接続したときは、本機の画面上でCMOS-300を設定できます。

システム設定メニューを表示します。



1 [車両]にタッチします。



2 「リアビューカメラ接続」の[CMOS-300]または[その他]にタッチします。



CMOS-300を接続した場合は[CMOS-300]、その他の市販品を接続した場合は[その他]を選択します。

3 CMOS-300を選択した場合は、「CMOS-300設定」の「設定」にタッチします。



CMOS-300の設定画面が表示されます。

4 画面に従って、CMOS-300を設定します。

詳しくは、CMOS-300の取扱説明書をご覧ください。



- 2 で[その他]を選択した場合には、画質などを設定できます。次項をご覧ください。



市販のリアビューカメラを接続したときは
リアビューカメラ（別売品）を接続すると、カメラの
映像で後方確認をしてから車を後退させることがで
きます。

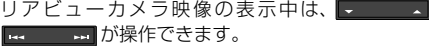
モニター画面だけを見ながら車を後退させること
は、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲
の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）で
使用ください。

- リアビューカメラシステムは、障害物などの確
認のための補助手段として使用してください。雨
滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなる
おそれがあります。
- 画質を調節するときは、必ず安全なところに停車
してから操作してください。

リアビューカメラの映像を表示する

シフトレバーを“R”（リバース）にすると、リアビュー
カメラの映像が表示されます。

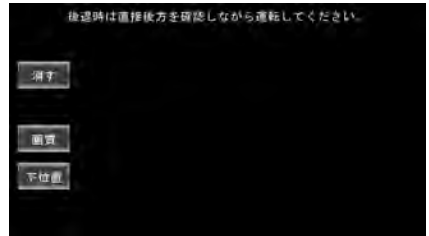
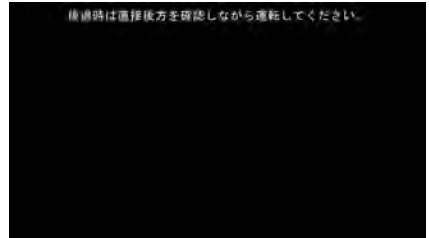


- リアビューカメラ映像の表示中は、と
が操作できます。

操作ボタンを表示する

警告文の表示位置や画質を調整できます。

1 画面にタッチします。



表示されるボタンののはたらきは次のとおりです。

- 画質** : 映像の画質を調整します（※**P126**）。
- 上位置** / **下位置** : 警告文の表示位置を選択します。



- 警告文を下に表示すると、車両の後端が映らなくなり、
危険な場合があります。そのような場合は、表示位置を
上に切り替えてください。



Bluetooth機器の設定

MDV-727DT

Bluetooth機器を登録する

Bluetooth対応の携帯電話やオーディオプレーヤーを本機に登録します。

情報・設定メニューを表示します。

メニュー



情報・設定

1 [Bluetooth設定]にタッチします。



2 「ハンズフリー接続」または「オーディオ接続」の[接続]にタッチします。



3 [追加登録]にタッチします。



本機は登録待機中になります。

4 Bluetooth機器側から接続操作します。

操作方法については、ご使用のBluetooth機器の説明書をご覧ください。
パスキー（PINコード）は、画面に表示されているものを入力してください。



Bluetooth機器側の操作が終わると、接続処理が開始されます。



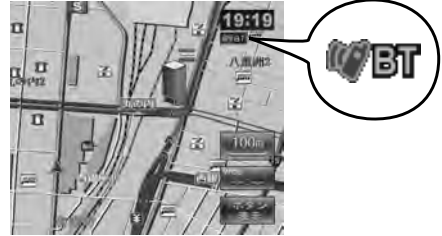
登録されると、画面にデバイス名が表示されます。





- Bluetooth機器は5台まで登録できます。
- ハンズフリー接続画面またはオーディオ接続画面で、接続されているBluetooth機器の種類は次のアイコンで表示されます。
 : 携帯電話
 : オーディオプレーヤー
 : 携帯電話+オーディオプレーヤー
- Bluetooth機器によっては、4桁未満のパスキーは入力できないものがあります。その場合は、本機のパスキーを4桁以上に変更してください(※ P151)。
- PBAP、OPP対応携帯電話については183ページをご覧ください。

Bluetooth機器が接続されているときは、Bluetooth機器が接続されているときは、状態がアイコンで表示されます。



バッテリー残量
電波の受信状態



- バッテリー残量と電波の受信状態は、実際の携帯電話の表示と一致しない場合があります。



Bluetooth機器の設定

登録したBluetooth機器を接続するときはBluetooth機器を本機に接続します。

Bluetooth設定画面を表示します。



- 1 「ハンズフリー接続」または「オーディオ接続」の[接続]にタッチします。



- 2 接続するBluetooth機器を選んでタッチします。



接続が完了すると、接続機器のボタンがハイライト表示されます。

Bluetooth機器の接続を切断するときはBluetooth機器の接続を切ります。

Bluetooth設定画面を表示します。



- 1 「ハンズフリー接続」または「オーディオ接続」の[切断]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

- 2 [はい]にタッチします。



- 接続するBluetooth機器は、接続可能状態にしておいてください。



Bluetooth機器の登録を削除する

本機に登録されているBluetooth機器を削除します。



- 1 「ハンズフリー接続」または「オーディオ接続」の[接続]にタッチします。



- 2 削除するBluetooth機器の[削除]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

- 3 [はい]にタッチします。



Bluetooth機器の設定

Bluetoothを設定する

Bluetoothに関する項目を設定します。



1 [Bluetooth設定]にタッチします。

2 各項目を設定します。



設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
ハンズフリー接続	—	Bluetooth対応携帯電話を接続または接続解除します (※ P148)。
オーディオ接続	—	Bluetooth対応オーディオプレーヤーを接続または接続解除します (※ P148)。
パスキー	—	現在のパスキーが表示されます。また、パスキーを変更します (※ P151)。
ナビのデバイス名	—	Bluetooth接続時の本機のデバイス名が表示されます。
ナビのデバイスアドレス	—	本機のデバイスアドレスが表示されます。
自動接続	する*	本機の電源がオンになったときに、前回接続したBluetooth機器と自動的に接続します。
	しない	自動的に接続されません。
着信の自動応答	する	着信時に、自動的に通話可能になります。
	しない*	ユーザーが にタッチするまで通話できません。
BT Audioソース	On*	BT Audioソースを使用するときに選択します。
	Off	iPod touch/iPhoneの音楽再生をiPodソースで行いたい場合はこちらを選択します。

* お買い上げ時の設定



パスキーを変更する

接続するBluetooth機器に合わせて、本機のパスキー（パスコード）を変更します。



1 「パスキー」の[変更]にタッチします。



2 新しいパスキーを入力し、[決定]にタッチします。



パスキーは16桁まで指定できます。



- にタッチすると、最後に入力した1文字を削除できます。また、タッチし続けると、すべての文字を削除できます。



ハンズフリーを使う

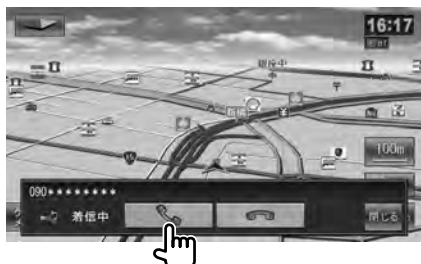
MDV-727DT

ハンズフリーで電話を受ける/切る

本機に携帯電話がハンズフリー接続されているときは、本機のハンズフリー機能を使うことができます。

電話がかかってくると 1 の画面が表示されます。

1 にタッチします。



- 通話中に  にタッチするとプライベート通話（携帯電話）に、 にタッチするとハンズフリー通話に切り替えることができます。



- [閉じる] にタッチすると、電話の画面をアイコン化できます。

 にタッチすると、再び表示できます。

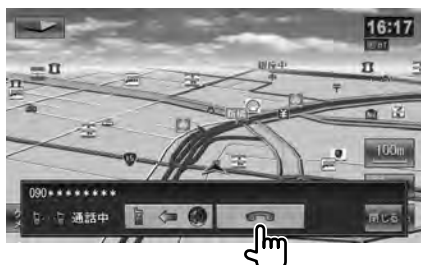


- 着信したときに自動的に電話を受けるように設定しておくこともできます（[P150](#)）。

2 通話します。



3 通話が終わったら にタッチします。



- ハンズフリー通話時の受話音量は、AVの音量と独立して、通話中に  で調整できます。



ダイヤルして電話をかける

ダイヤルして電話をかけます。

▶ ハンズフリー画面を表示します。

メニュー



ハンズフリー

1 [10キー]にタッチします。



2 相手の電話番号を入力して、 にタッチします。



電話が発信されます。



-  にタッチすると、最後に入力した1文字を削除できます。また、タッチし続けると、すべての文字を削除できます。

地点情報メニューで電話をかける

地点検索した場所に電話をかけます。

▶ 地点情報メニューを表示します。

1 にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

2 [はい]にタッチします。

電話が発信されます。



- 地点情報に電話番号が表示されていないときは、電話はかけられません。
- 観光ガイドで地点検索した場合には、次の画面でも電話をかけられます。





ハンズフリーを使う

履歴で電話をかける

発信、着信、不在着信履歴で電話をかけます。

▶ ハンズフリー画面を表示します。

メニュー → ハンズフリー

- 1 [発信履歴]、[着信履歴]、または[不在着信]にタッチします。



- 2 電話する相手を選んでタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

- 3 [はい]にタッチします。

電話が発信されます。



- PBAP対応携帯電話では、本機(ナビ)または携帯電話の各履歴を切り替えることができます。

📱: 本機側の履歴を表示します。

📞: 携帯電話側の履歴を表示します。

表示されている履歴が保存されているデバイス名が、画面の左上に表示されます。



履歴を削除する

本機に記憶されている発信、着信、不在着信履歴を削除します。

▶ 発信、着信、不在着信履歴画面を表示します。

メニュー → ハンズフリー →

発信履歴 または 着信履歴 または 不在着信

- 1 [削除]にタッチします。



(画面例: 発信履歴)

- 2 削除する履歴を選んでタッチします。



- 3 [削除]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

- 4 [はい]にタッチします。

履歴が削除されます。



- 携帯電話に記憶されている履歴は削除できません。

- 2で、[全て選択]にタッチするとすべての履歴が選択されます。また、[全て解除]にタッチすると、すべての選択が解除されます。



電話帳で電話をかける

電話帳で電話をかけます。

▶ ハンズフリー画面を表示します。

メニュー → ハンズフリー

1 [電話帳]にタッチします。



2 電話する相手を選んでタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

3 [はい]にタッチします。

電話が発信されます。



- PBAP対応携帯電話をハンズフリー接続すると、電話帳が自動的に本機にコピー/更新されます。
- 2 で、[あ]~[わ]にタッチすると、頭文字で頭だしできます。

電話帳を本機に登録する

OPP対応の携帯電話の電話帳から本機の電話帳に追加します。

本機の電話帳には500件まで登録できます。

▶ 電話帳を表示します。

メニュー → ハンズフリー → 電話帳

1 [登録]にタッチします。



メッセージが表示されます。

2 携帯電話を操作して、本機の電話帳に登録する電話番号を送信します。



3 携帯電話からの送信が終了したら、[終了]にタッチします。



- 本操作を行っている間は、電話の発着信はできません。



ハンズフリーを使う

電話帳の登録を削除する

本機の電話帳に登録されている電話番号を削除します。

電話帳を表示します。



1 [削除]にタッチします。



2 削除する電話番号を選んでタッチします。



3 [削除]にタッチします。 確認のメッセージが表示されます。

4 [はい]にタッチします。 選択した電話番号が削除されます。

プリセットダイヤルで電話をかける

プリセットダイヤルで電話をかけます。

ハンズフリー画面を表示します。



1 発信先の相手を選んでタッチします。



発信先の相手に電話がかかります。



- [あ]～[わ]にタッチすると、頭文字で頭だしできます。



プリセットダイヤルに電話番号を登録する

プリセットダイヤルに電話番号を登録します。

ハンズフリー画面を表示します。

メニュー



ハンズフリー

1 [編集]にタッチします。



2 登録先を選んでタッチします。



3 登録方法のボタン([電話帳から登録]/[10キーから登録])にタッチします。



4 電話帳から登録する場合は、登録する相手を選んでタッチします。



テンキーから登録する場合は、テンキーにタッチして電話番号を入力し、[登録]にタッチします。



2の画面に戻ります。



- PBAP対応携帯電話では、本機(ナビ)または携帯電話の電話帳を切り替えることができます。
- [戻る]にタッチすると、入力した最後の1桁を削除できます。タッチし続けると、すべての数字を削除できます。
- 4で、[あ]～[わ]にタッチすると、頭文字で頭だしできます。



ハンズフリーを使う

プリセットダイヤルの登録を削除する

プリセットダイヤルに登録されている電話番号を削除します。

4 [はい]にタッチします。

選択した電話番号の登録が削除され、1 の画面に戻ります。



- 2 で[全て選択]にタッチすると、登録済みのすべてのプリセットダイヤルを選択できます。また、[全て解除]にタッチすると、すべての選択を解除できます。

▶ ハンズフリー画面を表示します。

メニュー



ハンズフリー

1 [削除]にタッチします。



2 削除するプリセットダイヤルを選んでタッチします。



3 [削除]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。



Bluetoothオーディオ

MDV-727DT

Bluetooth対応オーディオプレーヤーを再生する

オーディオ接続されたBluetooth対応オーディオプレーヤーを再生します。



【BT AUDIO再生画面】



- ① バッテリー残量
- ② トラック番号
- ③ 演奏時間
- ④ アルバム名
- ⑤ 曲名
- ⑥ アーティスト名

【簡易AV表示】



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	前または次の曲を再生します（スキップ）。
	（スキップ/サーチボタン） タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
	再生します。
	再生を一時停止（ポーズ）します。
	前のフォルダを再生します。
	次のフォルダを再生します。
	フォルダランダムプレイをオン/オフします。 オンのときには、ボタンがハイライト表示されます。
	ファイルリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、ボタンがハイライト表示されます。
	フォルダリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、ボタンがハイライト表示されます。



- Bluetooth対応オーディオプレーヤーを本機に接続する方法については183ページをご覧ください。
- Bluetooth対応オーディオプレーヤーの機種によっては、操作ボタンや楽曲情報を表示できない場合や、再生方法（フォルダ移動やランダムプレイなど）を操作できない場合があります。
- バッテリー残量は、実際のBluetooth対応機器の表示と一致しない場合があります。



- 簡易AV表示の表示方法については25ページをご覧ください。



自車位置の測位精度について

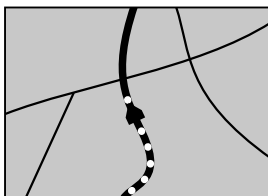
マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。GPSや自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。

マップマッチングしていない場合



マップマッチングしている場合



本機は、GPSと自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

内蔵センサーによる測位とは

内蔵の車速パルスとジャイロセンサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出して現在地を割り出します。

誤差について

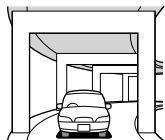
本機は、GPSと自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしております。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

GPS測位不能によって生じる誤差について

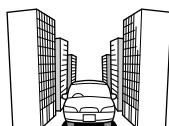
1) 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中や
ビル内の駐車場



2層構造の
高速道路の下



高層ビルの群衆地帯



密集した樹木の間

2) GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなるため、GPSによる測位ができないことがあります。

3) 3基以下のGPS衛星の電波しか受信できない場合は、GPSによる測位ができないことがあります。

4) GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗った場合は、電波の感度が低下したり、電波を受信できなくなり、GPSによる測位ができないことがあります。

GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。また、アンテナやアンテナ付近に雪が積もっている場合も電波の感度が低下します。雪が積もったときは、雪を取り除いてください。



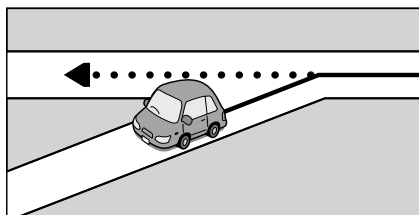
GPS衛星自体の原因により生じる誤差について

- 1) 電波を受信しているGPS衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 2) GPS衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

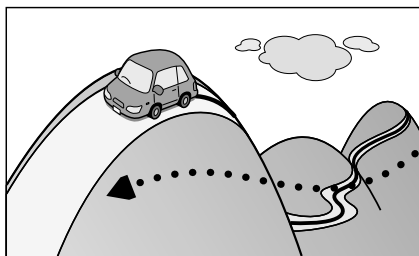
角度の小さいY字路を走行した場合



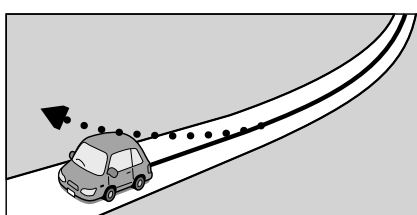
砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合



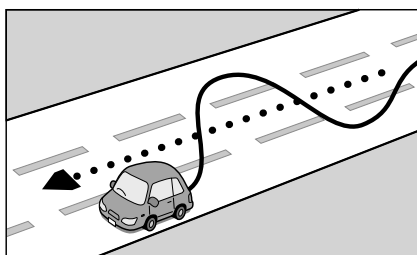
勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合



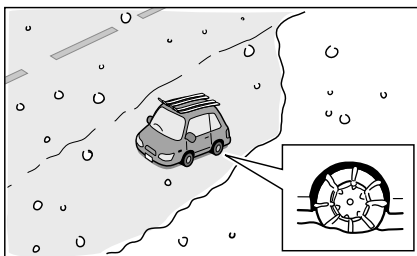
直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後



蛇行運転をした場合



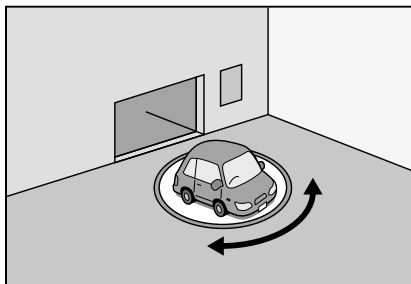
チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合



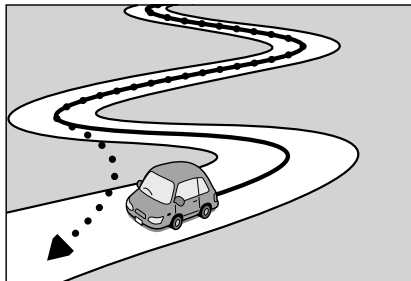


自車位置の測位精度について

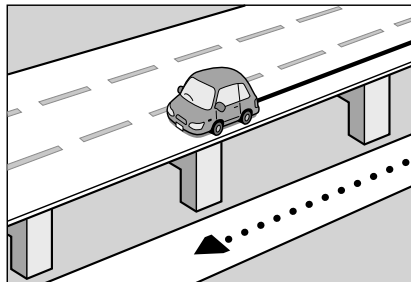
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



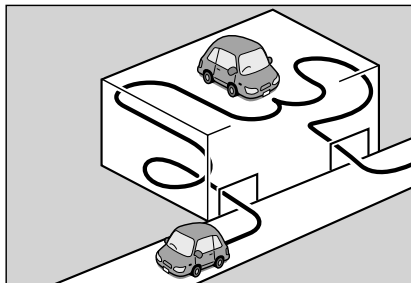
ヘアピンカーブが続いた場合



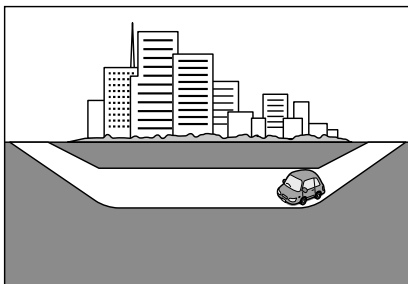
高速道路と側道などが隣接している場合



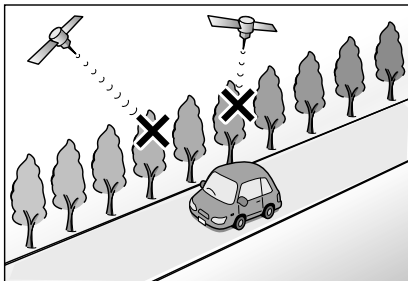
立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合



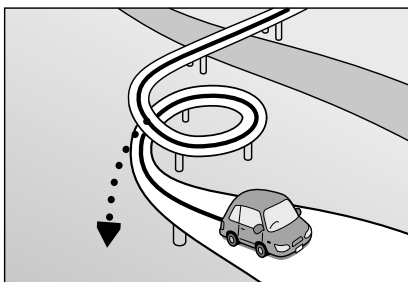
地下駐車場やトンネルなど、GPS衛星による測位が長時間できない場合



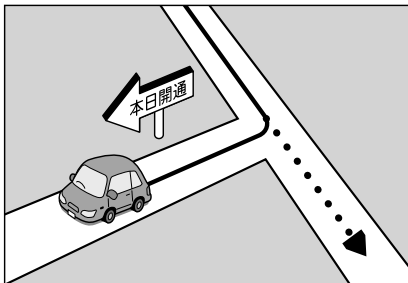
GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合



ループ橋などを走行した場合

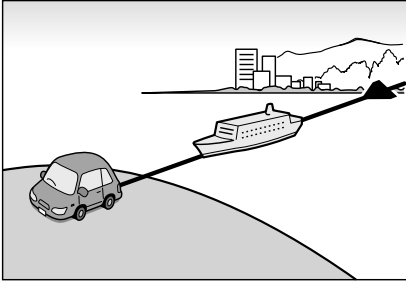


地図データにはない、新設道路を走行した場合

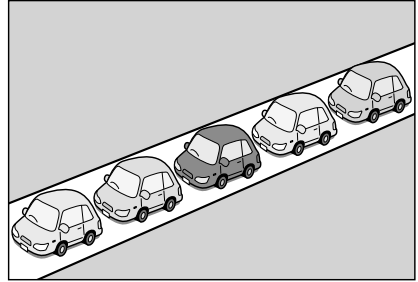




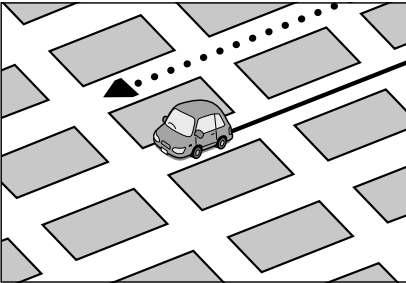
フェリーや車両運搬車などで移動した場合



渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



碁盤の目状の道路を走行した場合



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

低速時の測位精度について

車種によっては、時速数km程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数km程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。



地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
	信号機		マリナー		テーマパーク		灯台
	都道府県庁舎		史跡名勝		城・天守閣		ホール
	市特別区庁舎		城跡		展望タワー		スマートIC
	町村指定都市区庁舎		神社		温泉		その他の目的物
	官庁公共施設		寺院		山頂		NTT
	警察		教会		自衛隊		サーキット
	消防		海水浴場		墓地		テニスコート
	学校		ゴルフ場		ボウリング場		ディスカウントストア
	郵便局		スキー		サッカー		ビルアパート名称
	病院		キャンプ		競馬場ウィンズ		道の駅
	デパートスーパー		遊園地		大学		ヘリポート
	カー用品店		動物園		短大		乗馬
	IC		公園		高専		体育館
	SA		ホテル		高校		牧場
	PA		スタジアム		中学校		ホール
	パーキング		スポーツ施設		小学校		自動車学校
	工場		植物園		養護・盲・ろう学校		トンネル
	飛行場		美術館		保健所		船着場（観光船等）
	フェリー		博物館		税務署		野球場
	港		水族館		発電所		展望台
	料金所		図書館		裁判所		



●表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることもあります。



サービスエリア (SA) やパーキングエリア (PA) などの 施設の設備は次のマークで表示されます。

記号	名称	記号	名称	記号	名称
	IC		SA/JCT (併設)		ショッピング
	スマートIC		PA/JCT (併設)		インフォメーション
	SA		料金所		休憩所
	PA		駐車場		ハイウェイ情報ターミナル
	JCT		スマートIC		ベビーコーナー
	IC/JCT (併設)		ガソリンスタンド		障害者用トイレ
	IC/SA (併設)		レストラン		ATM
	IC/PA (併設)		スナック		トイレ

※ ガソリンスタンドのマークは、元売り各社のロゴで表示されます。

また、観光ガイドでは次のマークで表示されます。

記号	名称	記号	名称	記号	名称
	スマートIC		コンビニエンスストア		郵便ポスト
	ハイウェイオアシス		レストラン		キャッシュコーナー
	トイレ		ファストフード		ベビーコーナー
	障害者用トイレ		カフェ		ドックラン
	ガソリンスタンド		ベーカリー		風呂・温泉
	インフォメーション(案内所)		ティーサービス		コインシャワー(シャワールーム)
	ショッピングコーナー		FAX		ホテル

※ ガソリンスタンドのマークは、元売り各社のロゴで表示されます。



ジャンルの分類について

ジャンル検索等に使用するジャンルは、次のように分類されています。

大分類	中分類
コンビニエンスストア	コンビニエンスストア各社
ガソリンスタンド	石油元売各社
駐車場	—
食事	ファミリーレストラン、ファーストフード、和食、中華、ラーメン、焼肉・ホルモン、韓国料理、イタリア料理、スバゲティ専門店、ピザハウス、フランス料理、ステーキハウス、カレーハウス、喫茶・カフェ、パン・お菓子、持ち帰り弁当、居酒屋・バー・クラブ
ショッピング	ショッピングセンター・モール、アウトレットモール、スーパーマーケット、デパート、ドラッグストア、ホームセンター、ディスカウントストア、雑貨屋、100円ショップ、電器店、携帯電話ショップ、本屋、古本屋、CDレコード店、レンタルビデオ・CD、おもちゃ屋、ゲームショップ、アウトドア用品店、釣具店、花屋・園芸店、家具店、インテリア用品店、食器店、酒屋
レジャー	入浴施設、遊園地・テーマパーク、レジャー公園、牧場、海水浴場・海岸、釣り、川くだり、キャンプ場、果物狩り、遊覧船、リフト・ロープウェイ、ホール・会館、映画館、ボウリング場、カラオケ、パチンコ・スロット、公営ギャンブル、その他レジャー
観光	動物園・サファリパーク、水族館、植物園、美術館、博物館、資料館、文化施設、神社、寺院、教会、劇場、プラネタリウム、観光名所、星の観察、天文台、城・城跡、史跡、観光案内所、その他観光
宿泊	ホテル、ビジネスホテル、カプセルホテル、ファッションホテル、旅館、民宿、ペンション、公共の宿、その他宿泊
交通機関	高速・都市高速・有料道路施設、駅、道の駅、空港、旅客船発着所、フェリーターミナル
トイレ	—
銀行	都市銀行、地方銀行（北海道・東北）、地方銀行（関東）、地方銀行（中部）、地方銀行（近畿）、地方銀行（中国・四国）、地方銀行（九州・沖縄）、J Aバンク、ゆうちょ銀行、その他銀行

公共施設	役所、警察署・交番、消防署、郵便局、図書館、裁判所、法務局、税務署、年金事務所、保健所、外国公館、放送局、新聞社、運転免許試験場
病院	病院・医院：診療所、内科、外科、小児科、歯科、矯正歯科、小児歯科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、アレルギー科、産婦人科・産院、胃腸消化器内科・同外科、呼吸器内科、循環器内科・同外科、精神科、脳神経外科、心療内科、整形外科、泌尿器科、肛門内科・同外科、ホスピス、はり・きゅう、カイロプラクティック、整体、美容外科、その他病院
教育	大学、短大、高専、高校、中学校、小学校、幼稚園、保育園、特別支援学校、各種専門学校、予備校、自動車教習所
ファッション装飾品	フォーマルウェア、カジュアルウェア、婦人服店、ブティック、子供服店、和服店、アクセサリー店、宝石・貴金属店、めがね店、かばん・ハンドバッグ店、靴店、理容・美容、その他ファッション・装飾品
スポーツ	スポーツ用品店、体育館、武道館・道場、野球場、陸上競技場、テニスコート、バッチングセンター、スポーツクラブ、プール、マリンスポーツ、スキー・スケート、ゴルフ、サーキット、その他スポーツ
ペット	ペットショップ、ペット病院、ペット美容院、ペットホテル、ペット霊園・葬祭、ペットと泊まれる宿泊施設、ペットと泊まれるキャンプ場、ペットと入れるレストラン、ペットと行ける観光名所、ドッグスクール、ドッグラン&ドッグスパ、その他ペット
冠婚葬祭	冠婚葬祭場、結婚式、霊園・墓地
カーディーラー	カーディーラー各社
自動車	カー用品店、自動車整備工場、中古車販売、中古車買取、洗車、運転代行サービス、レッカーサービス、ロードサービス、レンタカー、レンタルバイク





地図データベースについて

- 本地図データベースは、2010年10月現在のデータを収録しています。
- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認 90-063) [2010年3月発行データ使用]
- このプログラムは、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである(承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日)
- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の1/2,500国土基本図を使用したものである。(承認番号) 小田原市指令第52号 平成10年4月2日承認
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用したものである。(測量法第44条に基づく成果使用承認 平成12年度 知都発第170号)
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用したものである。(平成12年 養建第1902号)
- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500全図を使用し、調製したものである。(承認番号) 平10. 近公. 第34号
- この地図は、大木町長の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。(承認番号 15大木建第734号)
- この地図は、堀金村長の承認を得て1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。(承認番号 16堀第5417号)
- この地図は、東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図1/2,500を使用し、調製したものである。(承認番号 東開第111号 平成18年2月28日承認)
- この地図は、伊香保町長の承認を得て平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。(承認番号 伊建農発229号 平成17年7月14日承認)
- この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものである。(承認番号: 18東デ共041号)
- この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。(承認番号) 18都市基交 第478号
- この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画(1/2,500)を使用し調製したものです。(承認番号 平成17年津山市使用承認第5号)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号) 指令宇都第13号 平成18年5月15日承認
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号) 指令宇都第14号 平成18年5月31日承認
- この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。(承認番号) 周防建設第56号 平成18年5月12日承認
- この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図1/10,000及び東かがわ市都市計画図1/2,500を使用して調製したものである。(承認番号平成18年5月2日18建第107号)
- この測量の成果は、東温市長の承認により、平成17年3月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。(承認番号 H18東温都第174号)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第350号 平成18年9月19日承認)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第611号 平成19年2月28日承認)
- この地図は、秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号 平成19年3月7日指令水緑-1258
- この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。承認番号 森第18-10号
- この地図は、長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図1/10,000を使用して調製したものである。(長都政第477号 平成18年3月28日承認)
- この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。使用承認 平成19年3月1日 森整第1561号
- この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。(承認番号 18森政第5-5号)
- この地図は、島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成18年11月24日付け森第1286号)
- この地図は、島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成19年2月27日付け森第1736号)
- この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(広島県使用承認林振第115号 平成19年2月15日承認)
- この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第484号 平成19年1月30日承認)
- この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 森整第010634号 平成18年10月4日承認)



- この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図（1/5,000）を使用し調製したものである。（承認番号 18林第492号（平成18年10月6日））
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。（承認番号 森整第993号・平成19年2月14日）
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。（承認番号 森整第1079号・平成19年3月7日）
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。（承認番号林18-1 平成18年12月5日）
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。（承認番号林18-2 平成19年3月7日）
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。（承認番号 使18-1号 平成18年12月8日）
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。（承認番号 使18-3号 平成19年3月8日）
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。（承認番号 平18 林振第360号）
- この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の1/5,000全図を使用し、調製したものである。（承認番号）平成18年5月26日知耕第590号
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用したものである。（承認番号）平19総使、第24号-46号
- この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の5千分の1森林基本図を使用しました。（測量法第44条第3項の規定に基づく成果使用承認 平成19年8月8日付、承認番号 林政19-482号、茨城県林政課長）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用したものである。（承認番号 平19総使、第247号-46号）
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。（承認番号 平成18年11月30日 指令水緑-947）
- この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の10000分の1の全図を使用し、作成したものである。（承認番号 笛まち第12-25号 平成19年12月13日承認）
- この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ（18国地部公発第334号）を使用したものである。（承認番号 情企第590号 平成20年3月24日承認）

- この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものである。（承認番号 平成19年2月14日付け 18高森推第568号）
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。（承認番号 平19 林振第404号）
- この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成19年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。（承認番号）平21樽港事第33号
- この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の5000分の1の森林基本図を複製したものである。（承認番号）平成21年森計第477号
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。（承認番号 平18 林振第497号）
- この地図は、東根市長の承諾を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調製したものである。（承認番号 東建収第8号 平成21年5月27日承認）
- 駐車場データは、株式会社IMJモバイルが提供する2009年10月現在のデータを使用しています。
- タウンページデータは、NTT情報開発株式会社が提供する2010年3月現在のデータを収録しています。
- ハローページデータは、日本ソフト販売株式会社が提供するBellemax2010年3月現在のデータを収録しています。

注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- 本製品に収録されている交通規制データは2010年3月現在のものです。
本データが実際の交通規制と異なる場合は、実際の交通規制に従ってください。
- 収録するデータはその正確性を保証するものではありません。
データ内容の誤りに対して、取替え、代金の返却はいたしかねます。
- 本データを使用したことによって生じたお客様および第三者のいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねます。



その他の資料

ソフトウェア使用許諾書

- 本ソフトを株式会社ケンウッドに無断で複写、複製、加工、改変または解析することはできません。
- 本ソフトを有償で第三者に譲渡、レンタル、再使用許諾することはできません。
- 本ソフトを使用、または使用できなかったことによる派生的、付随的、間接的損害については何らの責を負いません。
- 本ソフトを業務用として使用することはできません。
- 本ソフト内容は予告なく変更または改変されることがあります。
- 本ソフトの使用許諾条件は、購入者および使用者、無償で譲り受けた転得者にも適用されます。

施設情報及び個人情報（電話番号）について

- 電話番号検索は、タウンページのデータを使用しています。
- これらの情報は本ソフト作成後、変更されている場合があります。
- 本ソフトに格納されるあらゆるデータ、個人情報については、購入者の責任において使用するものとし、当社は何らの責を負いません。また、これらの情報に誤りがあった場合でも、当社は何らの責を負いません。

なお、個人情報の削除・掲載・修正に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター（裏表紙）にご連絡ください。



VICSサービスの問い合わせ

VICSサービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- VICSの仕組みやサービスエリアなどについて
- 文字情報（レベル1）、簡易図形情報（レベル2）の情報表示について

<問い合わせ先>

（財）VICsセンター

サービスサポートセンター

電話受付時間	9:30 ~ 17:45（但し土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く）
電話番号	0570-00-8831（ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます）
FAX受付時間	24時間
FAX番号（全国）	03-3592-5494

- VICS関連商品の機能や使用方法について
- サービスエリア内の受信可否について
- 地図表示（レベル3）の情報表示について

<問い合わせ先>

株式会社ケンウッド

カスタマーサポートセンター

ナビダイヤル 0570-010-114

（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）

携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8960

FAX 045-450-2287

住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30

（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

- VICSの最新情報について

VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。

インターネットURL <http://www.vics.or.jp/>

なお、お問い合わせ先の判断に迷う場合は、（株）ケンウッド・カスタマーサポートセンター（またはお買い上げの販売店）までご連絡ください。

VICSリンクの更新について

VICSセンターでは、レベル3の情報の収集と提供に、VICSリンク（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合、VICSリンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。

この結果、新しいVICSリンクによる情報の提供が行われると、変更前のVICSリンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSリンクに対しても変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。



- VICSリンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新についてはケンウッド・カスタマーサポートセンターやお買い上げの販売店にご相談ください。



VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICs情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICs情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICs情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICsサービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICsサービス契約

当センターからVICsサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICsサービス契約を締結した者

(4) VICsデスクランブラー

FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICsサービスの種類)

第4条 VICsサービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICsサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICsサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICsデスクランブラー 1台毎に1のVICsサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICsサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。

ただし、そのサービス提供区域内であっても、電波の状況によりVICsサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICsサービスは、VICs対応FM受信機（VICsデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICsサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICsサービスの種類に対応したVICs対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICsサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICsサービス契約を解除したものとみなします。

(1) 加入者がVICsデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2) 加入者の所有するVICsデスクランブラーの使用が不可能となったとき



(当センターが行う契約の解除)

第12条 1. 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICsサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICsサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2. 第11条又は第12条の規定により、VICsサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICsサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICsサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICsサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICsサービスの利用を中止することがあります。

2. 当センターは、前項の規定によりVICsサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICsサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICsサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。

また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICsサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但し、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICsサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2. VICsサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICsサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICsサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金315円(うち消費税15円)

ただし、車載機購入価格に含まれております。



地上デジタルテレビ放送について

地上デジタル放送の受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルテレビチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたりする場合があります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声か乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声か乱れる場合があります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を動作させると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 本機は、双方向データサービスおよびデータ放送には対応していません。

以下の点にご注意ください。

- メールなどの地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に記憶されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償はできません。
- 本機はARIB（電波産業会）規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- ビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったりそれに関与してはいけません。
- 本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。



ディスクについて

本機で再生できるディスクメディア

本機では、下表「ディスク再生対応一覧表」で「○」が表示されているディスクを再生できます。

ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	説明
DVD	DVDビデオ	○	—
	DVDオーディオ	×	—
	DVD-R	○	—
	DVD-RW	○	—
	DVD+R	○	MP3/WMA/AAC/WAV 再生
	DVD+RW	○	VRモード対応 (DVD-R/RWのみ)
	DVD+R DL (2層)	○	CPRM対応
	DVD-R DL (2層)	○	—
	DVD-RAM	×	—
CD	音楽CD	○	8cmディスク非対応
	CD-ROM	○	MP3/WMA/AAC/WAV 再生
	CD-R	○	MP3/WMA/AAC/WAV 再生
	CD-RW	○	パケットライト非対応
	DTS-CD	×	—
	ビデオCD、スーパービデオCD	×	—
	フォトCD	×	—
	HDCD	△	通常の音楽CDの音質
その他	CCCD	×	—
	デュアルディスク	×	—
	スーパーオーディオCD	△	CD層のみ再生可能

○：再生できます

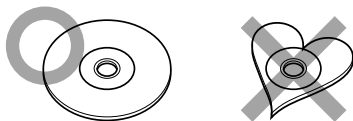
△：一部のみ再生できます

×：再生できません

- 本機で再生可能な音楽CDは    マークの入ったCDだけです。前記マークの入っていないディスクは、正しく再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理を行っていないCD-R/RWおよびDVD-R/RWは再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。
- その他、CD-R/RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWは、記録状態によっては再生できない場合があります。

使用できるディスク

特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

レーベル面にシールの貼ってあるディスクを使用すると、ディスクが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるディスクは使用しないでください。

インクジェットプリンタでレーベル面に印刷可能なCD-R/RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ連絡してください。



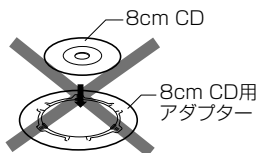
ディスクについて

ディスク用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDアダプターは使用しないでください。
8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。



レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

ディスクが取り出せないときは

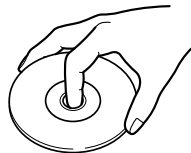
1 メッセージが表示されるまで （オープンキー）を押し続けます。

2 [はい]にタッチします。



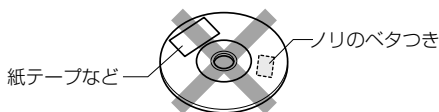
ディスクの取り扱いについて

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いには記録面に触れないようにしてください。（レーベルが印刷されていない面が記録面です。）



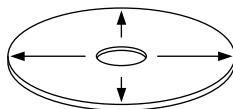
CD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクより反射膜が弱いので、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がディスクのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。
ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。



ディスクのお手入れ

ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。





ディスクの保存

直射日光があたる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高くなる場所には置かないでください。

特にCD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクに比べて高温、多湿の環境に弱く、車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

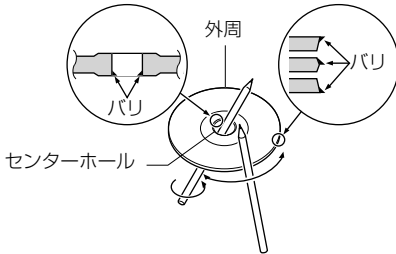
長期間演奏しないときは、本機からディスクを取り出して、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入らずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

新しいディスクを使うときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。

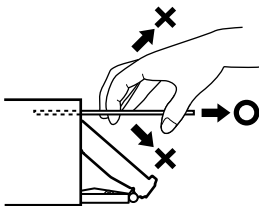
“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



ディスクの取り出しかた

本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。



DVDのリージョン番号

本機で再生できるDVDリージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または2を含むもの）と「ALL」です。

DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

DVDディスクのマーク

記号	内容
	リージョン番号を表します。このマークが付いているディスクはどのDVDプレーヤーでも再生できます。
	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。
	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、お好みのアングル（角度）で見ることができます。
	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ（4:3）で見た場合、ワイド映像（16:9）は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

操作規制マークについて

DVDは、再生箇所により本機での再生操作等規制される場合があります。このようなときは下記のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。





メディアおよびファイルについて

本機で再生できるオーディオ/ビデオファイル

本機で再生できるメディアとオーディオ/ビデオファイルの種類は以下の表でご確認ください。

	ファイル拡張子	音声形式	映像形式	CD	DVD	USB	SD
オーディオ	.mp3	MP3	—	○	○	○	○
	.wma	WMA	—	○	○	○	○
	.m4a	AAC	—	○	○	○	○
	.wav	WAV	—	○	○	○	○
	.fla/.flac	FLAC	—	×	×	○	○
ビデオ	.avi/.mp4	AAC	H.264/AVC	×	×	○	○
		MP3	MPEG4	×	×	○	○
	.wmv	WMA	WMV	×	×	○	○

CD、DVDについては175 ページの「ディスクについて」もお読みください。

○：再生できます

×：再生できません

● .mp3ファイル

- フォーマット：MPEG 1/2 Audio Layer 3
- ビットレート：32kbps～320 kbps (VBR対応)
- サンプリング周波数：16/ 22.05/ 24/ 32/ 44.1/ 48 kHz
- ジョイントステレオ：対応
- ID3タグ：1.0(*¹)/ 1.1(*¹)/ 2.2(*²)/ 2.3(*²)/ 2.4(*²)
*¹:半角30文字、*²:半角128文字

● .wmaファイル

- フォーマット：Windows Media Audio Standard L3 Profile
- ビットレート：32～320 kbps
- サンプリング周波数：16/ 22.05/ 32/ 44.1/ 48kHz
- WMA-Tag：全角/半角64文字 (Unicodeの2バイト文字)
- ※ DRM/Professional/Lossless/Voiceは非対応

● .m4aファイル

- フォーマット：MP2/4 AAC-LC
- ビットレート：32～320 kbps/VBR
- サンプリング周波数：16/ 22.05/ 32/ 44.1/ 48kHz
- タグ：iTunes m4aメタデータ
- ※ DRM/マルチチャンネルは非対応
iTunesで作成したAACファイルのみ再生可能

● .wavファイル

- フォーマット：RIFF waveform Audio Format (Linear PCMのみ)
- ビット数：16 bit
- サンプリング周波数：44.1 kHz
- チャンネル：モノラル/ステレオ
- タグ：RIFF LISTチャンク
- ※ DRM/マルチチャンネルは非対応

● .fla/.flacファイル

- フォーマット：flacフォーマット
- 圧縮レベル：0/ 1/ 2/ 3/ 4/ 5/ 6/ 7/ 8
- ビット数/サンプル：16bit
- サンプリング周波数：8/ 16/ 22.05/ 24/ 32/ 44.1/ 48 kHz
- チャンネル：モノラル/ステレオ
- タグ：Vorbis Commentに対応



● .avi/.mp4ファイル

H.264/AVC

- フォーマット：MPEG4 AVC/H.264
- プロファイル&レベル：
ベースラインプロファイル
- ピクチャサイズ：720×480 (30fps)
- ビデオビットレート：最大8Mbps
- 音声フォーマット：AAC
- 音声ビットレート：
32 ～ 320 kbps(VBR対応)
- 音声サンプリング周波数：
32/ 44.1/ 48 kHz

MPEG4

- フォーマット：ISO MPEG4
- プロファイル&レベル：
シンプルプロファイルレベル3
- ピクチャサイズ：720×480 (30fps)
- ビデオビットレート：最大8Mbps
- 音声フォーマット：MP3
- 音声ビットレート：
32 ～ 320 kbps(VBR対応)
- 音声サンプリング周波数：
32/ 44.1/ 48 kHz

● .wmvファイル

- フォーマット：
Windows Media Video Version9 MP@ML
- ピクチャサイズ：720×480 (30fps)
- ビデオビットレート：最大 8Mbps
- 音声フォーマット：WMA
- 音声ビットレート：32kbps～ 320kbps
- 音声サンプリング周波数：
32/ 44.1/ 48 kHz

ご使用上の注意事項

- オーディオ/ビデオファイルのフォーマットによっては、本機で再生/表示できない場合があります。
- CD-DAとオーディオファイルを1枚のディスクに記録した場合、CD-DA部分のみが再生されます。
- 内蔵メモリ、SDカード、またはUSB機器内のオーディオ/ビデオファイルは、破損する場合があります。必ずバックアップを作成しておいてください。ファイルが失われたことによる損害につきましては、当社は一切補償いたしません。



メディアおよびファイルについて

本機で再生できるメディア

本機で再生するオーディオ/ビデオファイルを記録するメディアに関する注意事項を説明します。

(1) 使用できるメディア

使用できるディスク

使用できるオーディオファイルを収録するためのメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWです。

使用できるUSB機器

本機で使用できるUSB機器の条件は次のとおりです。

- USB1.1 / 2.0
 - MSC (USBマストストレージクラス) 対応品
 - 最大消費電流が1A以下
- 上記を満たしていないUSB機器は接続しないでください。正しく再生できません。
- また、上記を満たしているUSB機器でも、機種や状況によって、正しく再生できない場合があります。
- なお、さらに詳細な情報については、http://www.kenwood.co.jp/faq/ce_navi/index.html をご覧ください。

使用できるSDカード

本機で使用できるSDカードの条件は次のとおりです。

- SD/SDHC仕様準拠
- なお、さらに詳細な情報については、http://www.kenwood.co.jp/faq/ce_navi/index.html をご覧ください。

(2) 使用できるフォーマット

ディスクフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

- ISO 9660 Level 1
- ISO 9660 Level 2
- Joliet
- Romeo
- UDF 1.02/1.50/2.00/2.01/2.50

使用できる文字は、ライティングソフトの説明書および下記「(3) ファイル名とフォルダ名の入力」をご覧ください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 1フォルダ中の最大ファイル数：999
- 最大フォルダ数：250

前記のフォーマット以外で書き込まれたオーディオファイルやビデオファイルは、正常に再生されなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

USB機器およびSDカードのフォーマット

本機で使用できるUSB機器およびSDカードは、以下のフォーマットです。

- FAT32、FAT16、またはFAT12

ただし、本機で再生できるUSB機器およびSDカードには以下の制限があります。

- 1フォルダ中の最大ファイル数：999
- 最大フォルダ数：9999

(3) ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数字、カナ文字、または日本語で入力できます。これら以外の文字で入力されたファイル名およびフォルダ名は、正常に表示されません。また、使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

また、オーディオファイルやビデオファイルと認識されて再生されるファイルは、".mp3"、".wma"、".m4a" (".aac")、".wav"、".fla" (".flac")、".avi"、".mp4"、".wmv" の拡張子が付いたものだけです。各形式のファイルには、正しく 拡張子を付けてください。

なお、本機で表示できる文字数はファイル名によって異なります。



禁止

MP3/ WMA/ AACファイル以外に "mp3" などの拡張子を付けると、MP3/ WMA/ AACファイルと誤認識して再生されてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。

MP3/ WMA/ AACファイル以外に、"mp3"、"wma"、または "m4a" 拡張子を付けなくてください。

(4) ID3/ WMA Tagについて

本機で表示できるID3 Tagは、ID3 Tag v1.x、2.2、2.3、または2.4規格で記録された曲名、アーティスト名、およびアルバム名です。また、表示できる文字種は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。



(5) メディアに収録するファイルについて

本機は、オーディオファイルやビデオファイルが収録されているメディアを挿入/接続すると、最初にメディア内のすべてのファイルをチェックします。このため、再生するメディアに多くのフォルダやオーディオファイルやビデオファイル以外のファイルを書き込むと、再生するまで長時間必要になります。

また、次のオーディオファイルやビデオファイルの再生に移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

(6) 著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。

個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権所有者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

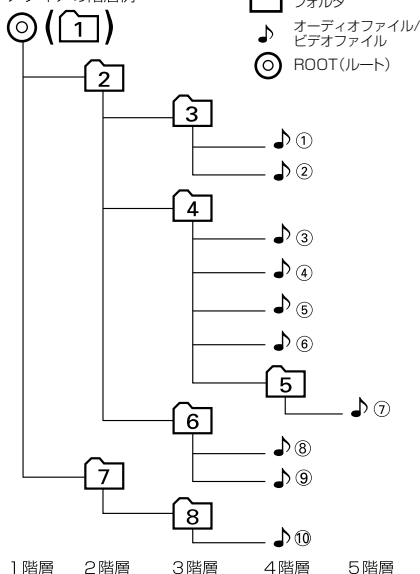
(7) オーディオ/ビデオファイルを再生する順番

再生、ファイルスキップ、フォルダスキップでファイルやフォルダが選択される順番は、ディスクではライティングソフトで書き込まれた順番、USB機器およびSDカードではファイル名の昇順です。このため、再生されると予想していた順番と実際に再生される順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭に再生する順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、再生する順番を設定することがあります。

以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は、次のようになります。

メディアの階層例



(8) ご使用上の注意事項

- 本機で再生するオーディオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ自体で、ファイルが破壊される場合があります。
- USBケーブルを延長する場合は、USB延長ケーブルセットCA-U1EX（別売品）をご使用ください。USB規格以外のケーブルを使用したり、総延長が5mを超えると、USB機器が正常に動作しなくなる場合があります。
- USB機器やSDカードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- USBハブを介してUSB機器を認識させることはできません。
- マルチカードリーダーをご使用の場合は、複数のSDカードを挿さないでください。
- 2つ以上のパーティションに分かれているUSB機器は使用しないでください。



iPodについて

本機でコントロールできるiPodについて

別売品のiPod接続ケーブル (KCA-iP302) を使用して接続すると、本機からiPodのコントロールが行えます。

本機からコントロールできるiPodは以下のとおりです。(2010年12月現在)

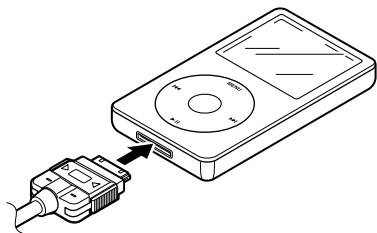
Made for

- iPod nano (6th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (1st generation)
- iPod with video
- iPod classic
- iPod touch (4th generation)
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1st generation)
- iPhone 4
- iPhone 3G
- iPhone 3GS

●本書では上記iPodおよびiPhoneをまとめて「iPod」と呼びます。また、ビデオ対応iPodを区別する場合には「iPod Video」と呼びます。

●本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。

●本機に別売品のiPod接続ケーブル (KCA-iP302) を使用してiPodを接続すると、iPodに電源を供給し、音楽を再生中でも充電ができます。ただし、本機の電源がオンになっている必要があります。





Bluetoothについて

Bluetoothの対応プロファイル (MDV-727DTのみ)

本機は、以下のプロファイルに対応しています。

対応プロファイル

- HFP (ハンズフリープロファイル)
- OPP (オブジェクトプッシュプロファイル)
- PBAP (フォンブックアクセスプロファイル)
- A2DP (高度オーディオ配信プロファイル)
- AVRCP (オーディオ/ビデオリモート制御プロファイル)

対応バージョン

Bluetooth標準規格Ver.1.2準拠

- HFPは、ハンズフリー通話するためのプロトコルです。
- OPPは、電話番号などのデータを1件ずつvCard形式で伝送するためのプロトコルです。
- PBAPは、電話帳のデータをvCard形式で伝送するプロトコルです。
- A2DPは、オーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。
- AVRCPは、オーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。

対応の携帯電話機について

本機のBluetoothの仕様

対応バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.2.0+EDR準拠
対応プロファイル	HFP (Hands Free Profile) OPP (Object Push Profile) PBAP (Phonebook Access Profile)

動作を確認した携帯電話機についてはURLをご覧ください。

<http://www.kenwood.com/cs/ce/bt/>



- Bluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。

対応のBluetoothオーディオプレーヤーについて

本機のBluetoothの仕様

対応バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.2.1+EDR準拠
対応プロファイル	A2DP* (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

* コンテンツ保護方式のSCMS-T対応



- SCMS-TとはA2DP (オーディオプレーヤー)などでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことができる機能です。



故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
	入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
	暗証番号設定されている。	設定した暗証番号を入力してください (P20)。
デモスライドが始まった。	店頭デモの表示が“する”に設定されている。	店頭デモの表示を“しない”に設定してください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください (P126)。
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト、明るさを調整してください (P126)。
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください (P126)。
リアビューカメラに切り替わらない。	リアビューカメラが正しく接続されていない。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
	リアビューカメラの設定が“なし”になっている。	CMOS-300を接続しているときはリアビューカメラの設定を“CMOS-300”に、その他の市販品を接続しているときは“その他”にしてください (P144)。
音が出ない/音が小さい。	バランス、フェダーが片方に寄っている。	バランスやフェダーを正しく調整してください (P131)。
音質が悪い(音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	スピーカーの配線を確認してください。
	スピーカーの配線が間違っている。	スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。



ナビ機能

症状	考えられる原因	対処方法
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	—
	市街地図が表示可能なスケールになっていない。	市街地図が表示されるのは、50m以下のスケールです。
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。	ランドマーク情報が表示されるのは100m以下のスケールです。
地点登録できない。	すでに300か所登録されている。	不要な登録地点を削除してください(☞ P71)。
経由地を設定できない。	すでに4か所が設定されている。	不要な経由地を削除してください(☞ P63)。
	目的地が設定されていない。	目的地を先に設定してください。
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているときに、さらに目的地を設定した。	目的地を設定しなおしてください。
4種類のルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。
住所検索で番地を指定できない。	地域によっては番地を指定できない場合がある。	付近を検索して、地図上で探してください。
地点検索した場所が履歴に記憶されていない。	ルート探索していない。	ルート探索していない場所は記憶されません。
	履歴に記憶されたのが最近の50か所よりも古い。	履歴として記憶されるのは、50か所までです。
シミュレーションが目的地まで到達しない。	—	ルートの距離が長い場合は、目的地に到達せずにシミュレーションのスタート地点に戻ることがあります。
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y字路を通過したときに、実際と異なる道路にマップマッチングされた。	しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
	GPSアンテナの設置場所が悪い。	GPSアンテナの設置場所を確認して、アンテナの設置場所を変更してください。
	本機がしっかりと固定されていない。	お買い上げの販売店で、本機をしっかりと取り付けなおしてください。
	タイヤを交換した。	タイヤ交換を行ったときは、センサーの学習を初期化してください(☞ P80)。初期化してしばらくは自車位置がずれることがあります。しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
自車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図(50m～10mスケール)を表示している。	市街地図のまま走行すると、道路外に表示されてしまう場合があります。



故障かなと思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
VICSの地図表示情報（レベル3）が表示されない。	地図のスケールが不適切。	VICSの地図表示情報（レベル3）を表示できるのは、10m～1km（一般道は10m～500m、一般道の駐車場情報は10m～200m）のスケールです。
	—	VICSの受信状態が悪い場合は、表示できません。
	VICS局からの電波を受信できていない。	自動選局に切り替えてください（※ P77）。
VICS情報が割り込み表示されない。	割り込み表示が“しない”に設定されている。	VICS設定画面で、割り込み表示を“する”に設定してください（※ P78）。
	ビーコンアンテナが接続されていない。	光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99（別売品）を接続してください。
最適時間考慮をオンに設定しているが、渋滞している道路が回避されない。	他の道路よりも、現在のルート上の道路を通るほうが渋滞していても早い。	最適時間考慮は、渋滞道路を回避するのではなく、渋滞を考慮に入れた上で最短時間になるように探索されます。
	ビーコンアンテナが接続されていない。	光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99（別売品）を接続してください。
	現在提供されているVICS情報が少なく、別のルートが探索できない。	—
夜の地図色が表示されない。	“昼色に固定”に設定されている。	“イルミに連動”に設定してください（※ P29）。
	イルミネーションコードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、正しく接続してください。
音声案内されない。	ルート案内の音声出力が“しない”に設定されている。	ルート案内の音声出力を“する”に設定してください。
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。	現在地 を押してナビモードに切り替えてください。
	画面がオフになっている。	現在地 を押すか、画面にタッチしてください。
表示中の地図画面が回転する。	地図の向きがヘディングアップに設定されている。	ヘディングアップに設定すると、地図を回転して、進行方向を常に上方向に表示します。
自車マークが動かない。	車速検出コードが接続されていない	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
実際の道路と案内が違う。 ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。 また、目印となるランドマークを省略して表示する場合もあります。
遠回りなルートを探索する。	細い道や整備されていない道路の近くにいる。	大きな道路や整備されている道路を優先して探索をするため、遠回りなルートを案内する場合があります。
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状況により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。
案内音声が小さい。	—	ナビ音量を大きくしてください（※ P26）。



症状	考えられる原因	対処方法
ナビメニューの「ルート確認/編集」が選択できない。	ルートが探索されていない。	ルート探索が行われている場合に選択できます。
センサー学習が完了しない。	車速パルスの設定が正しくない。	車種により“アナログ”または“デジタル”に設定する場合があります。
	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。

AV機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない。	入出力ケーブルなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で、接続を確認してください。
音質が悪い(音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。
映像が乱れる。	コードやケーブルが干渉している。	モニターの配線の時は、コードやケーブルを束ねないようにしてください。
映像が映らない。	走行中、またはナビ画面を表示中。	走行中、またはナビ画面を表示中は映像を見ることができません。



故障かなと思ったら

ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクの再生中に振動で映像や音が切れる。	取り付け角度が30°を超えている。	30°以内になるように取り付けしなおしてください。
	取り付けが不安定になっている。	しっかりと取り付けなおしてください。なお、駐停車中でも音飛びする場合やディスクの同じところで音飛びする場合は、ディスクに原因があります。
ディスクを再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にして入れなおしてください。
	ディスクが異常に汚れている。	ディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
	本機内部が結露している。	ディスクを取り出し、しばらく放置(約1時間)してから使用してください。
ディスクがイジェクトできない。	ディスクがイジェクト途中で止まっている。	強制イジェクトを行ってください(☞ P176)。
CD-R、CD-RWが再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーのマニュアルをご覧ください。
DVDの禁止マーク“Q”が画面に表示されて、操作ができない。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作を行っている。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作をしたときは、禁止マークが表示されます。禁止マークの表示中は操作はできません。
トラックなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。
CDのタイトルが表示されない。	楽曲データベースに情報がない。	楽曲データベースを更新してください(☞ P140)。



ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルを再生できない。	ディスクフォーマットが、本機で再生できないフォーマットで記録されている。	再生できるディスクフォーマットを確認してください(☞ P180)。
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください(☞ P178)。
	ディスクに傷や汚れがある。	 (オープンキー)を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ファイルを再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	 (オープンキー)を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ファイルの再生が始まるまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。	最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。

地デジ

症状	考えられる原因	対処方法
何も受信できない。	アンテナが正しく接続されていない。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	スキャンされていない。	● 初期セットアップを行ってください(☞ P88)。 ● 現在地を設定してください(☞ P88)。 ● スキャンしなおしてください(☞ P98)。
字幕が表示されない。	字幕が放送されていない。	—
	字幕が[表示しない]に設定されている。	字幕を表示するように切り替えてください(☞ P100)。
地上デジタル放送が受信できない。	車の場所が、地上デジタルテレビ放送の放送エリアではない。	—
	地上デジタルテレビ放送は、現在のアナログテレビ放送との混信を避けるために受信エリアが限られています。また、受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	使用しているチャンネルリストが車の場所のエリアの放送チャンネルと合っていない。	再度、チャンネルをスキャンしてください(☞ P98)。
映像が乱れる。 映像が止まる。 音声途切れる。	障害物や放送局からの距離等によって、受信状態が悪くなっている。	● 見通しのいい場所に移動してください。 ● ワンセグに切り替えてください(☞ P90)。
	ワンセグ/12セグを切り替えた。	受信モードの切替時に映像等の乱れが発生する場合がありますが、故障ではありません。



故障かなと思ったら

iPod

症状	考えられる原因	対処方法
iPodが認識されない。	iPod接続ケーブルKCA-iP302（別売品）が正しく接続されていないか、iPodが正しく動作していない。	iPod接続ケーブルKCA-iP302（別売品）を接続してください。それでもiPodが認識されない場合は、iPodをリセットしてください。
iPodをコントロールできない。	iPodにヘッドフォンなどが接続されたまま、本体に接続した。	iPodを本体から取り外し、iPodからすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPodが異常状態になっている。	● iPodメニューに表示されるリセットではなく、iPod本体のリセットを行ってください。 ● iPodを本機から取り外し、iPodの電源を入れなおしてください。
iPodの曲を再生できない。	コネクタが正しく接続されていない。	カチッと音がするまで、しっかりと接続してください。
音が歪む。	iPodのEQ機能（イコライザー機能）がオンになっている。	オフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPodの再生を停止することをお勧めします。
iPodの充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。
本機に接続すると、iPodの操作ができなくなる。	ハンドモードがオフになっている。	本機と接続中は、iPodの操作は本機側から行ってください。 iPod側で操作する場合は、ハンドモードをオンにしてください。

USB/SD

症状	考えられる原因	対処方法
USB機器を認識しない。	USBコネクタが正しく接続されていない。	USB機器やUSBケーブルのコネクタを確実に接続してください。
	USB延長ケーブルが長い場合、データの品質が悪くなっている。	USB延長ケーブルを使用しない接続をしてください。
USB機器やSDカード内のオーディオ/ビデオファイルが再生できない。	オーディオ/ビデオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください（※ P178）。



内蔵メモリ

症状	考えられる原因	対処方法
再生が始まらない。	楽曲データベースにアクセス中です。	楽曲情報を取得してから再生されるため、始まるまでに少し時間がかかる場合があります。
CDを内蔵メモリに録音できない。	SCMSによるコピー制限がかかっているCDを録音しようとした。	コピー制限がかかっていないCDを使用してください。

Bluetoothオーディオ

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetoothオーディオプレーヤーが登録できない。	パスキーが合っていません。	Bluetooth対応オーディオプレーヤーによっては、パスキーが固定されている場合があります。 Bluetooth対応オーディオプレーヤーの取扱説明書にパスキーが記載されている場合は、そのコードを設定してください ( P151)。 記載されていない場合は"0000"を試してください。
Bluetoothオーディオプレーヤーの音が途切れる。	本機とBluetooth対応オーディオプレーヤーの距離が遠すぎます。	Bluetooth対応オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。
	他のBluetooth機器が通信を妨げています。	他のBluetooth機器の電源をオフにしてください。 または、他のBluetooth機器を遠ざけてください。
	他のBluetooth機器と通信中です。 または、他のプロファイルで通信中です。	たとえば、電話帳のダウンロード中などには、音声途切れる場合があります。

ハンズフリー

症状	考えられる原因	対処方法
ハンズフリー通話の受話音量が小さい。	音量調整が小さくなっています。	通話中にボリュームキーで調整してください。



故障かなと思ったら

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。 サービスセンターにお問い合わせください。	ケンウッドサービスセンターにご相談ください。
暗証番号が違います。 番号を再入力してください。	正しい暗証番号を入力してください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。 問題が解消されない場合は サービスセンターにお問い合わせください。	取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、ケンウッドサービスセンターにご相談ください。
地デジアンテナに異常があります。 接続を確認してください。	地デジアンテナケーブルの配線がショートしています。配線を確認してください。
GPSアンテナに異常があります。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
車速パルスに異常があります。 サービスセンターにお問い合わせください。	取付説明書を参照して、車速検出コードの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

ナビ

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	● ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。 ● 探索条件を「一般」以外にしてください。

VICS

メッセージ	対処
電波が弱いと周波数が違うため、VICS情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。またはVICS放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

ETC

メッセージ	対処
ETCに異常が発生しました。販売店にお問い合わせください。(04)	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC車載器との接続を確認してください。	接続が正しいことを確認しても、問題が解決されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCカードが読めません。 ETCカードが読めません。(02)、(03)、(05)	● 差し込まれたカードがETCカードかどうか確認してください。 ● カードが正しい向きで差し込まれているか確認してください。 ● カードの金属端子面をきれいにふいてから差し込んでください。 問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCカードが挿入されていません。 ETCカードが挿入されていません。(01)	ETCカードを差し込み直してください。または料金所の係員の指示に従ってください。



ETCがセットアップされていません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCをご利用できません。 ETCをご利用できません。(06)、(07)	ETCカードを差し込み直してください。または料金所の係員の指示に従ってください。
中断しました。	故障ではありませんのでもう一度操作してください

カメラ

メッセージ	対処
CMOS-300と通信できません。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、CMOS-300の接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

AV（共通）

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません	再生できるファイルはMP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/MP4/AVIです。(DiscはFLAC再生できません)
走行中は音声のみお楽しみください	走行中は映像を見ることができません。
音声は再生できません	音声は再生できない動画ファイルです。
ファイルが再生できません	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。

AV（Disc）

メッセージ	対処
ディスクが読めません。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。再生可能なディスクを挿入してください。
リージョンコードエラー	ディスクのリージョンコードを確認してください。リージョンコード「2」（または2を含むもの）と「ALL」のディスクが再生できます。
ローディングエラー/イジェクトエラー	強制イジェクトを実行してください（ P176 ）。 または、ケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。
録音可能なアルバム数の上限を超えています。	録音できるアルバムは最大999枚までです。 不要なアルバムを削除してから録音してください（ P112 ）。
録音を続行できないため、録音を中断しました。	再度録音し直してください。
空き容量不足のため、これ以上録音できません。	不要な楽曲を削除してから録音してください（ P112 ）。 空き容量や残り録音可能時間は、録音設定画面で確認できます（ P111 ）。

AV（地デジ）

メッセージ	対処
チャンネルが登録されていません。	プリセット切り替えをするには、初期スキャンを実行してください。

Bluetooth

メッセージ	対処
空き容量不足のためこれ以上登録できません。	本機に登録できる電話帳は最大500件までです。不要な電話帳の登録を削除してください（ P156 ）。



用語解説

ナビ関係

ナビ関係の主な用語を解説します。ここで解説されていない用語は、巻末のキーワードインデックスから説明ページを探すことができます。

GPS

GPSは、Global Positioning System（グローバル・ポジショニング・システム）の略称です。GPSは、米国国防総省が開発運用しているシステムで、3つ以上のGPS衛星から地上に放射される電波を同時に受信して、現在の位置を知ることができます。

VICS

VICSは、Vehicle Information and Communication System（道路交通情報通信システム）の略称です。事故の情報や渋滞状況、駐車場の空き情報などを表示することができます。

オートリルート

ルート案内中に、ドライブルートから外れてしまったとき、自動的にルートを探す機能です。

車速パルス

自動車から出力される信号で、ナビは走行距離の計測に利用しています。

また、車速パルスと本機に内蔵されているジャイロスコープによって、トンネル等のGPS衛星からの電波を受信できないところでも測位できるようになっています。

自車

本機を取り付けているお客様のお車のことです。

スマートIC

SA/PAやバス停などに設置されたETCのインターチェンジゲートです。

測位

GPS衛星からの電波を受信して、自車の位置を算出することです。

ルート

目的地と経由地の設定に従って本機が探索した道筋です。ドライブルートは、ユーザーが編集することはできません。

マップマッチング

測位誤差があっても、自車位置が道路から外れにくくする処理です。

目的地/経由地

本機では、5か所までの行き先を設定して、ルート探索/ルート案内できます。5か所の行き先のうち、最後に行く場所を目的地といいます。

経由地は、設定した順に、経由地1、経由地2・・・経由地4となり、この順に通るようにルート探索されます。

ランドマーク

お店や施設などを、地図上で見やすくするためにマークで表した目印です。



AV関係

AV関係の主な用語を解説します。ここで解説されていない用語は、巻末のキーワードインデックスから説明ページを探すことができます。

AAC

「Advanced Audio Coding」の略称で、高圧縮かつ高音質が特長の音声圧縮方式です。

B-CASカード

地上デジタルテレビ放送を受信するために必要なICカードです。

さらに詳しい情報は、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのホームページ (<http://www.b-cas.co.jp/>) をご覧ください。

DTA

Digital Time Alignmentの略。

距離の異なるスピーカーから出た音がリスナーに同時に届くように聴こえるようにデジタル処理する技術です。本機では、車両DTA(※ P132)とポジションDTA(※ P129)を設定します。

DRM

Digital Rights Management (デジタル著作権管理) の略で、音楽や映像等のデジタルデータを正当なユーザー以外がコピーや再生することを制限する技術です。

D (ダイナミック) レンジコントロール

ドルビーデジタルで収録されたDVDビデオの場合、大音量シーンで音量を下げても、セリフなどの比較的小さな音を明瞭に聞き取ることができる機能です。

FLAC (フラック)

Free Lossless Audio Codecの略称で、可逆的な音声圧縮フォーマットです。

MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer 3」の略称で、音声圧縮方式の国際規格です。

MPEG (エムペグ)

規格を作成した組織「Moving Picture Experts Group」の略称で、ビデオ、オーディオ、およびシステムまで含めた国際規格です。

MSC (マストストレージクラス)

追加プログラムなしで、パソコンに外部記憶装置として認識されるUSB機器の規格です。

WMA (ダブルュエムエー)

「Windows Media™ Audio」の略称で、米国Microsoft社が開発した音声圧縮符号化方式です。

WMV (ダブルュエムバイ)

「Windows Media™ Video」の略称で、米国Microsoft社が開発した動画圧縮符号化方式です。

イコライザー

本機には、プリセットイコライザーとグラフィックイコライザーの2種類のイコライザーが内蔵されています。プリセットイコライザーは、下記のジャンルに合わせたトーンカーブを設定します。グラフィックイコライザーは、5バンドで±9dBの範囲できめ細かく調整できます。

コミュニティFM局

市町村や政令指定都市の行政区内の一部地域を放送対象とする放送の形態です。

タイトル

DVDビデオディスクに記載されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。

チャプター

DVDビデオディスクにタイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。



チャンネル

地デジのチャンネルには、放送周波数と対応する物理チャンネルと、サービスと対応する論理チャンネルがあります。論理チャンネルは3桁の数字で表され、タッチコントロールで指定して選局することができます。

実際の放送では、ワンセグを除いた12セグメントを使って異なる番組が放送される場合があります。このため、それぞれの領域に論理チャンネルが割り当てられています。本書では、上記の論理チャンネルを単に「チャンネル」と表記しています。

物理チャンネルは、受信レベルの確認時以外の地デジの操作では意識する必要はありません。

なお、論理チャンネルのチャンネル番号の順番と物理チャンネルのチャンネル番号の順番は対応していません。

トラック

CDに収録されている曲の区切り（曲分）をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラックナンバーと呼びます。



主な仕様

ナビゲーション部

アンテナ方式	マイクロストリップ平面アンテナ
受信方式	パラレル12チャンネル
受信周波数	1575.42MHz (C/Aコード)
受信感度	-130dBm以下
VICS	FM多重(内蔵)、電波/光ビーコン(別売)

モニター部

画面サイズ	7.0V型ワイド 156.6(幅) × 81.6(高さ) × 176.6(対角) mm
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	1,152,000個 800H×RGB×480V
画素配列	RGBストライプ配列
使用光源(照明方式)	LEDバックライト方式

オーディオ部

最大出力	50W×4
定格出力	29W×4 (4Ω、1kHz、10%THD)
ブリアウト出力 最大出力レベル	
フロント(RCA×1)	1.7Vrms
リア/サブウーファー 切り替え(RCA×1)	2.0Vrms
AV入力(RCA×1)	
映像入力レベル	1Vp-p/75Ω
音声最大入力レベル	2.0Vrms
ビデオ出力(RCA×1)	
映像出力レベル	1Vp-p/75Ω
スピーカーインピーダンス	4～8Ω





主な仕様

地上デジタルチューナー部

受信方式	地上デジタルテレビ放送 (日本) (ワンセグ対応)
受信チャンネル (UHF)	UHF 13 ~ 62ch

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0MHz ~ 90.0MHz (0.1MHz)
実用感度 (S/N : 20dB)	8dBf (0.7 μ V/75 Ω)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522kHz ~ 1629kHz (9kHz)
実用感度 (S/N : 20dB)	27dB μ V

USB I/F部

対応USB	USB1.1/2.0 (High Speed)	
ファイルシステム	FAT16/32	
最大供給電流	1A	
音声フォーマット (MP3)	MP3 (MPEG-1,2 Audio Layer 3)	
音声フォーマット (WMA)	フォーマット	Windows Media™ Audio準拠
	バージョン	WMA (Ver.7,8,9)
音声フォーマット (AAC)	MPEG2/4 AAC-LC, HE-AAC V1	
音声フォーマット (FLAC)	FLAC	
音声フォーマット (WAV)	Linear-PCM	
動画フォーマット (WMV)	WMV + WMA	
動画フォーマット (AVI/MP4)	MPEG4-Video + MP3、MPEG4 AVC/H.264 + AAC	

SDカード部

対応SD	SDHC（最大32GB）	
ファイルシステム	FAT16/32	
音声フォーマット (MP3)	MP3（MPEG-1,2 Audio Layer 3）	
音声フォーマット (WMA)	フォーマット	Windows Media™ Audio準拠
	バージョン	WMA（Ver.7,8,9）
音声フォーマット (AAC)	MPEG2/4 AAC-LC, HE-AAC V1	
音声フォーマット (FLAC)	FLAC	
音声フォーマット (WAV)	Linear-PCM	
動画フォーマット (WMV)	WMV + WMA	
動画フォーマット (AVI/MP4)	MPEG4-Video + MP3、MPEG4 AVC/H.264 + AAC	



DVD/CD部

信号方式	NTSC	
対応ディスク	DVD-VIDEO、DVD-R (VIDEO-MODE/VR-MODE)、DVD-RW (VIDEO-MODE/VR-MODE)、DVD-R DL (VIDEO MODE/VR-MODE)、DVD+R (VIDEO MODE)、DVD+RW (VIDEO MODE)、DVD+R DL (VIDEO MODE)、CD-DA、CD-R/RW、SACD (CD LAYER ONLY)	
リージョン番号	2	
音声フォーマット	DVDプレーヤー	LPCM、Dolby Digital、CD-DA
	DISCデコーダー	MP3 (MPEG-1, 2, 2.5 Audio Layer 3)、WMA (Ver 7, 8, 9)、AAC (MPEG2/4-AAC LC)、WAV (Linear-PCM)
サンプリング周波数	32kHz/44.1kHz/48kHz/96kHz	
量子化ビット数	16/20/24bit (直線)	
周波数特性	5Hz～44,000Hz (DVD96kHzサンプリング、DSP OFF時)	
S/N比	97dB	
ダイナミックレンジ	96dB	
ステレオセパレーション	90dB	

Bluetooth部 (MDV-727DTのみ)

対応プロファイル	HFP 1.5、OPP1.1、PBAP1.0、A2DP 1.2、AVRCP 1.3
SCMS-T	対応

電源/寸法/重量

電源電圧	14.4V (11V～16V)	
最大消費電流	10A	
使用温度範囲	-10～+60℃	
保存温度範囲	-30～+85℃	
本体	外形寸法 (W×H×D)	180mm×100mm×185mm
	埋込寸法 (W×H×D)	178mm×100mm×160mm
	重量	2980g (MDV-727DT)、2960g (MDV-626DT)
GPSアンテナ	外形寸法 (W×H×D)	36mm×12.8mm×33mm
	ケーブル長	5m
	重量	105g

TVアンテナ

アンテナ形状	フィルム型
ケーブル長 (アンテナケーブル)	3.5m×4 (MDV-727DT)、3.5m×2 (MDV-626DT)
アンテナ部 (エレメント外形寸法)	119.5mm×106mm
重量 (ケーブル含む)	約35g (1本あたり)



保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていた
だき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(※ P184) を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。(「ケンウッド全国サービス網」(※ P201) をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。
あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。
本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理のために、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。

● 修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。)

技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。

技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代：修理に使用した部品代です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご遠慮なくお問い合わせください。



ケンウッド全国サービス網

アフターサービスについてのお申し込みは、購入店かお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

2010年12月末現在

北海道			
札幌サービスセンター	☎004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29	☎(011) 807-3003
東北			
仙台サービスセンター	☎984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13	☎(022) 287-0151
関東・信越			
さいたまサービスセンター	☎331-0812	さいたま市北区宮原町1-202	☎(048) 778-8714
千葉サービスセンター	☎277-0863	柏市豊四季512-10-67	☎(04) 7171-3800
横浜サービスセンター	☎226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎(045) 939-6242
八王子サービスセンター	☎192-8525	東京都八王子市石川町2967-3	☎(042) 646-6914
新潟サービスセンター	☎950-0913	新潟市中央区鏡1-5-23	☎(025) 245-2177
大田サービスセンター	☎146-0082	東京都大田区池上2-8-10 プラムビル1F (修理持込専用窓口) 電話でのお問い合わせは、カスタマーサポートセンター（裏表紙をご覧ください）にて承ります。	
中部・甲州			
名古屋サービスセンター	☎481-0041	北名古屋九之坪鴨田121-1	☎(0568) 24-1644
静岡サービスセンター	☎420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎(054) 262-8700
金沢サービスセンター	☎921-8062	金沢市新保本4-65-17	☎(076) 269-2935
近畿・四国			
大阪サービスセンター	☎532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28	☎(06) 6390-8005
高松サービスセンター	☎761-8057	高松市田村町205-1	☎(087) 802-6055
中国			
広島サービスセンター	☎730-0825	広島市中区光南3-9-17	☎(082) 241-0023
九州			
福岡サービスセンター	☎812-0031	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F	☎(092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	☎891-0114	鹿児島市小松原1-5-17	☎(099) 268-0030
沖縄サービスセンター	☎901-2224	宜野湾市真志喜1-11-12 コモンズビル1F	☎(098) 898-3631

サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間 10:00～18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）



キーワードインデックス

《英数字》

数字

1Seg.....	90
3Dヘディングアップ.....	23
12Seg.....	90
12セグ固定モード.....	90

A

AAC.....	178
AVI.....	179
AV-IN.....	84, 124, 125
AV外部ソース.....	124

B

B-CASカードテスト.....	101
Bluetooth.....	146
Bluetooth対応オーディオプレーヤー.....	146, 183
Bluetooth対応携帯電話.....	146, 183
Bluetoothの対応プロファイル.....	183
BT AUDIO.....	84, 159

C

CDの再生.....	18, 84, 106, 178
CMOS-300.....	137, 144

D

DISC.....	18, 84, 102, 106, 108
DSP回路.....	128
DVD-VR.....	102
DVDセットアップメニュー.....	105
DVDの再生.....	18, 84, 102, 178

E

ECOアドバイス説明.....	33
ECO設定メニュー.....	33
ECOデータ.....	33
ECO判定モード.....	33
ECOメニュー.....	32, 33
ETC車載器.....	80
ETC情報.....	79
ETC料金の表示.....	59
ETCレーン.....	56, 59

F

FLAC.....	178
FM VICS局の選局方法.....	77
FM多重放送.....	72

G

GPS.....	80, 160
----------	---------

H

H.264/AVC.....	179
----------------	-----

I

iPodの再生.....	84, 120, 182
--------------	--------------

K

KENWOOD MapFan Club.....	82
KME-VX.....	141

M

miniB-CASカード.....	12, 13
miniB-CASカードID.....	101
miniB-CASカード挿入口.....	15
MP3.....	178

S

SA/PA検索（名称）.....	45
SA/PA検索（路線）.....	46
SDカード.....	19, 84, 116
SDカード挿入口.....	15
SDカード挿入口（地デジアップデート専用）.....	15



U

USB機器 84, 116, 178, 180

V

VICS 171

VICS情報 72, 76, 78

VICS情報ボタン 22

《かな》

あ

アスペクト 126

アップデート（地デジ） 101

アルバムシャッフル（iPod） 120

アルバム情報 107, 115

アングル（DVD） 102

暗証番号 20, 137

暗証番号の変更 21

案内警告音 59

案内ポイント 52, 57

い

行き先の順番変更 62

イコライザー 128, 130, 131

イベントリレー（地デジ） 96, 100

イルミネーション 80, 137, 138

う

運転評価 33

運転履歴 33

え

エコ情報 32

エコ情報インジケータ 32

エコドライブ評点 32

エリアバンド（地デジ） 97

エリアモード（TUNER） 85

お

オーディオファイルの再生（USB/SD） 116

オーディオファイルの再生（ディスク） 84, 108

オーディオブック（iPod） 120

オートアンテナ 8, 19, 137

オート選局（TUNER） 85

オートリルート 58

オープンキー 14

お知らせメッセージ（地デジ） 101

お出かけバンド（地デジ） 97

音声言語（DVD） 102, 103, 105

音量調整（ナビ） 26

音量調整（ナビ以外） 14

音量バランス 131, 135

か

外部ソース 84, 124, 125

画質調整 126

楽曲データ管理 136

楽曲データ管理ソフト 141

楽曲データベースの更新 140

カテゴリ名変更 68

画面オフ 14

簡易AV表示 25

簡易AV表示（AV外部ソース） 124

簡易AV表示（Bluetoothオーディオ） 159

簡易AV表示（CD） 106

簡易AV表示（DVD） 102

簡易AV表示（iPod） 120

簡易AV表示（TUNER） 85

簡易AV表示（USB/SD） 116

簡易AV表示（地デジ） 90

簡易AV表示（ディスク） 108

簡易AV表示（内蔵メモリ） 114

簡易図形型情報 74, 76

観光エリア 43

観光ガイド検索 34

観光ガイドメニュー 43



キーワードインデックス

き

規制情報	56, 76, 78
緊急警報放送（地デジ）	96, 100

く

クイックメニュー	22, 25, 27
クロスオーバー周波数	134

け

経由地	48
経由地の削除	63
経由地の順番変更	62
ケーブルの接続情報	80
現在地図画面	14, 16, 22
検索履歴の削除	50
減衰率	134

こ

交差点案内図	54, 59
高速道分岐イラスト	55, 59
交通情報（TUNER）	85, 87
コントラスト	126
コンパスボタン	22, 23

さ

再スキャン（地デジ）	98, 100
最適時間考慮	51
サウンド設定メニュー	128
サービスキャン	118
サブウーファー	128, 134

し

自車マーク	22, 28
システム設定メニュー	136
自宅	34, 35
自動受信モード（地デジ）	90, 93, 100
自動選局（FM VICS局）	77
字幕言語（DVD）	102, 103, 105
字幕言語（地デジ）	100
シミュレーション	61
車速パルス	80
シャッフル（iPod）	120
車両DTA	132
車両タイプ	128, 132
車両ナンバー	137
ジャンル検索	34, 39
ジャンルの分類	166
住所検索	34, 38
渋滞情報	77, 78
周辺検索	34, 40
主音声（地デジ）	100
受信エリア（地デジ）	100
受信地域設定（地デジ）	100
受信モード（地デジ）	100
手動選局（FM VICS局）	77
情報・設定メニュー	17
初期スキャン（地デジ）	98, 100

す

図形情報の割り込み表示（VICS情報）	78
スケールボタン	22, 24
ステアリングリモコン	137, 139
スピーカー位置	133
スピーカー口径	134
スピーカー構成	128, 133
スペースエンハンサー	128
スマートIC利用	51
スロープ	134

せ

セットアップ（地デジ）	88
-------------------	----



そ

走行軌跡の消去	28
走行軌跡の表示	28
操作ボタン	22, 24
ソース切替画面	17, 84
ソースレベル	128, 135

た

タイトルリピート (DVD)	102
----------------	-----

ち

チャンネルリスト (地デジ)	91
地図記号	164
地図色	28
地図の縮尺	24
地図表示型情報	73
地デジ	84
地デジ操作ボタン	90
地デジの受信	90
地点情報	27
地点情報メニュー	27
地点登録	64
着信履歴	154
チャプターリピート (DVD)	102
チャンネルスキャン (地デジ)	88, 100
中継局サーチ (地デジ)	97
駐車場情報	78

て

ディスク	175
ディスク挿入口	15
ディスクメニュー (DVD)	104
デバイスアドレス (Bluetooth)	150
デバイス名 (Bluetooth)	150
デモ走行	61
電波ビーコン	72
電話帳	155
電話帳の削除	156
電話帳の追加	155
電話番号検索	42

と

登録地点 (カテゴリー変更)	68
登録地点検索	34, 41
登録地点情報	65
登録地点 (電話番号の設定)	67
登録地点の削除	71
登録地点 (名称変更)	67
トラックリピートプレイ (内蔵メモリ)	114

な

内蔵アンプ出力	128
内蔵メモリの再生	84, 114
内蔵メモリへの録音	110

ぬ

ぬけみちの表示	28
---------	----

の

ノースアップ	23
--------	----

は

パーキング検出コード	80
バージョン情報 (ソフトウェア)	81
バージョン情報 (地デジ)	101
バスエンハンス	131
パスキー	150, 151
バスブースト	128
発信履歴	154
バランス	128, 131
番組表 (地デジ)	91, 94
番号検索	34, 42
バンド (TUNER)	85
バンド (地デジ)	97
ハンドモード (iPod)	120, 121

ひ

ビーコンユニット	80
光ビーコン	72
ビデオファイルの再生 (USB/SD)	117
昼画面	29



キーワードインデックス

ふ

ファイルリピートプレイ (iPod Video)	121
ファイルリピートプレイ (USB/SD)	116
ファイルリピートプレイ (ディスク)	108
フェーダー	128, 131
フォルダランダムプレイ (USB/SD)	116, 117
フォルダランダムプレイ (ディスク)	108
フォルダランダムプレイ (内蔵メモリ)	114
フォルダリピートプレイ (USB/SD)	116
副音声 (地デジ)	100
不在着履歴	154
プリアウト端子	128
プリセットイコライザー	130
プリセット切替 (TUNER)	85
プリセットダイヤル	156, 157, 158
プリセットボタン (TUNER)	85, 86
プリセットボタン (地デジ)	90, 99
プレイリスト (DVD-VR)	103
プログラムリスト (DVD-VR)	103
フロントパネルの角度調整	14, 18

へ

ヘディングアップ	22, 23
----------------	--------

ほ

ポイントスクロール	26
方面看板	22, 59
ホームバンド (地デジ)	97
ポジションDTA	129
ボタンの操作音	137

ま

マップコード検索	42
マップマッチング	160
まっぴるコード	44
マニュアル選局 (TUNER)	85
マルチビュー (地デジ)	100

め

名称検索	36
メディア	180
メニュー言語 (DVD)	105

も

目的地	48
目的地検索メニュー	17, 34
目的地削除	63
文字型情報	74, 76
文字情報の割り込み表示 (VICS情報)	78
文字スーパード (地デジ)	100
文字の入力	70

ゆ

ユーザーイコライザー	131
ユーザー情報削除 (地デジ)	101
ユーザー設定の初期化	137
優先探索条件	51
郵便番号検索	42

よ

夜画面	29
-----------	----

ら

ラジオ	85
ランダムプレイ (CD)	106
ランドマーク	22, 27
ランドマーク表示	28

り

リアスピーカー	128
リアビューカメラ	137, 144
リスニングポジション	128, 129
リバース検出コード	80
リピート (iPod)	120
リピートプレイ (CD)	106
履歴検索	34, 41



る

ルート案内の音声出力	59
ルート案内の開始	48
ルート案内の終了	49
ルート全体	60
ルートの再探索	49
ルートの種類	48, 49
ルートメニュー	17

れ

レーン情報	22, 59
連続スクロール	26

ろ

録音音質（内蔵メモリ）	111
録音した曲の削除（内蔵メモリ）	112

わ

割り込み表示の時間（VICS情報）	78
ワンセグ固定モード	90

「タウンページ」は、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。

「Microsoft」、「Windows」、「Windows NT」、「Windows Media」は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国や地域における登録商標または商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

 is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries.

"Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iTunes is a trademark of Apple Inc.



© 2011 Rovi Corporation.
Content and technology provided by Rovi Corporation.

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

本機は、AVC PATENT PORTFOLIO LICENSEに基づきライセンスされており、本機のAVC機能は、お客様が以下のいずれか、または両方を行うための個人的利用および非商用利用目的に限るものとします。

- (i) AVC規格に従いビデオを記録すること（以下「AVCビデオ」といいます）
 - (ii) 個人的、非商用的行為に従事する消費者により記録されたか、AVCビデオを提供するためにライセンスを受けたビデオ提供者から取得したAVCビデオを再生すること
- 他の使用および使用許諾に関する情報については、MPEG LA L.L.C.より取得できます。

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

検索データとして以下の情報を元に作成されています。

- ・株式会社昭文社MAPPLEガイドデータ
 - ・株式会社昭文社MAPPLE全国SAPA情報
-

ぬけみちデータとして以下の情報を元に作成されています。

- ・株式会社昭文社ぬけみちデータ
-

MAPPLEガイドデータ、ぬけみちデータ、まっぷるコード、MAPPLE全国SAPA情報、および

 **MAPPLE**ガイドデータ、 **MAPPLE**ぬけみちデータ、 **まっぷる**は株式会社昭文社の登録商標または商標です。

libFLAC

Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007,2008,2009 Josh Coalson All rights reserved

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

 **MapFan**、「MapFan.net」はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社ケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

VICSは、財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

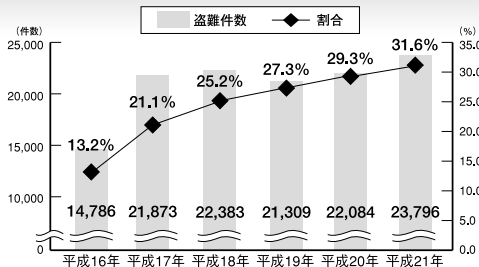
マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

今カーナビが危ない!

全国で22分に1台のカーナビが盗難被害に遭っています。

カーナビゲーションの盗難被害状況

部品ねらい被害におけるカーナビ盗難の件数と割合



出典:警察庁犯罪統計
平成21年は暫定値



製造番号があれば被害品の発見、返還がしやすくなります。

盗難被害に遭わないように、防犯対策に気を付けましょう。

警察に届けよう!

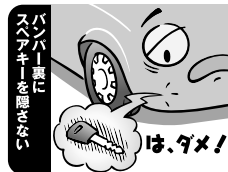
それではカーナビの製造番号を教えてください。

書類は処分しちゃった...ユーザー登録もしていない...

それじゃ見つけにくいな。

製造番号、とっておけばよかった...

保証書 製造番号



製造番号が記載された保証書類は大切に保管し、ハガキまたはWEBでユーザー登録を行いましょう。

問い合わせ先

ユーザ登録に関するお問い合わせは、お買い上げになられた製品のメーカー宛にお願い致します。

警察庁・社団法人電子情報技術産業協会・社団法人日本損害保険協会



正しい取付け
正しい操作で
安全運転



このシンボルマークはケンウッドにおいて
環境に対する影響を軽減した商品である
ことをお知らせするマークです。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114 (一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です)

携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8960

FAX 045-450-2287

住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンターにご相談ください。
- カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録 (My Kenwood) をお願いしています。
弊社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。
<http://jp.my-kenwood.com>